

# 平成26年度 業務実績報告書

平成27年6月

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター

I 法人の概要

1 法人の現況

「地方独立行政法人岐阜県総合医療センター」は、岐阜県の政策医療を担う県全域の中核基幹病院として平成18年11月に新築オープン、平成22年4月地方独立行政法人化した。

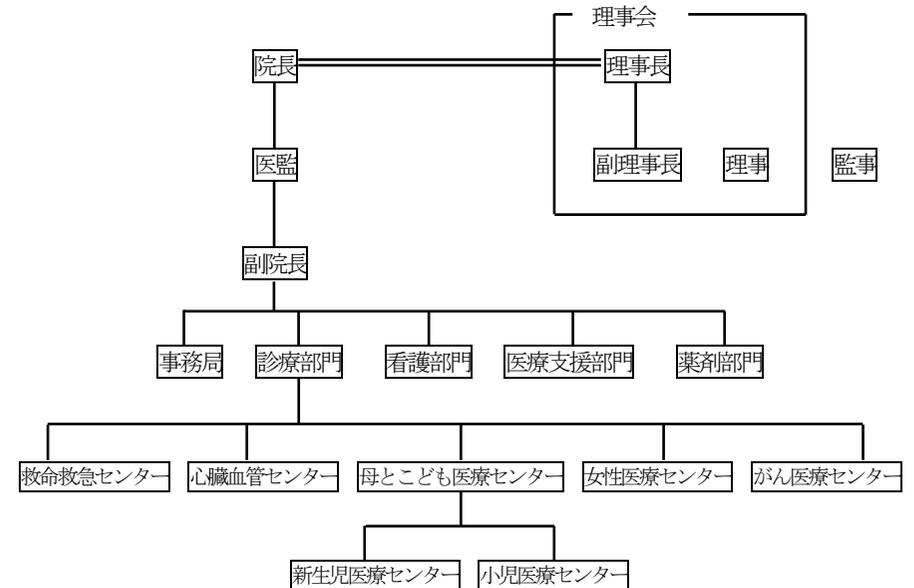
同医療センターの大きな特徴は、高度で先進的で最善の医療を、より効率的に提供するためにチーム医療を中核に据え、急性期を中心とした5つの重点医療（救命救急医療、心臓血管医療、周産期医療とこども医療、女性医療、がん医療）を定め、7つのセンター（救急救命、心臓血管、母とこども、小児、新生児、がん、女性）方式を確立している。

- (1) 法人名称 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター
- (2) 所在地 岐阜県岐阜市野一色4-6-1
- (3) 設立年月日 平成22年4月1日
- (4) 役員の状況

	氏名	役職
理事長	滝谷 博志	センター院長
副理事長	富田 武司	センター副院長兼事務局長
理事	山田 新尚	センター医監
理事	直原 修一	センター副院長
理事	國枝 克行	センター副院長
理事	高木 久美子	センター副院長兼看護部長
理事	林 恒之	学校法人佐々木学園園長
理事	森 秀樹	国立大学法人岐阜大学前学長
監事	小森 正悟	弁護士（小森正悟法律事務所）
監事	山田 英貴	公認会計士・税理士（山田会計事務所）

(5) 組織図

平成26年4月1日現在



(6) 職員数（平成26年4月1日現在）

1, 327人（常勤980人、非常勤347人）

医師202人（常勤162人、非常勤40人）、看護師等667人（常勤590人、非常勤77人）、  
 コメディカル192人（常勤172人、非常勤20人）、事務等266人（常勤56人、非常勤210人）

2 法人の基本的な目標

(1) 中期目標の前文

岐阜県総合医療センターにおいては、県民が身近な地域でいつでも安心して良質な医療を享受できるように、地域の基幹病院として地域の医療水準の向上、住民の健康と福祉の増進に取り組んできた。

しかし、少子・高齢化の進展、医療技術の高度化・専門化、疾病構造の変化、医療需要の高度化・多様化などにより、近年の医療を取り巻く環境は大きく変化している。

特に、産科・小児科の医師不足、手厚い看護体制の導入に起因する看護師不足、診療報酬のマイナス改定等、医療、病院経営を取り巻く状況は一段と厳しさを増している。

一方、県民の健康への関心はきわめて高く、今後、これまで以上に、質の高い医療サービスを求められることが十分に予想される。

これからも、岐阜県総合医療センターとして、このような、医療制度や社会経済情勢の変化に迅速に対応し、県民が必要とする医療をより良くかつ継続的に提供することができるように、地方独立行政法人に移行することとし、この中期目標において、地方独立行政法人岐阜県総合医療センター（以下「法人」という。）の業務運営の目標や方向性を示すこととする。

地方独立行政法人化後は、地方独立行政法人制度の特徴を十分に活かした、自律性・機動性・透明性の高い病院運営に努め、二次医療圏はもとより、三次医療圏の中核的な病院として、県下全体を視野に置いて、県民が必要とする安全・安心・良質な医療を提供するとともに、県全体の医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与していくことを強く求めるものである。

(2) その他法人の特徴として記載すべき事項

岐阜県総合医療センターの理念は、「県民に信頼され、患者本位の安全で良質な全人的医療の提供」で、①岐阜県の基幹病院としての急性期を中心とした医療を担当する。②科学的根拠に基づく医療の提供と医療安全に務める。③必要な医療情報を広く公開し、医療の信頼性を確保する。④地域の医療機関や福祉施設との連携を重視する。⑤迅速かつ確実な医療とするとともに、効率的な病院経営に努める⑥医学的知識、医療技術の研鑽に努め、医学や医療の進歩に寄与することなどを基本方針としている。

3 設置する病院の概要

(1) 病院名称

岐阜県総合医療センター

(2) 所在地

岐阜県岐阜市野一色4-6-1

(3) 沿革

当院は明治42年岐阜衛戍病院として創設。岐阜陸軍病院、国立岐阜病院を経て昭和28年7月岐阜県に移譲され、病床数130床の岐阜県立岐阜病院として開院しました。

昭和28年 7月	岐阜県立岐阜病院として開院	病床数130床
昭和29年10月	総合病院の承認を受ける	病床数259床
昭和43年 2月	救急告示病院に指定	
昭和45年 6月	特殊放射線棟新築	
昭和47年 8月	東病棟新築	病床数370床
昭和49年 3月	厚生省臨床研修病院に指定	
昭和58年 9月	西病棟新築	病床数500床
昭和58年11月	救命救急センター開設	
昭和63年 3月	中央診療・新生児センター棟新築	病床数522床
平成 4年 2月	特殊放射線棟増築	
平成 4年 7月	病院医療総合情報システム導入	
平成 8年 8月	新生児センター3床増床	病床数525床
平成 8年12月	基幹災害医療センターに指定	
平成 9年 4月	院外処方箋実施	
平成 9年 7月	結核病床を廃止し、一般病床に変更	病床数530床
平成11年 8月	クリニカルパス導入	
平成11年11月	25床増床	病床数555床
平成13年 6月	病診連携室（平成14年4月より病診連携部に改組）設置	
	開放型病床（12床）開設（平成14年1月より27床）	
平成14年 3月	（財）日本医療機能評価機構による病院機能評価の認定証取得	
平成14年 4月	女性専用外来開設	
平成14年10月	医療安全部開設	
平成16年 4月	新医師臨床研修病院に指定	
平成16年 4月	臨床研修センター設置	
平成17年 1月	地域がん診療連携拠点病院に指定	

平成18年11月	本館新築。岐阜県総合医療センターへ名称変更。	病床数590床
	岐阜県立病院医療総合情報システム(電子カルテ)導入	
平成19年 8月	岐阜DMAT指定病院に指定 (DMAT:災害派遣医療チームの略)	
平成19年 9月	7対1看護体制を取得	
平成20年 2月	総合周産期母子医療センターに指定	
平成20年 9月	地域医療支援病院に指定	
平成21年 4月	DPC (入院包括診療報酬制度) 対象病院に指定	
平成22年 1月	情報交流棟・管理棟改修工事完成	
平成22年 4月	地方独立行政法人岐阜県総合医療センターへ移行	
平成23年 4月	患者駐車場500台の整備	
平成24年 3月	DPC医療機関群II群の適用	
平成24年 4月	へき地医療拠点病院の指定	
平成25年 4月	PICU (小児集中治療室) 2床稼働	
平成25年 7月	ハイブリッド手術室新設	

(4) その他

- ① 病床数 一般病床 590床
- ② 主な役割及び機能
  - 高度で先進的な急性期医療センター機能
  - 救命救急センターを設置する第三次救急医療施設
  - 災害時に県下を対象に指定された基幹災害医療センター及びDMAT指定病院
  - 地域がん診療連携拠点病院
  - 臨床研修指定病院
  - 地域医療支援病院
  - へき地医療拠点病院
- ③ 重点医療

5つの重点医療と7つのセンターによる高度先進医療の提供

  - 救命救急医療 (救命救急センター)
  - 心臓血管疾患医療 (心臓血管センター)
  - 周産期医療 (母とこども医療センター、小児医療センター、新生児医療センター)
  - がん医療 (がん医療センター)
  - 女性医療 (女性医療センター)

④ 診療科目 (60) (平成26年4月1日現在)

総合診療科/内科/糖尿病・内分泌内科/膠原病科/腎臓内科/心療内科/精神科/精神腫瘍科/神経内科/血液内科/呼吸器内科/外科/消化器外科/大腸外科/整形外科/形成外科/脳神経外科/呼吸器外科/内視鏡外科/皮膚科/泌尿器科/眼科/耳鼻いんこう科/頭頸部外科/リハビリテーション科/放射線診断科/放射線治療科/歯科口腔外科/病理診断科/病理診断連携科/麻酔科/救急科/救急外科/小児救急科/脳卒中内科/脳卒中外科/循環器内科/高血圧科/心臓血管外科/不整脈科/産婦人科/成育医療科/母胎科/新生児内科/小児科/小児脳神経外科/小児循環器内科/小児腎臓内科/小児心臓外科/小児外科/女性科/乳腺外科/疼痛緩和内科/疼痛緩和外科/消化器内科/肝臓内科/成人先天性心疾患診療科/脳血管内治療科/臨床栄養科/臨床検査科

⑤ 専門外来 (33) (平成26年4月1日現在)

膠原病・リウマチ内科外来/もの忘れ外来/メタボリック生活指導外来/フットケア外来/糖尿病生活指導外来/不整脈外来/ペースメーカー外来/心臓リハビリテーション外来/禁煙外来/脚外来/血管外来/腹膜透析外来/小児アレルギー外来/小児脳波外来/小児神経・重症心身障害児外来/小児神経外来/小児発達外来/小児腎臓外来/成人先天性心疾患外来/緩和ケア外来/頭痛外来/脊椎外来/リウマチ外来/手の外科外来/女性外来/漢方外来/学童外来/睡眠時無呼吸外来/不眠外来/痛み外来/顎関節外来/周術期口腔ケア外来/遺伝子診断治療外来

## Ⅱ 全体的な状況

### 1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

#### 1-1 診療事業

岐阜県総合医療センターは、岐阜地域の基幹病院として近隣の医療機関との役割分担・連携のもと、高度・先進医療を推進するため、「救命救急医療」、「心臓血管疾患医療」、「周産期医療とこども医療」、「がん医療」、「女性医療」を5つの重点医療として位置づけ、救命救急センターをはじめとする7つのセンターを柱として急性期医療及び政策医療等の県民に必要とされ、信頼される医療を提供してきた。

より質の高い医療を提供するためには高度先進医療機器の整備が必要であり、主要な高額医療機器の保有状況及び更新時期等について基本的な計画を作成、院内委員会等で確認し、また当センターの診療方針・財務状況等経営的な視点も考慮しつつ新規の高度先進医療機器についても整備していくこととした。

また、当センターの医療を支える医師・看護師・コメディカル等の優秀な医療スタッフを確保するため、医師補助・看護補助体制を強化した長時間勤務の改善や、地方独立行政法人化のメリットを活かした柔軟な雇用制度に積極的に取り組み、必要な職員の採用を行った。併せて女性職員の働きやすい職場づくりに向け「女性職員が継続して働ける病院づくり委員会」での活動や院内保育の充実など環境整備を実施した。

職員の質の向上については、岐阜大学病院等国内外先進病院への医師の研修派遣者数を増やし医療技術の向上に努めたほか、学会発表・参加をはじめ各種職種における資格取得や研修・セミナーへの参加を積極的に支援した。

また、院内感染防止対策として、感染制御チーム（ICT）が中心となり、院内感染防止マニュアルを改訂し、環境面における改善指導を行うとともに「感染制御システム」を導入し、感染状況や臨床経過、治療状況等を多面的かつ迅速的に把握し、効果的な感染制御できる体制を目指している。

患者・住民サービスについては、手術の内容に応じた手術枠の弾力的運用及び外来手術の増加により、手術件数は年間486件（総数は6,992件）が増加した。

病院環境については、平成18年度完成の本館に続き、平成21年度には情報交流棟・管理棟が完成し、平成22年度は旧病棟等の解体と駐車場を主とする外構工事を実施し、平成23年5月から患者用駐車場500台を整備することで、慢性的な駐車場不足を解消できた。

また、「総合相談センター」に看護師の他コンシェルジュを設置し、患者からの各種相談を一体的に受け付け対応するなど、利便性の向上ができた。

「岐阜県総合医療センター運営協議会」を開催し地域住民の代表者との意見交流を図るとともに、患者満足度調査を実施し、病院運営に反映した。

診療体制の充実については、従来から患者の需要的に的確に対応できる医療を目指しており、「膠原病科、脳血管内治療科、感染症内科」を増設し、60診療科、33の専門外来により各種症例に的確に対応えられる体制とした。

近隣医療機関との連携については、その役割分担を明確化し紹介率63.4%、逆紹介率83.1%を達成した。

周産期医療の夜間・休日診療には周辺地域の開業医6人の協力を得て、小児救急医療拠点病院として

は各務原市医師会8人と連携、また岐阜市からの要請を受け小児夜間輪番にも参加し、その役割を果たした。

重点医療については、冒頭で記述したとおり、5つの重点医療を定め7つのセンターを中心として地域の基幹病院としての機能を果たした。

#### 1-2 調査研究事業

提供する医療の質及び県内の医療水準の向上等を図るため、治験事業や調査研究事業に積極的に参画できる体制を整備するため「治験管理センター部」を設置し、治験実施件数は24件と昨年度に比較して減少しているものの、症例件数は増加し、受託研究件数も55件と昨年度を上回る結果となった。

また診療情報の活用として、電子カルテ等診療情報から抽出したDPCデータを分析し、診療科毎での症例検討等に活用した結果、DPC参加病院として対前年DPC収益の102.5%増に結びついた。併せて診療材料についても、購入価格情報を収集し他医療機関のデータとの比較を行い価格交渉に活用した結果、コスト削減ができ効率的な経営に寄与することができた。

保健医療情報の提供については、県民を対象とした健康祭の開催や当センターの新しい医療の取り組みについて、マスメディアを媒体として情報発信するとともに、インターネットを通じて保健医療や健康管理に関する情報提供を行った。また、病院広報誌「けんこう」や病診連携部PR誌「すこやか」の発行に努めるなど広く情報発信を行った。

#### 1-3 教育研修事業

質の高い医療従事者の養成として、新しい医療技術の修得・研究のため、国内外に医師を派遣する体制をとり支援した。

医師の卒後臨床研修等の充実について、岐阜大学病院との連携を密にしながら当院独自の研修プログラムをデザインし、充実した研修を推進したことで、後期研修医40人の確保につなげることができた。

また、医学生他、薬剤・看護・臨床検査・リハビリ等の学生の実習についても積極的に受け入れており、人材確保の場としても重要な機会であると位置づけ、多忙な業務と並行して取り組んだ。

併せて地域医療への協力・支援として、周辺市消防や自衛隊他の救命救急士養成実習に積極的な支援を行った。

#### 1-4 地域支援事業

地域医療への支援では、高度先進医療機器の共同利用や共同診療の推進を行った。

また、医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援として、県とのへき地医療支援機構運営委託契約による依頼をうけて、高山赤十字病院、県立下呂温泉病院、下呂市立金山病院、郡上市民病院等への人的支援を実施した。

### 1-5 災害発生時における医療救護

当センターは県保健医療計画において、県下における「基幹災害医療センター」として指定されており、その機能を発揮するための避難訓練・トリアージ訓練・応急処置訓練を実施した。災害派遣医療チーム（DMAT）の育成について、国主催の研修に派遣するなど目標である5班体制に対し引き続き2班体制を確保した。

これらをはじめ住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組みについては、年度計画に掲げた目標を概ね順調に達成することができた。

### 2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

#### 2-1 効率的な業務運営体制の確立

理事長の強力なリーダーシップの下、地方独立行政法人化を契機に医療環境の変化や県民の医療需要に的確に対応できるよう、弾力的で迅速な診療体制の見直しを進めるとともに、機動的、効率的な病院運営を図るため、役員会議、幹部会議、管理会議等を通じて迅速に課題に取り組み解決してきた。

平成24年度に設置した新棟建設企画監及び新棟建設担当において、平成27年度完成に向けて、重症心身障がい児病棟の建設を継続するとともに、運営計画を策定した。

#### 2-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善

業務運営の見直しについて、医療機器・診療材料等の効率的な調達を目的として検討委員会を設置し、診療材料の採用、医療機器の購入、薬剤の購入方法について、当センターの医療方針に従って、コスト削減努力を強化することを意思決定し、効果的で効率的な医療機器等の調達を実施した。

収入の確保については、「断らない医療」、「高度・先進医療の推進、充実」、「院内外の快適・安心・安全な環境の整備」に取り組んだ結果、県民からの信頼を得られ、外来患者数は、対前年104.7%と増加し、1日平均診療単価も101.0%と増加した。入院患者数は99.8%と減少しているものの、1日平均診療単価は104.2%と増加した。また、年間診療額では外来で105.8%、入院で103.9%と昨年度と引き続き大幅増となった。特に入院診療額の伸びは、入院両棟における90.1%（対前年99.8%）の高い病床利用率や手術件数の増が要因のひとつであった。

### 3 予算、収支計画及び資金計画

#### 3-1 決算（平成26年度）

収入は、昨年度と比較して営業収益における医業収益の大幅な増額（約8億4千万円）となったものの、資本収入は昨年度の長期借入金の借換え増による反動から大幅に減額（約14億7千万円）し、収入全体で7億4千万円の減額となった。また、支出は、昨年度と比較して営業費用における医業費用の大幅な増額（約10億9千万円）となったが、資本支出は償還金による大幅な減額（約17億8千万円）により、支出全体で約7億7千万円の減額となった。

これらの結果から、年度計画の収入を6億6千万円上回ったが、支出も同様に7億4千万円上回ったことにより、年度計画の約15億7千万円の収入超過に対して、約14億9千万円の収入超過となった。

### ○収入関係数値

			H26年度	H26/H25 (%)	H25年度	H25/H24 (%)	H24年度
外来	外来患者数	人	329,128	104.7	314,349	105.7	297,289
	1日平均患者数	人/日	1,349	104.7	1,288	106.2	1,213
	年間診療額	千円	4,940,601	105.8	4,671,114	108.2	4,318,614
	1日平均診療単価	円/日	15,011	101.0	14,860	102.3	14,527
入院	入院患者数	人	194,126	99.8	194,504	100.9	192,695
	1日平均患者数	人/日	532	99.8	533	100.9	528
	年間診療額	千円	14,687,355	103.9	14,129,597	105.3	13,416,235
	1日平均診療単価	円/日	75,659	104.2	72,644	104.3	69,624
	平均在院日数	日	12.2	96.8	12.6	100.8	12.5
	病床利用率	%	90.1	99.8	90.3	100.3	90.0

一方、従前からの課題であった未収金への対応については、その発生防止対策として、クレジットカード決済の導入や入退院説明室にて医療相談員から入院決定患者に対する入院費用や福祉制度の説明・支援などを積極的に実施し成果を出している。また、発生した回収困難な未収金対策として弁護士法人に委託し、毎年着実に成果が出てきている。

費用の削減については、DPCデータの分析やコンサルタントを活用し、診療科ヘデータ等をフィードバックするなど病院全体でコスト削減に対する意識を醸成し継続して取り組んでいる。

### 3-2 収支計画に対する実績（平成26年度）

収支計画において、収益全体は約216億2千万円で年度計画の約209億円に対して、約7億2千万円の増額であった。費用全体では約212億9千万円で年度計画の約206億3千万円に対して、約6億6千万円の増額となった。その結果、年度計画の純利益約2億7千万円に対して約3億4千万円となり、約7千万円増加した。

経営目標とする各経営比率は全ての項目で達成できた。

中期計画については、経常収支比率（経常収益／経常費用）が101.6%と3ヵ年連続して100%以上を達成し、人件費比率（給与／医業収益）及び材料費比率（材料費／医業収益）も目標数値を達成できた。

#### ○経営指標比較

	H24 実績	H25 実績	H26 計画	H26 実績	中期計画
経常収支比率	103.1%	103.2%	101.3%	101.6%	100.0%
人件費比率	47.2%	47.4%	48.0%	47.5%	50.0%
材料費比率	27.9%	29.0%	28.7%	29.7%	30.0%

### 3-3 資金計画に対する実績（平成26年度）

業務活動における収入については、約213億2千万円と昨年度に比較して約10億1千万円増額し、年度計画（約209億2千万円）と比較し、約3億9千万円の増額となった。

投資活動による収入は、1億6千万円と昨年度に比較して1億1千万円の減額となったが、年度計画に対して約7千万円の増額となった。

財務活動による収入は、11億1千万円と昨年度に比較して12億3千万円の減額となったが、昨年度の長期借入金の借換えによる影響であり、年度計画と比較すると約6千万円の減額となった。

支出では、業務活動による支出のうち、年度計画に比較して給与費が約3億円、材料費が約3億4千万円の増額となったが、その他の支出が約4億7千万円の減額となったため、結果として約1億7千万円の増額となった。

また、投資活動による支出が年度計画に比較して約1億1千万円の減額となり、財務活動による支出が約6千万円の減額となった。

この結果、次年度繰越額が昨年度に比較して約19億7千万円増額の約151億8千万円となった。

## 4 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

職員の就労環境の向上については、効果的な病院運営のため医師、看護師等各職種がその業務に専念でき、併せて時間外勤務を縮減するため、医療クラーク・看護クラーク等業務補助体制を強化するとともに、専門職の雇用を拡充し、また、年次有給等休暇の取得促進により家庭環境に配慮した取り組みができた。

健康管理については、地方独立行政法人化前の同水準以上の定期健康診断や人間ドック等の検診を実施するとともに、産業医設置による健康相談等の健康管理対策を実施した。

また、職員の安心な勤務環境づくりとして、院内保育所の24時間保育を実施し、保育料を月額から日額へ改定するなど、利便性を向上させるとともに、病児病後児保育施設の設置について、継続的に検討してきた。

職員が業務に対する高い意欲を持ち、能力を十分に発揮できる病院づくりのため学会や研修会等への参加について積極的に支援した。

県及び他の地方独立行政法人との連携については、医療従事者の人事交流を行うなど連携を推進した。医療機器・施設整備については、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展などを総合的に判断し、高度先進医療機器（手術用顕微鏡や循環器画像保存システム等）の導入及び重症心身障がい児病棟の計画的な整備を行った。

法人が負担する債務の償還については、岐阜県に対する債務の償還を確実に実施した。

その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項については、年度計画に掲げた目標を概ね順調に達成することができた。

Ⅲ 小項目別自己評価結果一覧表

(→評価書では 小項目ごとの検証結果一覧表 )

※一部、項目名を省略して記載しているものや、便宜的に項目名を付しているものがある。

大項目	中項目		小項目	項目通番	自己評価	検証結果
1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組	1-1 1 診療事業	1-1-1 より質の高い医療の提供	(1) 高度先進医療機器の計画的な更新・整備	01	Ⅲ	
			(2) 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 ・柔軟な職員採用、再雇用制度の構築 ・職員の柔軟な勤務時間体制の検討 ・7：1看護体制の維持 ・医療クランク等の配置拡充 ・代休取得、週休日振替の徹底 ・院内保育所の24時間保育の実施 ・職員の悩み等相談体制の整備 ・患者相談体制の整備 ・院内暴力に対する警備の強化	02	Ⅳ	
			(3) 優れた医師をはじめとした職員の養成	03	Ⅲ	
			(4) 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進	04	Ⅳ	
			(5) コメディカルに対する専門研修の実施	05	Ⅳ	
			(6) EBMの推進	06	Ⅲ	
			(7) 医療安全対策の充実	07	Ⅲ	
			(8) 院内感染発生原因究明・防止対策体制整備	08	Ⅲ	
	1-1-2 患者・住民サービスの向上	(1) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等 ・業務のスピード化、診療時間の弾力化等 ・検査の効率的な実施、検査機器稼働率向上 ・手術の実施体制の再整備	09	Ⅳ		
		(2) 院内環境の快適性向上 ・プライバシーに配慮した院内環境の整備 ・栄養管理の充実、病院給食の改善	10	Ⅲ		
		(3) 医療情報に関する相談体制の整備	11	Ⅲ		
		(4) 患者の視点に立ったより良い医療の提供	12	Ⅲ		
		(5) インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進	13	Ⅲ		
		(6) 満足度調査の病院運営への反映	14	Ⅲ		

大項目	中項目		小項目	項目通番	自己評価	検証結果	
			(7) 患者支援システム(メタボリックシンドローム予防センター)の創設	15	Ⅲ		
			1-1-3 診療体制の充実	(1) 医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実	16	Ⅲ	
				(2) 多様な専門職の積極的な活用	17	Ⅲ	
			1-1-4 近隣医療機関等との役割分担・連携	(1) 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上	18	Ⅳ	
				(2) 地域連携クリニカルパスの整備普及	19	Ⅲ	
				(3) 退院後の療養に関する各種情報の提供	20	Ⅲ	
			1-1-5 重点的に取り組む医療	(1) 救命救急センター(救命救急医療)	21	Ⅲ	
				(2) 心臓血管センター(心臓血管疾患医療)	22	Ⅳ	
				(3) 母とこども医療センター(周産期医療とこども医療)	23	Ⅲ	
				(4) がん医療センター(がん医療)	24	Ⅲ	
	(5) 女性医療センター	25		Ⅲ			
	(6) 重症心身障がい児の入院機能及び小児救急	26		Ⅲ			
	1-2 2 調査研究事業	1-2-1 調査・臨床研究等推進	(1) 治験受託件数の増加・治験センター認定	27	Ⅲ		
			(2) 臨床研究部(仮称)の創設	28	—		
		1-2-2 診療情報活用	(1) 医療総合情報システムの各種データの有効活用	29	Ⅲ		
			(2) 集積したエビデンスの活用	30	Ⅲ		
	1-2-3 保健医療情報の提供	(1) 公開講座、医療相談会等の定期的開催	31	Ⅲ			
(2) 保健医療、健康管理等の情報提供		32	Ⅲ				
1-3 3 教育研修事業	1-3-1 卒後臨床研修等の充実	(1) 質の高い医療従事者の養成	33	Ⅲ			
		(2) 後期研修医(レジデント)に対する研修等	34	Ⅲ			
	1-3-2 看護学生、救急救命士等教育	(1) 医学生、看護学生の実習受け入れ	35	Ⅲ			
		(2) 地域医療従事者への研修の実施及び充実	36	Ⅲ			
1-4 1-4-1 地域医療	(1) 地域医療水準の向上	37	Ⅲ				

大項目	中項目	小項目	項目通番	自己評価	検証結果		
	4 地域支援事業	への支援	(2) 医師不足、へき地医療機関への人的支援	38	IV		
			(3) へき地医療対策の支援	39	IV		
		1-4-2 社会的な要請への協力	40	III			
	1-5 災害等発生時の医療救護	1-5-1 医療救護活動の拠点機能	(1) 医療救護活動拠点機能確保、訓練実施	41	III		
			(2) 基幹災害医療センター機能強化	42	III		
		1-5-2 他県等の医療救護への協力	(1) 大規模災害発生時のDMA Tの派遣	43	III		
			(2) 訓練・研修への派遣	44	III		
	2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組	2-1 業務運営体制の確立	2-1-1 簡素で効果的な組織体制の確立	(1) 効率的かつ効果的な組織体制の構築	45	III	
				(2) 各種業務のIT化の推進	46	III	
				(3) アウトソーシング導入による合理化	47	III	
(4) 経営効率の高い業務執行体制の確立				48	III		
2-1-2 診療体制、人員配置の弾力的運用		(1) 弾力的運用の実施	49	III			
		(2) 効果的な体制による医療の提供	50	III			
		(3) 3法人間人事交流による適正な職員配置	51	III			
2-1-3 人事評価システムの構築		52	IV				
2-1-4 事務部門の専門性の向上		53	III				
2-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善		2-2-1 多様な契約手法の導入	(1) 効果的な病床管理、医療機器の効率的活用	55	III		
			収入の確保	(2) 未収金の発生防止対策等	56	IV	
				(3) 退院時の開業医への紹介率の向上	57	IV	
		2-2-3 費用の削減	58	III			
	3 予算（人件費の見積含む。）、収支計画及び資金計画	59	IV				
4 短期借入金の限度額	-	-	-				

大項目	中項目	小項目	項目通番	自己評価	検証結果
	5	重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画	-	-	-
	6	剰余金の使途	-	-	-
	7	料金に関する事項（※年度計画の対応項目を省略）	-	-	-
8 その他県の規則で定める業務運営に関する事項	8-1 職員の就労環境の向上	(1) 最適な勤務環境創出	60	IV	
		(2) 柔軟な勤務形態採用、時間外勤務縮減、休暇取得促進、特別休暇制度新設等	61	III	
		(3) 健康管理対策の充実	62	III	
		(4) 福利厚生施設等の充実	63	III	
		(5) 学会等参加支援、研修・講習会充実	64	III	
	8-2 県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項	65	III		
	8-3 医療機器・施設整備に関する事項	66	III		
	8-4 法人が負担する債務の償還に関する事項	67	III		
	8-5 中期目標の期間を超える債務負担	-	-	-	

IV 項目別の状況

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

1-1 診療事業

1-1-1 より質の高い医療の提供

中期目標	<p>診療事業</p> <p>岐阜地域の基幹病院として、近隣の医療機関との役割分担・連携のもと、高度・先進医療、急性期医療及び政策医療等の県民が必要とする医療を提供することを求める。</p> <p>より質の高い医療の提供</p> <p>法人が有する医師、看護師、コメディカルや、先進かつ高度な医療機器といった人的・物的資源を有効に活用し、高度で専門的な医療に取り組むことで、県内医療水準の向上に努めること。</p> <p>特に、医師、看護師、コメディカル等の優秀な医療スタッフの確保等に努め、提供する医療水準の維持・向上を図ること。</p> <p>また、個々の患者に最適な医療を選択し、より質の高い医療を提供するため、科学的な根拠に基づく医療の推進、クリニカルパスの導入促進に努めること。</p> <p>さらに、医療事故を未然に防ぎ、患者が安心して治療に専念できる安全・安心な医療と治療環境を提供できるよう、医療安全対策を徹底すること。</p>
------	--

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H26年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項								
01	<p>・高度先進医療機器の計画的な更新・整備</p> <p>医療環境や県民の医療需要の変化、新たな医療課題に適切に対応するとともに、病院の医療機能の維持・向上を図るため、高速X線CT装置(MDCT)、MRI等の高度先進医療機器を計画的に更新し、整備を進める。</p>	III	III	III	IV	<p>・高度先進医療機器の計画的な更新・整備</p> <p>循環器画像保存システムや内視鏡画像保存システム等の高度先進医療機器を計画的に更新し、整備を進めるため、中期計画期間中(平成26年度まで)の主要医療機器の更新・整備計画(平成25年度更新)に基づき、合理的・効率的な更新・整備を進める。</p>	<p>・平成26年度は、診療科・部による中長期計画及び稼働状況等を勘案し、主要医療機器の更新・整備するとともに、導入機器の稼働状況の把握と向上に努め良好な実績を出すことができた。</p> <p>・高額な機器に関しては、稼働状況・費用対効果を勘案しつつ、当センターの目指す高度医療と併せて人材育成を見据えた視点から、先進医療機器を整備し、医療の先進性と質の向上を図った。</p> <p>・代表的な更新・整備機器一覧</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>機器名等</th> <th>整備目的・用途等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術用顕微鏡</td> <td>脳神経外科領域において必要な機器</td> </tr> <tr> <td>循環器画像保存システム</td> <td>心臓カテーテル画像を保管</td> </tr> <tr> <td>内視鏡ファイリングシステム</td> <td>内視鏡検査業務の運用サポート</td> </tr> </tbody> </table>	機器名等	整備目的・用途等	手術用顕微鏡	脳神経外科領域において必要な機器	循環器画像保存システム	心臓カテーテル画像を保管	内視鏡ファイリングシステム	内視鏡検査業務の運用サポート	III		
機器名等	整備目的・用途等																	
手術用顕微鏡	脳神経外科領域において必要な機器																	
循環器画像保存システム	心臓カテーテル画像を保管																	
内視鏡ファイリングシステム	内視鏡検査業務の運用サポート																	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																						
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																					
						・更新・整備を実施した機器の稼働件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3次元マッピングシステム・アプリケーションシステム</td> <td>H22</td> <td>87</td> <td>121</td> <td>168</td> </tr> <tr> <td>ガンマカメラ装置</td> <td>H22</td> <td>2,149</td> <td>1,376</td> <td>1,498</td> </tr> <tr> <td>X線TV装置</td> <td>H22</td> <td>1,478</td> <td>1,777</td> <td>1,833</td> </tr> <tr> <td>MR I 装置のアップグレード</td> <td>H23</td> <td>4,895</td> <td>5,008</td> <td>5,147</td> </tr> <tr> <td>デジタル式乳房用X線撮影装置</td> <td>H23</td> <td>4,197</td> <td>4,287</td> <td>4,740</td> </tr> <tr> <td>超音波診断装置</td> <td>H23</td> <td>1,820</td> <td>1,822</td> <td>1,842</td> </tr> <tr> <td>内視鏡手術支援ロボット (ダ・ヴィンチ)</td> <td>H24</td> <td>2</td> <td>50</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>X線CT装置</td> <td>H25</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>26,316</td> </tr> <tr> <td>エキシマレーザー血管形成装置</td> <td>H25</td> <td>—</td> <td>30</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>ハイブリッド手術システム</td> <td>H25</td> <td>—</td> <td>410</td> <td>861</td> </tr> <tr> <td>手術用顕微鏡</td> <td>H26</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>循環器画像保存システム</td> <td>H26</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>内視鏡ファイリングシステム</td> <td>H26</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	機器名	年度	H24	H25	H26	3次元マッピングシステム・アプリケーションシステム	H22	87	121	168	ガンマカメラ装置	H22	2,149	1,376	1,498	X線TV装置	H22	1,478	1,777	1,833	MR I 装置のアップグレード	H23	4,895	5,008	5,147	デジタル式乳房用X線撮影装置	H23	4,197	4,287	4,740	超音波診断装置	H23	1,820	1,822	1,842	内視鏡手術支援ロボット (ダ・ヴィンチ)	H24	2	50	88	X線CT装置	H25	—	0	26,316	エキシマレーザー血管形成装置	H25	—	30	22	ハイブリッド手術システム	H25	—	410	861	手術用顕微鏡	H26	—	—	8	循環器画像保存システム	H26	—	—	—	内視鏡ファイリングシステム	H26	—	—	—			
機器名	年度	H24	H25	H26																																																																											
3次元マッピングシステム・アプリケーションシステム	H22	87	121	168																																																																											
ガンマカメラ装置	H22	2,149	1,376	1,498																																																																											
X線TV装置	H22	1,478	1,777	1,833																																																																											
MR I 装置のアップグレード	H23	4,895	5,008	5,147																																																																											
デジタル式乳房用X線撮影装置	H23	4,197	4,287	4,740																																																																											
超音波診断装置	H23	1,820	1,822	1,842																																																																											
内視鏡手術支援ロボット (ダ・ヴィンチ)	H24	2	50	88																																																																											
X線CT装置	H25	—	0	26,316																																																																											
エキシマレーザー血管形成装置	H25	—	30	22																																																																											
ハイブリッド手術システム	H25	—	410	861																																																																											
手術用顕微鏡	H26	—	—	8																																																																											
循環器画像保存システム	H26	—	—	—																																																																											
内視鏡ファイリングシステム	H26	—	—	—																																																																											

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																	
								<p>・主要検査機器の稼働実績件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">PET (1台)</td> <td>外来</td> <td>1,288</td> <td>1,374</td> <td>1,354</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>66</td> <td>86</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MRI (2台)</td> <td>外来</td> <td>10,105</td> <td>10,810</td> <td>11,840</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>2,168</td> <td>2,141</td> <td>2,470</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">CT (2台)</td> <td>外来</td> <td>24,488</td> <td>27,048</td> <td>29,960</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>6,246</td> <td>7,006</td> <td>7,049</td> </tr> </tbody> </table>			H24	H25	H26	PET (1台)	外来	1,288	1,374	1,354	入院	66	86	84	MRI (2台)	外来	10,105	10,810	11,840	入院	2,168	2,141	2,470	CT (2台)	外来	24,488	27,048	29,960	入院	6,246	7,006	7,049			
		H24	H25	H26																																							
PET (1台)	外来	1,288	1,374	1,354																																							
	入院	66	86	84																																							
MRI (2台)	外来	10,105	10,810	11,840																																							
	入院	2,168	2,141	2,470																																							
CT (2台)	外来	24,488	27,048	29,960																																							
	入院	6,246	7,006	7,049																																							
02	<p>・長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 病院が求められる機能を果たし、県民が必要とする医療をより良くかつ機能的に提供するとともに、職員の最適な勤務環境を創出するため、次の取り組みに努め、医師・看護師等職員の確保と定着化を促進する。 ・必要な医療従事者等の確保のための柔軟な職員採用、再雇用制度の構築</p>	III	III	IV	IV	<p>・長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 ・必要な医療従事者等を確保するため、職員採用試験の時期・回数をチェックし、計画的・効果的な採用に努める。特に、看護師採用は毎月実施する。また、引き続き年俸制を導入し、平成22年度に構築した定年退職者（医師）の再雇用制度を効果的に運用する。</p>	<p>・年度当初の看護師数を571人から590人に増やし、長時間勤務やローテーション維持などが改善し、時間外勤務時間数は、約1.3時間/人減少した。 ・当センターHPにて、常時看護師募集を行っており、採用試験は募集期間や応募者数を勘案した結果、3回実施した。また、看護学校の訪問や各種ガイダンス等への参加、新聞掲載等、雇用確保のため積極的に働きかけ昨年度に比較して同規模の採用ができた。(H25:78人→H26:77人) ・年俸を定めて給与を支給する非常勤医師 7人</p>	IV																																			
	<p>・女性医師をはじめとした職員の柔軟な勤務時間体制の検討（例：15時終了制の導入）</p>					<p>・平成22年度に設置した「女性職員が継続して働ける病院づくり委員会」が行った病児・病後児保育に関するアンケートの調査結果の意見を踏まえ、平成27年度開設予定の新棟に設置予定である病児病後児保育所の実施やワークシェアリングなど労務環境の改善について検討する。</p>	<p>・平成27年度新棟内開設予定の病児病後児保育所について具体的に検討することとし、職員のニーズを把握するため、平成24年度に「病児・病後児保育所についてのアンケート」を実施した。（調査対象：1,130人、回収率79.6%） ・上記アンケート結果を基に病児病後児保育所開設のために必要な課題を挙げ委員会を3回開催し、検討した。</p>																																				
	<p>・7:1看護体制（看護職員の二交代制）の維持</p>					<p>・7:1看護体制（看護職員の二交代制）を維持する。</p>	<p>・看護師人数（571人→590人）の増員などで、7:1看護体制を7.8%上回る体制を維持できた。</p>																																				
	<p>・医師事務作業補助（医療クラーク）、病棟・外来看護事務補助（病棟等看護クラーク）等の拡充</p>					<p>・医師事務作業補助職員、看護事務補助職員等の配置を充実させる。 [医師事務作業補助職員：50人（平成25年度）→51人、看護事務補助職員：31人（平成25年度）]</p>	<p>・医師補助・看護補助体制の拡充状況 [医療クラーク：52人、病棟等看護クラーク：30人（平成26年度末）] ・現状の15:1医師事務作業補助体制加算を維持し</p>																																				

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説 明、 特筆すべき事項
						→ 31人] ・現状の15:1医師事務作業補助体制加算を維持する。 ・急性期看護補助体制加算25:1(現状は急性期看護補助体制加算50:1)を目指す。				
	・代休取得、週休日の振替の徹底					・医局会や看護師長会等において、代休取得、週休日の振替を徹底する。	・看護師、技師等については、各種機会を通して、代休取得、週休日の振替を徹底し、医局会や看護師長会等において、代休取得、週休日の振替指導した。 ・衛生・労働安全委員会で、長時間残業職員数を報告し、縮減するよう啓発に努めた。 ・長時間勤務の医師については、各担当副院長が時間外勤務時間の縮減、及び代休等への振り替えを指導し、併せて過重労働健康相談を実施した。 代休等取得状況			
	・24時間保育の実施					・院内保育所の在り方について職員との意見交流を図り、24時間保育の充実を行うなど、ハード・ソフトの両面から環境整備に取り組む。	・平成24年2月1日からは、24時間保育の受け入れを開始している。 ・院内保育所の活用状況 最少預かり児童数 18人/月 最大預かり児童数 43人/月 平均30.8人/月 院内保育所の運営状況 (各年度末時点)			
	・職員の悩みなどの相談体制の整備					・ハラスメント防止に向けた職員への周知活動など院内相談窓口の機能を強化する。	・ハラスメントの被害相談窓口を総務課長に一本化し、ハラスメント防止に関する啓発ポスターを院内各所に掲示し、周知を図っている。			

区 分	H24	H25	H26
代休取得	35件	65件	46件
週休日振替	856件	1,083件	1,176件

	H24	H25	H26
入所者数	38人	33人	43人
保育士数	10人	10人	9人

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																		
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説 明、 特筆すべき事項																	
	・患者相談体制の整備					<p>・平成23年度に設置した総合相談センターを活用し、患者からの各種相談に対応できる体制を強化する。</p> <p>平成26年度実績件数</p> <table border="1"> <tr> <td>がん相談</td> <td>3,406</td> </tr> <tr> <td>がん相談支援</td> <td>1,569</td> </tr> <tr> <td>セカンドオピニオン</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>退院調整室</td> <td>1,792</td> </tr> <tr> <td>がん以外の相談</td> <td>8,286</td> </tr> <tr> <td>なんでも相談</td> <td>680</td> </tr> <tr> <td>セカンドオピニオン</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>退院調整室</td> <td>7,604</td> </tr> <tr> <td>医療相談</td> <td>4,033</td> </tr> </table>	がん相談	3,406	がん相談支援	1,569	セカンドオピニオン	45	退院調整室	1,792	がん以外の相談	8,286	なんでも相談	680	セカンドオピニオン	2	退院調整室	7,604	医療相談	4,033			
がん相談	3,406																										
がん相談支援	1,569																										
セカンドオピニオン	45																										
退院調整室	1,792																										
がん以外の相談	8,286																										
なんでも相談	680																										
セカンドオピニオン	2																										
退院調整室	7,604																										
医療相談	4,033																										
	・院内暴力に対する警備の強化					・24時間体制で警備員を配置し、併せて「院内暴力対応マニュアル」を周知することで、院内暴力に対する取組を強化する。	・医療安全に関する研修において、患者や家族への対応についても取り上げ、実施した。																				

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項												
03	<p>・大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師をはじめとした職員の養成</p> <p>岐阜大学等関係機関との連携の強化や、国内先進病院への医師の研修派遣により、医師をはじめ優れた職員を養成する。また、高度専門医療の水準の維持・向上のため、専門医や研修指導医等の取得に向けた研修体制の充実を図る。</p>	III	III	III	III	<p>・大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師をはじめとした職員の養成</p> <p>岐阜大学病院等国内外先進病院への医師の研修派遣者数を増やし、医師をはじめ優れた職員を養成する。また、高度専門医療の水準の維持・向上のため、専門医や研修指導医等の取得に向けた研修体制の充実を図る。</p>	<p>・平成26年度医師の研修派遣者数 実績4人</p> <p>米国 (ハーバード大学医学部 ブリガム・アンド・ウィメンズ病院)</p> <p>東京都 (日本医科大学付属病院)</p> <p>岐阜県 (岐阜大学医学部附属病院)</p> <p>岡山県 (倉敷中央病院)</p> <p>・専門医や研修指導医等の取得に向けた研修、学会・セミナー等の派遣実績</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ACC Scientific Session 2014</p> <p>ASCVTS2014 (アジア心臓血管胸部外科学会)</p> <p>11th Meeting of the GJSD (第11回日独皮膚科学会)</p> <p>ESC Congress 2014 (ヨーロッパ心臓病学会)</p> <p>WCCS2014 (第15回世界皮膚癌学会議)</p> <p>ASVS2014 (第15回アジア血管外科学会)</p> <p>WSCTS2014</p> <p>AHA Scientific Sessions 2014 Chicago</p> <p>Euro Echo Imaging 2014 (欧州心エコー学会)</p> <p>ACC.15 64th Annual Scientific Session &amp; Expo</p> </div> <p>※平成26年度：医師派遣実績 778件</p> <p>医師の研修派遣・受入実績人数</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣</td> <td>5人</td> <td>9人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>受入</td> <td>6人</td> <td>6人</td> <td>7人</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	派遣	5人	9人	4人	受入	6人	6人	7人	III		
	H24	H25	H26																			
派遣	5人	9人	4人																			
受入	6人	6人	7人																			

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																																																																								
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																																								
04	<p>・認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進 より水準の高い看護を患者及びその家族に提供するため、専門性の高い資格取得に向けた研修制度を検討・整備し、研修センターの機能を強化する。</p>	III	III	III	IV	<p>・認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進 より水準の高い看護を患者及びその家族に提供するため、認定看護師や専門看護師の資格取得を目指す看護師、また認定看護管理の資格取得を目指す管理者に対しては、中長期的に研修・講習に参加できる体制を引き続き確保する。</p> <p>平成26年度 受講予定 認定看護師2名、認定看護管理6名（ファーストレベル3名、セカンドレベル2名、サードレベル1名） 平成26年度 資格試験予定 認定看護師3名</p>	<p>・認定看護師等長期研修5カ年計画に基づき、計画的な認定看護師や専門看護師の資格取得のための研修・講習に参加できる体制を継続して確保している。</p> <p>単位：人（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">分野</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">認定</td> <td>がん化学療法</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>がん性疼痛</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>救急看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>小児救急</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>摂食・嚥下障害</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>皮膚・排泄ケア</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>新生児集中ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>集中ケア</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>糖尿病看護</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>がん放射線療法看護</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>乳がん看護</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>認定看護管理者</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">専門</td> <td>小児看護</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>がん看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>15</td> <td>19</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table> <p>・研修実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">認定 看護師</td> <td>[長期] ・緩和ケア H26. 10. 1～H27. 3. 31 1人</td> </tr> <tr> <td>・慢性心不全看護 H26. 10. 1～H27. 3. 31 1人</td> </tr> <tr> <td>・認定看護管理者(サード) H26. 9. 1～H26. 11. 19 1人</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> </tbody> </table>	分野		H24	H25	H26	認定	がん化学療法	2	2	2	がん性疼痛	1	1	1	感染管理	2	2	3	救急看護	1	1	2	小児救急	1	1	1	摂食・嚥下障害	1	1	1	皮膚・排泄ケア	3	3	3	新生児集中ケア	1	1	1	集中ケア	-	1	1	糖尿病看護	-	1	1	がん放射線療法看護	-	1	1	乳がん看護	-	-	1	認定看護管理者	-	1	1	計		12	16	19	専門	小児看護	2	2	2	がん看護	1	1	1	計	3	3	3	合計		15	19	22	項目	内容	認定 看護師	[長期] ・緩和ケア H26. 10. 1～H27. 3. 31 1人	・慢性心不全看護 H26. 10. 1～H27. 3. 31 1人	・認定看護管理者(サード) H26. 9. 1～H26. 11. 19 1人		IV		
分野		H24	H25	H26																																																																																														
認定	がん化学療法	2	2	2																																																																																														
	がん性疼痛	1	1	1																																																																																														
	感染管理	2	2	3																																																																																														
	救急看護	1	1	2																																																																																														
	小児救急	1	1	1																																																																																														
	摂食・嚥下障害	1	1	1																																																																																														
	皮膚・排泄ケア	3	3	3																																																																																														
	新生児集中ケア	1	1	1																																																																																														
	集中ケア	-	1	1																																																																																														
	糖尿病看護	-	1	1																																																																																														
	がん放射線療法看護	-	1	1																																																																																														
	乳がん看護	-	-	1																																																																																														
	認定看護管理者	-	1	1																																																																																														
計		12	16	19																																																																																														
専門	小児看護	2	2	2																																																																																														
	がん看護	1	1	1																																																																																														
	計	3	3	3																																																																																														
合計		15	19	22																																																																																														
項目	内容																																																																																																	
認定 看護師	[長期] ・緩和ケア H26. 10. 1～H27. 3. 31 1人																																																																																																	
	・慢性心不全看護 H26. 10. 1～H27. 3. 31 1人																																																																																																	
	・認定看護管理者(サード) H26. 9. 1～H26. 11. 19 1人																																																																																																	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
							※平成27年7月認定予定 [短期] ・認定看護管理制度 H25:3人→H26:6人 ・実習指導者講習会 H25:0人→H26:1人 ・医療安全研修 H25:0人→H26:2人 ・岐阜県教員養成講習会 H25:1人→H26:0人 学会等参加 ・日本看護学会 ・全国看護セミナー ・日本看護協会研修 ・岐阜県看護協会研修 ・その他 看護学会等 延べH25:312人→H26:585人			
05	・コメディカルに対する専門研修の実施 診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修制度を検討・整備し、研修センターの機能を強化する。	III	IV	IV	IV	・コメディカルに対する専門研修の実施 診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成する。 【中央放射線部】 ・診療放射線技師実習施設指導者講習会 ・放射線治療セミナー ・放射線治療品質管理士講習会 ・医学物理コース研修 ・がん医療における放射線の治療の品質管理高度専門セミナー ・PET研修セミナー ・I-131アブレーション研修セミナー ・その他各種学会、研修会等への参加 希望人数と業務内容を考慮し、必要とされる資格の取得計画、研修会等への参加計画を策定した上で、各種資格取得・研修会等への参加のための支援を行う。	・診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成した。 特に、各コメディカルでは医療法や施設基準等で定めた診療科の体制等に連携し、長期計画を策定したうえで人材の育成に努めた。 主な参加講習会等 【中央放射線部】 ・日本放射線技術学会 ・全国自治体病院放射線部会研修会 ・日本放射線治療セミナー ・日本核医学学術総会 ・日本磁気共鳴医学会 ・医学物理士ミニマム講習会 ※H26年度資格取得者 ・X線CT認定技師1人 【臨床検査科】 ・日本臨床衛生検査技師会	IV		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
						<p><b>【臨床検査科】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・細胞検査士</li> <li>・超音波検査士（循環器、消化器等）</li> <li>・認定輸血検査技師</li> <li>・日本糖尿病療養指導士</li> <li>・感染制御認定臨床微生物検査技師</li> <li>・血管診療技師</li> <li>・認定心電検査技師</li> <li>・日本エコー学会認定検査技師</li> <li>・認定一般検査技師</li> <li>・認定血液検査技師</li> <li>・認定管理検査技師</li> <li>・二級緊急臨床検査士</li> <li>・二級臨床検査技師（微生物学、病理学等）</li> <li>・その他各種学会、研修会等への参加</li> </ul> <p><b>【薬剤センター】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん専門薬剤師</li> <li>・感染制御専門薬剤師</li> <li>・糖尿病療養指導士</li> <li>・栄養サポートチーム（NST）専門療法士</li> <li>・その他各種学会、研修会等への参加</li> </ul> <p><b>【中央リハビリテーション部】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3学会合同呼吸療法認定士</li> <li>・心臓リハビリテーション指導士</li> <li>・AHA BLS ICLS プロバイダ</li> <li>・日本糖尿病療法指導士</li> <li>・栄養サポートチーム（NST）専門療法士</li> <li>・日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士</li> <li>・認定作業療法士</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本超音波学会</li> <li>・心臓リハビリテーション学会</li> <li>・日本臨床微生物学会</li> <li>・認定心電図検査技師講習会</li> <li>・日本輸血・細胞治療学会</li> <li>・日本心エコー学会</li> </ul> <p>※H26 年度資格取得者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心臓リハビリテーション指導士1人</li> <li>・緊急臨床検査士1人</li> <li>・超音波検査士（消化器領域）1人</li> <li>・超音波検査士（血管領域）1人</li> <li>・超音波検査士（循環器領域）1人</li> <li>・認定心電図検査技師1人</li> <li>・2級臨床検査士1人</li> <li>・特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者3人</li> <li>・有機溶剤作業主任者2人</li> </ul> <p><b>【薬剤センター】</b> (医療安全)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全自病 医薬品安全管理責任者等講習会 (マネジメント)</li> <li>・全自病 薬剤管理研修会 (薬剤業務全般)</li> <li>・日病薬 新任薬剤師研修会</li> <li>・日本医療薬学会年会</li> <li>・日本薬剤師会学術大会</li> <li>・日病薬・日薬東海ブロック合同学術大会</li> <li>・日薬東海薬剤師学術大会</li> <li>・実務実習指導薬剤師ワークショップ</li> <li>・日本麻酔科学会 周術期セミナー</li> <li>・日薬病院診療所薬剤師研修会</li> <li>・岐阜県病院協会医学会</li> <li>・岐阜県病院薬剤師会研修会</li> </ul> <p>※H26 年度資格取得者</p>			



項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																			
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																		
							リハビリ技師	125	69	59																				
							管理栄養士	13	10	11																				
							臨床工学技士	45	22	40																				
							合 計	544	438	510																				
06	<p>・ E BMの推進 先端医学など新しい医療の研究・研修を行い、E B M (Evidence Based Medicine の略、科学的根拠に基づいた医療) の実践を推進する。</p> <p>そのためには、各種診療ガイドライン等に基づいたクリニカルパスを作成し、積極的に活用するとともに、バリエーション分析を行いクリニカルパスを必要に応じ改訂し、作成されたクリニカルパスを検証することにより最適化されたクリニカルパスの推進に取り組み、医療の質の改善、向上を図る。また、クリニカルパス推進活動の一環として関係部門のスタッフが参加するクリニカルパス大会を実施し、新規クリニカルパスの紹介、改訂クリニカルパスの報告、DPC 関連データの報告などを行う。</p>	III	III	III	III	<p>・ E BMの推進 ダ・ヴィンチによるロボット手術やハイブリッド手術などの先進的医療を推進するとともに、各診療科において各種疾患診療ガイドラインに基づく標準診療を確実に実践していく。</p> <p>そのために現在使用されているクリニカルパスの使用率を向上させ、退院時に評価・完了し、改善に繋げる工程を強化する。また、クリニカルパス大会や研修会を開催して、新規クリニカルパスの登録を推進し、より多くの疾患について EBM に基づく標準治療が実践できるように働きかけていく。</p>	<p>・クリニカルパスの新規作成を推進した。 新規パス作成数 12件</p> <p>・平成27年3月にクリニカルパス大会を実施し、160人(多職種)が参加した。その中でクリニカルパスの評価等を中心に意見交換を行った。</p> <p>クリニカルパス種類数・適用数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類数</td> <td>305件</td> <td>287件</td> <td>305件</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>14,690人</td> <td>14,753人</td> <td>15,320人</td> </tr> <tr> <td>適用数</td> <td>8,929件</td> <td>9,045件</td> <td>10,018件</td> </tr> <tr> <td>適用率</td> <td>60.8%</td> <td>61.3%</td> <td>65.4%</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	種類数	305件	287件	305件	入院患者数	14,690人	14,753人	15,320人	適用数	8,929件	9,045件	10,018件	適用率	60.8%	61.3%	65.4%	III		
	H24	H25	H26																											
種類数	305件	287件	305件																											
入院患者数	14,690人	14,753人	15,320人																											
適用数	8,929件	9,045件	10,018件																											
適用率	60.8%	61.3%	65.4%																											
07	<p>・医療安全対策の充実 医療安全管理委員会や医療安全部において、インシデント・アクシデント報告の収集・分析に努め、医療安全対策の充実を図る。また、事故調査委員会において、医療事故の再発防止のため、リスクを回避するための方策を検討し、改善方策の共有化、安全管理に関する研修を充実させるなど、事故予防の徹底と予防意識の醸成を図る。</p>	III	III	III	III	<p>・医療安全対策の充実 安全な医療が提供できるよう医療安全管理マニュアルの遵守、状況の確認、評価を行う。重大事故発生時には、速やかに事故調査を実施し発生要因を明らかにするとともに、医療事故の再発防止とリスクを回避するための方策を検討し共有化する。安全管理に関する研修会の内容を充実させ、参加人数を増やすことや医療安全に関するポスター展示を行い、よりさらなる安全意識の向上を図る。</p> <p>また、病棟会議、部署別会議、リスクマネージャー会議等で医療安全をテーマにした具体的な討論を進める。</p>	<p>・マニュアル運用状況について、調査や毎月の院内巡視で遵守状況を確認し評価した。</p> <p>・重大事例につながるような報告などは、関連部署と分析を行い再発防止策の検討を行った。</p> <p>・インシデント・アクシデント報告の収集、分析を行い医療安全部や医療安全管理委員会で検討し、それを病棟会議等で報告し、医療安全対策について討論を進めた。また、医療安全便りで全職員に発信し情報共有した。</p> <p>・インシデント報告件数の目標値として病床数の6倍とし報告を促した。</p> <p>・インシデント・アクシデント報告件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レベル0</td> <td>336件</td> <td>292件</td> <td>326件</td> </tr> <tr> <td>レベル1</td> <td>1,182件</td> <td>1,729件</td> <td>1,873件</td> </tr> <tr> <td>レベル2</td> <td>800件</td> <td>467件</td> <td>445件</td> </tr> <tr> <td>レベル3a</td> <td>215件</td> <td>327件</td> <td>346件</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	レベル0	336件	292件	326件	レベル1	1,182件	1,729件	1,873件	レベル2	800件	467件	445件	レベル3a	215件	327件	346件	III		
	H24	H25	H26																											
レベル0	336件	292件	326件																											
レベル1	1,182件	1,729件	1,873件																											
レベル2	800件	467件	445件																											
レベル3a	215件	327件	346件																											

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																											
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項				自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																									
							<table border="1"> <tr> <td>小計 (インシデント)</td> <td>2,533 件</td> <td>2,815 件</td> <td>2,990 件</td> </tr> <tr> <td>レベル3b</td> <td>55 件</td> <td>62 件</td> <td>54 件</td> </tr> <tr> <td>レベル4</td> <td>1 件</td> <td>0 件</td> <td>0 件</td> </tr> <tr> <td>レベル5</td> <td>0 件</td> <td>0 件</td> <td>0 件</td> </tr> <tr> <td>小計 (アクシデント)</td> <td>57 件</td> <td>62 件</td> <td>54 件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,590 件</td> <td>2,877 件</td> <td>3,044 件</td> </tr> </table>	小計 (インシデント)	2,533 件	2,815 件	2,990 件	レベル3b	55 件	62 件	54 件	レベル4	1 件	0 件	0 件	レベル5	0 件	0 件	0 件	小計 (アクシデント)	57 件	62 件	54 件	合計	2,590 件	2,877 件	3,044 件							
小計 (インシデント)	2,533 件	2,815 件	2,990 件																																			
レベル3b	55 件	62 件	54 件																																			
レベル4	1 件	0 件	0 件																																			
レベル5	0 件	0 件	0 件																																			
小計 (アクシデント)	57 件	62 件	54 件																																			
合計	2,590 件	2,877 件	3,044 件																																			
08	<p>・院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備</p> <p>感染防止委員会や感染症対策部において、感染防止訓練や研修会の実施、院内感染防止マニュアルの周知徹底・啓発を図る。また、ICD（感染症対策専門医）及びICN（感染管理看護師）の資格を持った医療技術者を充実させることにより、院内感染防止体制を整備する。</p>	III	III	III	III	<p>・院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備</p> <p>感染制御チーム（ICT）が中心となり、定期的に各部署・部門の観察、指導（院内巡視）を行い、院内感染対策マニュアルの遵守状況について確認及び評価を行う。また、平成25年度にICTの各部署のアウトブレイク時の介入基準や各報告体制を中心に院内感染防止マニュアルを改訂したため、新しいマニュアルに沿って感染防止対策を行う。その他、感染防止委員会及び感染症対策部、ICTが中心となり、全職員を対象とした研修会を年4回開催する。</p> <p>さらに、平成25年度に「感染制御支援システム」が導入された。これを用いて、感染状況、臨床経過、治療状況などを多面的かつ迅速に把握し、効果的な感染制御を目指す。</p>	<p>〈新生児センターについて〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標手指衛生回数の達成は73%の職員が70%以上であった。</li> <li>・毎週火曜日、監視培養を行い、感染症発症患者はなかった。</li> <li>・6月・10月・3月でレベルIにあたる3人の新規保菌患者が発生したため、ICT・新生児センター合同カンファレンスを開催した。手指衛生のタイミングや医療環境と患者環境について討議し、周知徹底を図った。</li> <li>・新生児センターの拡張工事計画があり、H28年1月から開始し、6月に完成予定である。</li> </ul> <p>[レベルI]</p> <p>1カ月の新規MRSA保菌者が3人以上、あるいはMRSA感染症患者の確認の時点で、院長報告とともに緊急ICTミーティングを開催し、緊急に新生児センターへの介入（ラウンド）を行う。</p> <p>[レベルII]</p> <p>1カ月の新規MRSA保菌者が10人以上となった場合、あるいはMRSAによる院内感染症</p>	III																														

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
						<p>死亡事例が確認された時点で、岐阜市保健所、岐阜県（岐阜県院内感染対策協議会）への報告・相談を行う。</p> <p>[レベルⅢ]</p> <p>レベルⅡの段階で同協議会からの指導を受けて感染対策を行ったにも関わらず、一定の期間のうちに院内伝播による新規保菌患者が発生した場合は、緊急の感染防止委員会を開き対策を協議するとともに、岐阜市保健所に報告、岐阜県院内感染対策協議会に調査指導を依頼、岐阜県周産期医療協議会に事前調整を依頼することとした。</p> <p>&lt;その他&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTによる週1回の病棟ラウンドにより、環境面の改善指導を行い、環境構造の清浄化に努めた。</li> <li>・感染制御支援システムが稼働し、接触患者リストの作成、菌検出推移の把握が容易になった。各部署は、毎日病床マップで、感染患者を確認し、感染対策に役立てている。また、抗菌薬の使用量の確認や抗菌薬長期使用者の抽出を行い、抗菌薬の適正使用に利用している。</li> <li>・H27年1月より感染症専門医によるコンサルテーション、各種感染症患者や血液培養陽性患者の抗菌薬使用の指導（量・間隔、抗菌作用）が実施されている。</li> <li>・平成26年度は感染防止研修会16回/年開催し、のべ参加人数は2,592人であった。</li> <li>・手指消毒薬は、4月357,147L使用→3月511,826Lとなり、使用量は1.4倍に増加している。</li> <li>・WHO手指衛生のタイミング別の遵守率は55%であった。</li> </ul>				

1-1-2 患者・住民サービスの向上

中期目標	来院から診察、検査、会計等に至る全てのサービスの待ち時間の改善、快適性及びプライバシー確保に配慮した院内環境の整備、医療情報に関する相談体制の整備・充実など、病院が提供する全てのサービスについて患者の利便性の向上に努めること。 また、病院運営に関し、患者のみならず地域住民の意見を取り入れる仕組みを作り、患者・住民サービスの向上を図ること。
------	---

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証							
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項						
09	・待ち時間及び検査・手術待ちの改善等 電子カルテ導入によるペーパーレス化、フィルムレス化とともに、他科の診療情報の共有、他医療機関との連携など医療体制を充実し、業務の効率化とスピード化を図る。また、診療時間帯の延長等の診療時間の弾力化など各種取組により待ち時間の短縮を図る。	IV	IV	IV	IV	・待ち時間及び検査・手術待ちの改善等 ・待ち時間の実態調査（患者満足度調査「年1回」及びシステムによる調査「年4回」）を実施し、患者からの意見、要望に対して、各部署にて改善計画を立案し、積極的に取り組むことで平均待ち時間を短縮できるよう検討を行う。 ・診察の待ち時間の短縮を検討するため、各診療科の診察枠の見直し等を検討する。 ・他科の診療情報の共有、他医療機関との連携など医療体制を充実し、業務の効率化とスピード化を図る。また、診療時間の効率化など各種取組により待ち時間の改善に向けた検討を行う。	○外来待ち時間対策 ・検査・診察・治療を患者に合わせてオーダーすることによって院内滞在時間の縮減を図った。 ①検査が必要な患者に対しては検査を先に実施。 ②看護師による指導を必要とする患者に対しての指導・説明を待ち時間に実施。 ③入院決定患者に対する入院説明は、入院説明室を設置したことで一元化し、外来診療科での滞在時間の縮小を図った。 ④病診連携による紹介患者については、診察予約時間30分以内の診察を徹底した。	IV								
平均待ち時間の状況							<table border="1"> <thead> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22分</td> <td>25分</td> <td>24分</td> </tr> </tbody> </table>	H24	H25	H26	22分	25分	24分			
H24	H25	H26														
22分	25分	24分														
※患者満足度調査（アンケート）結果 ※指標を予約時間と実際に診療を開始した時間までを待ち時間とすることに変更した。																
・待ち時間の有効活用に向けた取り組みを実施した。																
①待ち時間に待合室を離れる患者に対して、希望により携帯電話による呼び出しを行うことで、待ち時間を有効に利用していただけるよう便宜を図っている。																
②診療科に即したパンフレットや図書を配置																
・待ち時間調査の実施 患者満足度調査にあわせて、待ち時間調査を実施																

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																			
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																		
						<p>施するとともに、システムによる待ち時間の把握を年4回行い、状況の把握に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>待ち時間</th> <th>～30分</th> <th>30～2時間</th> <th>2時間～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25.1月</td> <td>49.4%</td> <td>45.9%</td> <td>4.6%</td> </tr> <tr> <td>H26.1月</td> <td>35.6%</td> <td>56.4%</td> <td>8.0%</td> </tr> <tr> <td>H27.1月</td> <td>35.0%</td> <td>56.4%</td> <td>8.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H26年度中における待ち時間の検証 待ち時間調査においては30分以内が減少し、2時間以上が増加したが、平均待ち時間は1分短縮した。 【外来患者数】 H25：314,349人→H26：329,128人 【一日平均】 H25：1,288人→H26：1,349人</p>	待ち時間	～30分	30～2時間	2時間～	H25.1月	49.4%	45.9%	4.6%	H26.1月	35.6%	56.4%	8.0%	H27.1月	35.0%	56.4%	8.6%						
待ち時間	～30分	30～2時間	2時間～																									
H25.1月	49.4%	45.9%	4.6%																									
H26.1月	35.6%	56.4%	8.0%																									
H27.1月	35.0%	56.4%	8.6%																									
	<p>・検査の効率的な実施や検査機器稼働率向上等により、検査待ちの改善を図る。</p>				<p>・検査の効率的な実施や検査機器稼働率向上等により、検査待ち時間の改善に向けた検討を行う。 ・中央採血室における採血待ちや心電図、超音波の待ち時間短縮に努める。 ・臨床検査科での各種検査の精度管理を推し進め、業務や機器運用の見直しにより結果報告までの時間短縮を図る。 ・継続して地域医療機関との外来予約受付体制の改善を行い、外来予約システムの構築を検討する。</p>	<p>○臨床検査部門</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>超音波検査（生理検査部門）技師の配置状況 H25：6.5人 → H26：7.5人</li> <li>超音波検査予約枠の増設、変更 診療科からの要望に対して、予約枠の増設、変更を継続して行なった。</li> <li>超音波検査件数の増加（外来分） H25：16,361件 → H26：17,938件（9.6%増）</li> <li>超音波検査待ち時間の推移</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>総数</th> <th>60分未満</th> <th>～90分</th> <th>90分超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24.4</td> <td>1,505件</td> <td>98.2%</td> <td>1.7%</td> <td>0.1%</td> </tr> <tr> <td>H25.4</td> <td>1,782件</td> <td>96.8%</td> <td>2.9%</td> <td>0.3%</td> </tr> <tr> <td>H26.4</td> <td>1,955件</td> <td>65.8%</td> <td>24.3%</td> <td>9.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・超音波検査件数の急激な増加により、待ち時間が延長した。 ・中央採血室：従前から採血開始時間を8時00分に繰り上げたことで、待ち時間の短縮が認められた。</p>		総数	60分未満	～90分	90分超	H24.4	1,505件	98.2%	1.7%	0.1%	H25.4	1,782件	96.8%	2.9%	0.3%	H26.4	1,955件	65.8%	24.3%	9.9%		
	総数	60分未満	～90分	90分超																								
H24.4	1,505件	98.2%	1.7%	0.1%																								
H25.4	1,782件	96.8%	2.9%	0.3%																								
H26.4	1,955件	65.8%	24.3%	9.9%																								

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																															
						<p>○中央放射線部門</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CT検査予約枠変更 継続してCT検査を、2台の装置毎に検査内容で振り分ける予約枠に変更し、より有効的な運用による待ち日数の短縮を図った。</li> <li>・MR検査数増加への対応 予約検査待ち日数解消のため、継続して時間外検査枠を増設し待ち日数の短縮を図った。また、MRI装置のアップグレードを行ったことにより、昨年度と同様の待ち日数となった。</li> <li>・検査件数</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>CT 外来</th> <th>CT 入院</th> <th>MR 外来</th> <th>MR 入院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>24,488</td> <td>6,256</td> <td>10,115</td> <td>2,168</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>27,048</td> <td>7,062</td> <td>10,810</td> <td>2,141</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>29,960</td> <td>7,049</td> <td>11,840</td> <td>2,470</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検査待ち日数</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>4日</td> <td>4日</td> <td>4日</td> </tr> <tr> <td>MR I</td> <td>14日</td> <td>12日</td> <td>12日</td> </tr> </tbody> </table>		CT 外来	CT 入院	MR 外来	MR 入院	H24	24,488	6,256	10,115	2,168	H25	27,048	7,062	10,810	2,141	H26	29,960	7,049	11,840	2,470		H24	H25	H26	CT	4日	4日	4日	MR I	14日	12日	12日			
	CT 外来	CT 入院	MR 外来	MR 入院																																					
H24	24,488	6,256	10,115	2,168																																					
H25	27,048	7,062	10,810	2,141																																					
H26	29,960	7,049	11,840	2,470																																					
	H24	H25	H26																																						
CT	4日	4日	4日																																						
MR I	14日	12日	12日																																						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師等の配置及び手術室の運用の改善等により、手術の実施体制を再整備し、手術待ちの改善を図る。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して手術枠の効率的な運用を検討し実施することで、手術件数を増大させ手術待ち時間の改善につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手術の内容に応じた手術枠の弾力的運用、手術機材のキット化（あらかじめセットしている状態）を促進したことによる準備期間の短縮及び麻酔科医の増員により、手術室稼働率の向上を図り手術待ち時間を短縮できた。</li> </ul> <p>時間内手術室稼働率・総手術件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>62.9</td> <td>61.2</td> <td>66.8</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>6,029</td> <td>6,506</td> <td>6,992</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	稼働率(%)	62.9	61.2	66.8	件数	6,029	6,506	6,992																							
	H24	H25	H26																																						
稼働率(%)	62.9	61.2	66.8																																						
件数	6,029	6,506	6,992																																						
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・院内環境の快適性向上 患者のプライバシー確保に配慮した院内環境の整備に努め、病室、待合室、トイレ等を計画的に改修・補修し、快適な院内環境を整備する。</li> </ul>	III	III	III	III	<ul style="list-style-type: none"> <li>・院内環境の快適性向上</li> <li>・患者や来院者により快適な環境を提供するため、次期発注工事の内容についても検討を行い、ニーズに合った院内環境の整備に努め、院内施設の案内表示等の改善や病室、待合室、トイレ等を計画的に改修・補修し、快適な院内環境を整備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者や来院者により快適な環境を提供するため、ニーズに合った院内環境の整備に努め、院内施設の案内表示等の改善を図った。</li> <li>・入院患者の病床にある床頭台を更新し、入院患者からのニーズの高いテレビをハイビジョンに入れ替え、改善を図った。</li> </ul>	III																																	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
						<p>・患者ニーズを踏まえ、院内売店の飲食物・アメニティグッズ等の種類・量を充実させる。</p>				
	<p>・治療効果を上げるための栄養管理の充実と患者の嗜好に配慮した選択メニューの拡充等、病院給食の改善を図る。</p>					<p>・治療効果を上げるための栄養管理を充実し、患者の嗜好に配慮したメニューを拡充するため、患者嗜好調査を実施し、病院給食の改善を図る。</p>	<p>・平成26年度嗜好調査を実施し、その結果を日々の給食管理に反映した。 調査内容：食欲、主・副食の状況（喫食状況、残さの理由、炊き方・味付け、種類等）、満足度、自由意見等 実施日：平成26年12月18日 対象者：一般食患者107人 特別食患者127人 結果：給食に対する満足度では、普通以上に満足との回答率が一般食94%、特別食（糖尿病・心臓病・脂質異常症・腎臓病）81%であった。 ・治療効果を上げるため、病名と病態に合った食種の食事を提供できるよう入院時のチェック体制を強化し、栄養管理の充実を図った。 ・患者の満足度を上げるため、季節毎の行事食の実施回数をH25年度12回からH26年度14回へ増加するとともに、薬膳食など提供内容の充実を図った。</p>			
11	<p>・医療情報に関する相談体制の整備 カルテ開示等の個人の診療情報やその他情報公開請求時等における医療情報提供の環境を整備する。また、患者相談室の更なる活用を図り、患者及びその家族への情報開示についても適切に対応する。</p>	III	III	III	III	<p>・医療情報に関する相談体制の整備 情報の取り扱いに対する研修会、講演会を開催し、個人の診療情報やその他情報の取り扱いに対する教育を行う。これにより、カルテ開示等の個人の診療情報やその他情報公開請求時等における医療情報提供の環境を向上させる。また、患者相談室の更なる活用を図り、患者及びその家族への情報開示についても適切に対応する。</p>	<p>・院内に勤務する派遣職員に対する研修の中で、個人情報取り扱いに関する項目を設け、個人情報保護担当職員による説明を行った。 ・患者本人又は家族からの請求により、116件の個人情報を開示した。なお、請求件数と開示件数の差は、請求のあったカルテが保存期間を過ぎ廃棄処分となり不存在であることによる（国の肝炎訴訟の和解手続のために当センターを受診したことがある患者が、過去の古いカルテを請求する動きが活発になっている）。 ・MSW（社会福祉士）1人増員により、新たな相談窓口を設置し、受付及び相談に対してなんでも相談を受け付ける体制にしたので、なんでも相談件数が増加した反面、医療相談件数が減った。</p>	III		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																			
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																			
						カルテ開示請求件数・開示件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>72</td> <td>89</td> <td>123</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>72</td> <td>89</td> <td>116</td> </tr> </tbody> </table> 相談件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療相談</td> <td>4,506</td> <td>4,148</td> <td>4,033</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	請求件数	72	89	123	開示件数	72	89	116		H24	H25	H26	医療相談	4,506	4,148	4,033			
	H24	H25	H26																										
請求件数	72	89	123																										
開示件数	72	89	116																										
	H24	H25	H26																										
医療相談	4,506	4,148	4,033																										
12	・患者の視点に立ったより良い医療の提供 Humanity（人間性を大切にしたい）に基づいた医療の実践を病院の理念の1つとし、県民に信頼され、患者の立場に立ったより良い医療を提供するとともに、①平等に安全で良質な医療を受ける権利、②十分な説明の下に患者自身の医療を決定する権利、③個人のプライバシーを守られる権利を岐阜県総合医療センターの患者の権利とし、院内に掲示するとともに、病院案内、入院案内、病院ホームページに掲載し、情報を提供する。	III	III	III	III	・患者の視点に立ったより良い医療の提供 Humanity（人間性を大切にしたい）に基づいた医療の実践を病院の理念の1つとし、県民に信頼され、患者の立場に立ったより良い医療を提供するとともに、①平等に安全で良質な医療を受ける権利、②十分な説明の下に患者自身の医療を決定する権利、③個人のプライバシーを守られる権利を岐阜県総合医療センターの患者の権利とし、院内に掲示するとともに、病院案内、入院案内、病院ホームページに掲載し、情報を提供する。	・本館1階ロビーに、患者の権利、個人情報保護に関する方針を掲示し、同内容を病院ホームページにも掲載した。 ・外部先進病院から講師を招へいし、医療安全に関する研修を2回実施し、535人が参加した。 ・研修の対象者を正職員だけでなく非常勤職員にも拡大し、研修会へ2回以上参加した。	III																					
13	・インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進 必要な情報を患者が理解できる言葉で、提供、説明し、患者自らの判断で治療方針等を決定できるようにインフォームド・コンセントを徹底し、患者等が検査や治療を受けるにあたり、より良い判断をするために、主治医以外の専門医に意見やアドバイスを求めた場合に適切に対応できるように取り組むことで、セカンドオピニオンの推進を図る。	III	III	III	III	・インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進 治療にあたって必要な情報を患者が理解できる言葉で提供、説明し、十分な助言のもとに自分自身の医療を決定できるようにインフォームド・コンセントを徹底させる。説明の場には、可及的に医療従事者が同席する。治療や検査を受けるにあたり、より良い判断をするために、他病院のセカンドオピニオンを受けやすい環境を整備する。当センターのセカンドオピニオン外来を充実させ相談件数の増加を図る。	・平成24年2月に取得（更新）した病院機能評価を契機に患者にわかりやすい説明が行えるよう各診療科が管理する「同意書」の内容を点検し、項目等について統一化することで、インフォームド・コンセントの徹底を図った。 ・セカンドオピニオン実施件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>26</td> <td>22</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>47</td> <td>44</td> <td>46</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	外来受入	26	22	22	他院紹介	47	44	46	III									
	H24	H25	H26																										
外来受入	26	22	22																										
他院紹介	47	44	46																										
14	・患者や周辺住民を対象とした病院運営に関する満足度調査の病院運営への反映 運営の透明性を図り、地域住民から信頼が得られる病院とするため、病院の運営、施設・環境及び患者サービス等に関する意見を運営・管理に反映させるものとする。	III	III	III	III	・患者や周辺住民を対象とした病院運営に関する満足度調査の病院運営への反映 運営の透明性を図り、患者のみならず地域住民からも信頼が得られる病院とするため、病院の運営、施設・環境及び患者サービス等に関する満足度調査を実施し、運営・管理に反映させるものとする。	・岐阜県総合医療センター運営協議会を開催し、地域の代表者等と意見交流を図り、病院運営に反映した。 委員：地元自治会、青年団、老人クラブ、教育関係者、医師会、社会福祉協議会、経営者、保健所、消防署の代表者で構成 開催：平成26年11月、平成27年2月	III																					

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																					
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																				
15	<p>・患者支援システム（メタボリックシンドローム予防センター）の創設</p> <p>患者支援システムは、①生活指導教室、②専門外来（女性外来、禁煙外来）、③緩和医療、④スキンケア（ストーマ、褥瘡（じょくそう））・NST（栄養サポートチーム）、⑤看護外来により構成し、特にメタボ予防を目的とした「患者教育」を実施し再発防止に取り組む。なお、再診料、指導管理料など保険医療にも裏付けされた医療を実施し、医療計画と連携した患者支援システムとする。</p>	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	<p>・患者支援システム（メタボリックシンドローム予防センター）の創設</p> <p>①生活指導教室、②特殊外来（女性外来、漢方外来、メタボリック生活指導外来、禁煙外来、もの忘れ外来、頭痛外来など）、③緩和医療、④服薬指導、⑤栄養指導、栄養サポートなど診療に患者自身が参加し、患者が守るべき療養上の課題について学ぶ機会を多方面から提供する。なお、再診料、指導管理料など保険医療にも裏付けされた医療を実施し、医療計画と連携した患者支援システムとする。また、⑥総合相談センター（平成23年度設置）による患者が相談しやすい体制をつくる。</p> <p>末期がん患者の在宅医療支援については、患者のニーズを踏まえ、がん相談支援センターの機能の充実を図る。</p>	<p>・メタボリックシンドローム予防センターを中心とした「患者教育」に重点をおいた生活習慣病の予防（患者支援システム）の構築を目指した。</p> <p>・肥満の患者が増加しているため、栄養指導や検査など実施していき、減量を図るようにした。</p> <p>・専門外来受診患者数が多いため、関連した診療科の協働を図るようにした。</p> <p>○メタボリック予防センター診療実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メタボ外来</td> <td>325 人</td> <td>40 人</td> <td>117 人</td> </tr> <tr> <td>メタボ看護外来</td> <td>53 人</td> <td>73 人</td> <td>130 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>①生活指導教室</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>糖尿病教室</td> <td>85 人</td> <td>81 人</td> <td>122 人</td> </tr> <tr> <td>肝臓病教室</td> <td>41 人</td> <td>29 人</td> <td>24 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>②専門外来</p> <p>○女性外来</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初診</td> <td>188 人</td> <td>185 人</td> <td>141 人</td> </tr> <tr> <td>再診</td> <td>1,810 人</td> <td>1,903 人</td> <td>1,320 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○禁煙外来</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初診</td> <td>68 人</td> <td>48 人</td> <td>56 人</td> </tr> <tr> <td>受診者</td> <td>290 人</td> <td>141 人</td> <td>210 人</td> </tr> <tr> <td>禁煙成功</td> <td>42 人</td> <td>27 人</td> <td>21 人</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	メタボ外来	325 人	40 人	117 人	メタボ看護外来	53 人	73 人	130 人		H24	H25	H26	糖尿病教室	85 人	81 人	122 人	肝臓病教室	41 人	29 人	24 人		H24	H25	H26	初診	188 人	185 人	141 人	再診	1,810 人	1,903 人	1,320 人		H24	H25	H26	初診	68 人	48 人	56 人	受診者	290 人	141 人	210 人	禁煙成功	42 人	27 人	21 人	Ⅲ		
	H24	H25	H26																																																											
メタボ外来	325 人	40 人	117 人																																																											
メタボ看護外来	53 人	73 人	130 人																																																											
	H24	H25	H26																																																											
糖尿病教室	85 人	81 人	122 人																																																											
肝臓病教室	41 人	29 人	24 人																																																											
	H24	H25	H26																																																											
初診	188 人	185 人	141 人																																																											
再診	1,810 人	1,903 人	1,320 人																																																											
	H24	H25	H26																																																											
初診	68 人	48 人	56 人																																																											
受診者	290 人	141 人	210 人																																																											
禁煙成功	42 人	27 人	21 人																																																											

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																														
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																													
						③褥瘡ケア <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>院内発生件数</td> <td>133 件</td> <td>131 件</td> <td>116 件</td> </tr> <tr> <td>院内発生率</td> <td>0.652%</td> <td>0.651%</td> <td>0.789%</td> </tr> </table> ④看護外来 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>フットケア</td> <td>212 人</td> <td>195 人</td> <td>227 人</td> </tr> <tr> <td>在宅指導</td> <td>145 人</td> <td>201 人</td> <td>149 人</td> </tr> </table> ⑤NST 依頼件数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>421 件</td> <td>484 件</td> <td>620 件</td> </tr> </table>		H24	H25	H26	院内発生件数	133 件	131 件	116 件	院内発生率	0.652%	0.651%	0.789%		H24	H25	H26	フットケア	212 人	195 人	227 人	在宅指導	145 人	201 人	149 人	H24	H25	H26	421 件	484 件	620 件			
	H24	H25	H26																																				
院内発生件数	133 件	131 件	116 件																																				
院内発生率	0.652%	0.651%	0.789%																																				
	H24	H25	H26																																				
フットケア	212 人	195 人	227 人																																				
在宅指導	145 人	201 人	149 人																																				
H24	H25	H26																																					
421 件	484 件	620 件																																					

### 1-1-3 診療体制の充実

中期 目標	医療需要の質的・量的変化や新たな医療課題に適切に対応するため、患者動向や医療需要の変化に即して診療部門の充実や見直し、若しくは専門外来の設置や充実など診療体制の整備・充実を図ること。
----------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
16	・患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実 地域完結型の病院として、「病診連携室」を充実させ、地域の医療機関、福祉施設をつなぐ架け橋として、患者やその家族が安心して医療が受けられる「地域に開かれた病院」としての機能を果たす。	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	・患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実 地域の医療機関、福祉施設をつなぐ架け橋として、患者やその家族が安心して医療が受けられる「地域に開かれた病院」としての機能を果たす。そのため、「病診連携部」「退院調整室」「連携バス部」「自宅退院サポートセンター部」「入退院管理	・患者動向や医療需要の変化に対応した組織改編等に積極的に取り組んだことにより、患者に対してよりきめ細やかなサービスを提供することができた。 ○新設 ・膠原病科の新設 (H26. 4. 1) ・脳血管内治療科の新設 (H26. 4. 1) ・臨床検査科内に検査第五担当の新設 (H26. 4. 1)	Ⅲ		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
						室「なんでも相談室」の機能をさらに充実させ、患者動向や医療需要も把握し、診療体制の整備・充実を図る。 また、時間外にも病診連携部で診療予約ができるようにし、患者や地域医療機関の便宜を図る。	・感染症内科の新設 (H27. 1. 1) ○変更 ・第一、第二及び第三麻酔科→麻酔科へ統合 (H26. 5. 13)			
17	・多様な専門職の積極的な活用 高度な専門性を有する職員の外部からの登用にあたり、その専門性に応じた処遇が可能となる人事給与制度の構築を図る。 また、定年を迎えた職員のうち、質の高い医療の提供に寄与すると認められる医師等医療従事者を活用する再雇用制度の構築を図る。	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	・多様な専門職の積極的な活用 高度な専門性を有する医師等職員の外部からの登用にあたり、その専門性に応じた処遇が可能となる人事給与制度の更なる活用を図る。 また、定年退職者の再雇用制度を活用し、定年を迎えた職員について引き続き質の高い医療の提供に寄与する医師等医療従事者の雇用の充実を図る。	・医師については年俸制による雇用制度を活用し、高度な専門性を有する精神科医（精神腫瘍科）を登用した。 精神科医師 H25 : 2 人 → H26 : 2 人 ・非常勤職員の再雇用制度を活用し、質の高い医療の提供に寄与すると認められる薬剤師、診療放射線技師等を再雇用し、更なる充実を図った。	Ⅲ		
						・平成23年4月設置された総合相談センターでは総合案内・相談受付の窓口となり、各種相談を適切な部署、専門職員が相談を受ける仕組みを構築したが、相談に対する対応、回答内容を一層充実させる。	・総合相談センター（コンシェルジュ）を常時2名配置し、多岐にわたる相談窓口の一元化を図るとともに、苦情についても各部門に担当者を選任し、たらい回しとならない体制を構築している。 ・相談業務と併せて介助者を配置し、肢体不自由者の受け入れ体制を充実した。			

1-1-4 近隣の医療機関等との役割分担及び連携

中期 目標	近隣の医療機関等との役割分担を明確にするとともに病病連携・病診連携を一層推進し、地域の実情に応じて岐阜地域の基幹病院としての機能を引き続き発揮し、県民が求める医療を実施すること。さらに、退院後の療養に関する各種情報を提供することにより、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供の促進を図ること。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
18	・近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上 近隣の医療機関との役割分担の明確化と地域の医療機関との連携及び協力体制の充実を図るとと	Ⅳ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ	・近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上 本院と地域の病院・診療所がそれぞれの特性を生かしながら機能分担し、患者が病状に即した医療を	・近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率は年度計画を達成し、地域医療支援病院として、地域医療の中核機能を果たした。	Ⅳ		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																				
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説 明、 特筆すべき事項																																				
	もに、「地域医療支援病院」として、紹介率（40%以上）、逆紹介率（60%以上）の強化をめざし、また「病病連携」や「病診連携」をさらに推進する。					<p>受診できるよう地域全体で協力し、ケアしていくため、地域の医療機関との連携及び協力体制の更なる充実を図るとともに、「地域医療支援病院」として、紹介率（50%以上）、逆紹介率（70%以上）の安定的な維持をめざす。</p> <p>また、開放型病床未登録医療機関に対して、登録を積極的に依頼していく。</p>	<p>紹介率・逆紹介率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>63.3%</td> <td>64.2%</td> <td>63.4%</td> </tr> <tr> <td>紹介実件数</td> <td>14,524 件</td> <td>15,079 件</td> <td>15,717 件</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>75.7%</td> <td>78.1%</td> <td>83.1%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介実件数</td> <td>18,488 件</td> <td>19,587 件</td> <td>20,587 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・地域医療連携推進協議会の開催 当院の地域医療の現状と医療連携に係る問題点等について意見交換を4回実施した。</p>		H24	H25	H26	紹介率	63.3%	64.2%	63.4%	紹介実件数	14,524 件	15,079 件	15,717 件	逆紹介率	75.7%	78.1%	83.1%	逆紹介実件数	18,488 件	19,587 件	20,587 件																			
	H24	H25	H26																																											
紹介率	63.3%	64.2%	63.4%																																											
紹介実件数	14,524 件	15,079 件	15,717 件																																											
逆紹介率	75.7%	78.1%	83.1%																																											
逆紹介実件数	18,488 件	19,587 件	20,587 件																																											
19	<p>・地域連携クリニカルパスの整備普及 作成されたクリニカルパスの有効性を検証し、達成率を向上させる。また、既に進行中の急性心筋梗塞、脳卒中、大腿骨頸部骨折等の連携パスについては、更なる改善・充実を図る。5大がん、生活習慣病などについても、連携パスの作成・普及に努めるものとする。</p>	III	III	III	III	<p>・地域連携クリニカルパスの整備普及 作成されたクリニカルパスの有用性を検証し、達成率を向上させる。また、既に運用中の急性心筋梗塞、脳卒中、大腿骨頸部骨折、ウイルス性肝炎等の連携パスについては、更なる改善・充実を図るとともに平成23年から運用が開始された5大がん（胃がん、大腸がん、肝臓がん、肺がん、乳がん）の地域連携パスについても、大学病院等関係医療機関と共同で取り組む。また、岐阜地域医師会連携パス機構による連携パスの院内での普及、活用に努め、適用率を高める。</p>	<p>・連携パス部では、院内への周知、定期的なモニタリングを行い、院内外の相談窓口となり連絡調整を行った。</p> <p>・地域の医師会、大学病院を中心として、平成26年度は下記のとおり会合を持ち、各パスのワーキングへの出席時に問題提起し、改善へとつなげた。</p> <p>・地域連携パスの検証状況（平成26年度学習会開催数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5大がん</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>脳卒中</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>肝炎</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>急性心筋梗塞</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>大腿骨頸部骨折</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>泌尿器</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>サポートパス（緩和ケア）</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>コーディネータ検討会</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>専門部会・運営委員会</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>・岐阜地域連携クリニカルパスは現在21種類あり、当院での運用実績は以下のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>連携パス名</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>急性心筋梗塞</td> <td>19件</td> <td>18件</td> <td>23件</td> </tr> <tr> <td>大腿骨頸部骨折</td> <td>90件</td> <td>94件</td> <td>120件</td> </tr> <tr> <td>脳卒中</td> <td>221件</td> <td>274件</td> <td>334件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	回数	5大がん	1	脳卒中	2	肝炎	1	急性心筋梗塞	3	大腿骨頸部骨折	6	泌尿器	1	サポートパス（緩和ケア）	2	コーディネータ検討会	7	専門部会・運営委員会	5	連携パス名	H24	H25	H26	急性心筋梗塞	19件	18件	23件	大腿骨頸部骨折	90件	94件	120件	脳卒中	221件	274件	334件	III		
区分	回数																																													
5大がん	1																																													
脳卒中	2																																													
肝炎	1																																													
急性心筋梗塞	3																																													
大腿骨頸部骨折	6																																													
泌尿器	1																																													
サポートパス（緩和ケア）	2																																													
コーディネータ検討会	7																																													
専門部会・運営委員会	5																																													
連携パス名	H24	H25	H26																																											
急性心筋梗塞	19件	18件	23件																																											
大腿骨頸部骨折	90件	94件	120件																																											
脳卒中	221件	274件	334件																																											

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																																										
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																									
							<table border="1"> <tr><td>胃癌ステージ1</td><td>21件</td><td>18件</td><td>35件</td></tr> <tr><td>胃癌ステージ2・3</td><td>4件</td><td>10件</td><td>6件</td></tr> <tr><td>肝がん</td><td>0件</td><td>5件</td><td>2件</td></tr> <tr><td>大腸がん</td><td>34件</td><td>42件</td><td>49件</td></tr> <tr><td>乳がん</td><td>7件</td><td>—</td><td>19件</td></tr> <tr><td>肝炎</td><td>2件</td><td>2件</td><td>26件</td></tr> <tr><td>肺がん</td><td>—</td><td>10件</td><td>22件</td></tr> <tr><td>糖尿病</td><td>—</td><td>1件</td><td>4件</td></tr> <tr><td>COPD</td><td>—</td><td>—</td><td>3件</td></tr> <tr><td>CKD</td><td>—</td><td>—</td><td>1件</td></tr> <tr><td>泌尿器</td><td>—</td><td>—</td><td>32件</td></tr> </table>	胃癌ステージ1	21件	18件	35件	胃癌ステージ2・3	4件	10件	6件	肝がん	0件	5件	2件	大腸がん	34件	42件	49件	乳がん	7件	—	19件	肝炎	2件	2件	26件	肺がん	—	10件	22件	糖尿病	—	1件	4件	COPD	—	—	3件	CKD	—	—	1件	泌尿器	—	—	32件		
胃癌ステージ1	21件	18件	35件																																																		
胃癌ステージ2・3	4件	10件	6件																																																		
肝がん	0件	5件	2件																																																		
大腸がん	34件	42件	49件																																																		
乳がん	7件	—	19件																																																		
肝炎	2件	2件	26件																																																		
肺がん	—	10件	22件																																																		
糖尿病	—	1件	4件																																																		
COPD	—	—	3件																																																		
CKD	—	—	1件																																																		
泌尿器	—	—	32件																																																		
20	<p>・地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する各種情報の提供</p> <p>地域の療養機関との連携及び協力の体制の充実を図り、「病診連携」をさらに推進させる。また、退院調整室の機能強化を図る。</p>	III	III	III	III	<p>・地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する各種情報の提供</p> <p>MSWを中心として、地域のかかりつけ医や訪問看護師、介護支援専門員等との連携及び協力体制の充実を図るため、多職種による合同カンファレンスを積極的に開催するなど、連絡調整を密にする。また、地域医療連携センター部や退院調整室等の種々の診療データを常に分析し、機能強化を図るなど「病診連携システム」をさらに推進させる。</p> <p>病診連携の現状については、年4回開催される「地域医療連携推進協議会」に報告し、意見を伺う。加えて、県の「地域医療支援病院在宅医療連携強化モデル事業」についても参加、継続していく。</p>	<p>・「患者さんの生活を支援するために、地域の関連機関と協力し看護ができるように努めます」を目標に実践した。</p> <p>・オープン病床クリニカルミーティングを年1回開催している。</p> <p>開催日：平成27年2月12日（木） 参加者：154人（うち院外：93人）</p> <p>・平成22年4月から介護支援連携を実施し、近隣の居宅介護事業者及び地域包括支援センターと連携を図った。</p> <p>・MSWの新規採用等による増員等（看護師からMSWへの振替）により、退院調整業務について効率化と機能強化を図った。</p> <p>退院調整看護師 H25：2人→H26：2人 退院調整MSW H25：8人→H26：8人</p> <p>・当院の医師、MSW、看護師と退院後の在宅医療を担う医療機関の看護師や訪問看護ステーションの看護師とともに退院前合同カンファレンスを行っている。</p> <p>・また、退院後に介護サービスの利用が見込まれる患者に対して、当院の看護師とケアプランを作成するケアマネージャーと連携して指導を行っている。</p> <p>・開放型病床(100床)の利用状況（利用率）</p> <table border="1"> <tr> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>49.4%</td> <td>41.9%</td> <td>41.4%</td> </tr> </table>	H24	H25	H26	49.4%	41.9%	41.4%	III																																							
H24	H25	H26																																																			
49.4%	41.9%	41.4%																																																			

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																	
						<ul style="list-style-type: none"> <li>・退院調整件数 <table border="1"> <tr><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td></tr> <tr><td>1, 127 件</td><td>1, 484 件</td><td>1, 777 件</td></tr> </table> </li> <li>・介護施設・ケアマネージャーからの連携連絡票数 <table border="1"> <tr><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td></tr> <tr><td>255 件</td><td>224 件</td><td>308 件</td></tr> </table> </li> <li>・退院前合同カンファレンスの件数 <table border="1"> <tr><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td></tr> <tr><td>83 件</td><td>121 件</td><td>145 件</td></tr> </table> </li> </ul>	H24	H25	H26	1, 127 件	1, 484 件	1, 777 件	H24	H25	H26	255 件	224 件	308 件	H24	H25	H26	83 件	121 件	145 件			
H24	H25	H26																									
1, 127 件	1, 484 件	1, 777 件																									
H24	H25	H26																									
255 件	224 件	308 件																									
H24	H25	H26																									
83 件	121 件	145 件																									

1-1-5 重点的に取り組む医療

中期 目標	<p>高度・先進医療、急性期医療及び政策医療といった他の医療機関においては実施が困難ではあるが県民が必要とする医療を、岐阜県総合医療センターとして重点的に実施すること。</p> <p>特に、「救命救急医療」、「心臓血管疾患医療」、「周産期医療」、「がん医療」、「女性とこども医療」を、岐阜県総合医療センターにおける重点医療として位置付け、さらに充実・強化して高度で先進的な医療を提供すること。</p> <p>なお、こども医療については、救急医療体制の強化、高度・専門的な医療を必要とする重症心身障害児の入所施設の整備など、拠点としての機能の一層の充実を図ること。</p>
----------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項	
21	<p>・救命救急センター（救命救急医療） 全診療科が対応し、循環器系疾患、外傷を始め、広範囲熱傷、指肢切断、急性薬物中毒などの特殊な症例を含めすべての救命救急疾患に対し即対応できるよう、更なる救命救急センターへの機能の強化と充実を図る。また、脳卒中を主とする脳血管障害には、神経内科・脳神経外科が対応する。</p>	III	III	III	III	<p>・救命救急センター（救命救急医療） 岐阜地区の中核病院の救命救急センターとして、平成24年度に改定された救命救急センター運営マニュアルに基づき、特殊な症例を含めすべての救命救急疾患（精神科疾患を除く）に対し全診療科が対応し、二次・三次救急患者を24時間体制で受け入れ、安心して受診できる体制を確保し、更なる救命救急センターへの機能の強化と充実を図り、「断らない医療」を目指す。</p>	<p>・岐阜地区の中核病院の救命救急センターとして精神科疾患を除く全ての救急疾患を対象に、24時間体制で対応している。また、平成22年6月からは、地域の医療機関との連携による体制をとっている。とくに二次、三次の重症症例及び、複数診療科に係る重症症例を受け入れ救急医療の完結を目指している。臨床検査、放射線検査を常時可能とし、救急関係診療科は24時間呼び出し体制を採り、緊急手術も常時行い得る体制をとっている。各種の高度診断用機器、治療用機器を導入し、高度な医療が提供で</p>	III			

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																															
						<p>きるように努めている。日本救急医学会認定医指定施設、基幹災害医療センターに指定されている。</p> <p>・外来担当医は内科系、外科系、小児科系各1人が24時間体制で対応している。また、夜間(17:15～翌8:30)・休日は地域の医療機関と連携し、外科及び内科の医師の派遣を受けるとともに研修医3人が診療に参加している。入院診療は各診療科部長の責任下の主治医制をとっている。</p> <p>麻酔科医、産婦人科医、内科系および外科系の専門診療科医：オンコール体制により常時専門的診療および手術に対応できる体制を採っている。手術室看護師も当直看護師2人に加えオンコール体制をとっている。</p> <p>・病床利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延入院患者数</td> <td>8,693人</td> <td>9,084人</td> <td>8,627人</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>78.8%</td> <td>83.0%</td> <td>78.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・救急車受入台数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急車受入件数</td> <td>4,931件</td> <td>5,271件</td> <td>5,963件</td> </tr> <tr> <td>同 一日平均台数</td> <td>13.5台</td> <td>14.4台</td> <td>16.3台</td> </tr> </tbody> </table> <p>・救急外来患者(診療科別：上位のみ) 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>診療科・年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児科</td> <td>10,230</td> <td>8,241</td> <td>8,678</td> </tr> <tr> <td>消化器内科</td> <td>3,180</td> <td>3,048</td> <td>3,157</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>2,613</td> <td>2,951</td> <td>3,211</td> </tr> <tr> <td>総合診療科</td> <td>3,129</td> <td>3,779</td> <td>4,552</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>1,907</td> <td>1,842</td> <td>2,018</td> </tr> <tr> <td>循環器内科</td> <td>1,905</td> <td>1,790</td> <td>1,880</td> </tr> <tr> <td>神経内科</td> <td>1,503</td> <td>1,470</td> <td>1,447</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>6,759</td> <td>6,997</td> <td>7,480</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>31,226</td> <td>30,118</td> <td>32,423</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H24	H25	H26	延入院患者数	8,693人	9,084人	8,627人	病床利用率	78.8%	83.0%	78.8%	区分	H24	H25	H26	救急車受入件数	4,931件	5,271件	5,963件	同 一日平均台数	13.5台	14.4台	16.3台	診療科・年度	H24	H25	H26	小児科	10,230	8,241	8,678	消化器内科	3,180	3,048	3,157	整形外科	2,613	2,951	3,211	総合診療科	3,129	3,779	4,552	外科	1,907	1,842	2,018	循環器内科	1,905	1,790	1,880	神経内科	1,503	1,470	1,447	その他	6,759	6,997	7,480	計	31,226	30,118	32,423			
年度	H24	H25	H26																																																																						
延入院患者数	8,693人	9,084人	8,627人																																																																						
病床利用率	78.8%	83.0%	78.8%																																																																						
区分	H24	H25	H26																																																																						
救急車受入件数	4,931件	5,271件	5,963件																																																																						
同 一日平均台数	13.5台	14.4台	16.3台																																																																						
診療科・年度	H24	H25	H26																																																																						
小児科	10,230	8,241	8,678																																																																						
消化器内科	3,180	3,048	3,157																																																																						
整形外科	2,613	2,951	3,211																																																																						
総合診療科	3,129	3,779	4,552																																																																						
外科	1,907	1,842	2,018																																																																						
循環器内科	1,905	1,790	1,880																																																																						
神経内科	1,503	1,470	1,447																																																																						
その他	6,759	6,997	7,480																																																																						
計	31,226	30,118	32,423																																																																						

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																
22	・心臓血管センター（心臓血管疾患医療） 心筋梗塞をはじめとする虚血性心疾患、慢性心不全、弁膜症等に循環器内科・心臓血管外科が中心となって、内科的・外科的治療をする。	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅳ	<p>・心臓血管センター（心臓血管疾患医療） 心筋梗塞をはじめとする虚血性心疾患、慢性心不全、弁膜症、大動脈疾患、末梢血管疾患等心臓血管系の疾患患者に対し、内科系の循環器内科と外科系の心臓血管外科が連携して治療するチーム医療を推進するとともに、専門の診療科（不整脈科、高血圧科、心臓カテーテル室）を設け、不整脈治療、カテーテル治療、外科的治療、ハイブリッド治療、心臓リハビリテーションなど患者にとって最適な治療を提供する。</p>	<p>・心臓血管センターは内科系の循環器内科と外科系の心臓血管外科が共同で心臓血管系の疾患を治療する部門で県内でも初めての施設である。</p> <p>・年間の手術件数（平成26年度実績）は、308例で、心臓外科領域では、冠動脈バイパス術などの虚血性心疾患が47例、人工弁置換術、弁形成術などの弁膜症が57例などである。血管外科領域では、大動脈瘤手術、ステントグラフト内挿術などの大血管が112例、動脈バイパス術などの末梢血管が18例などである。</p> <p>・H25年度ハイブリッド手術室の完成により、循環器内科と心臓血管外科による腹部・胸部ステントグラフト内挿術が大幅に増加した。</p> <p>・手術・検査数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心臓カテーテル</td> <td>1,592</td> <td>1,544</td> <td>1,406</td> </tr> <tr> <td>PCI (経皮的冠動脈形成術)</td> <td>471</td> <td>495</td> <td>467</td> </tr> </tbody> </table> <p>・循環器系 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A b l a t</td> <td>137</td> <td>172</td> <td>226</td> </tr> <tr> <td>PMI</td> <td>60</td> <td>95</td> <td>107</td> </tr> <tr> <td>CRT</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>ICD</td> <td>23</td> <td>25</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>CRT-D</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>・心臓呼吸器外科系 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EVAR</td> <td>37</td> <td>51</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>TEVAR</td> <td>11</td> <td>18</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>	項目・年度	H24	H25	H26	心臓カテーテル	1,592	1,544	1,406	PCI (経皮的冠動脈形成術)	471	495	467	項目・年度	H24	H25	H26	A b l a t	137	172	226	PMI	60	95	107	CRT	3	3	5	ICD	23	25	21	CRT-D	8	8	4	項目・年度	H24	H25	H26	EVAR	37	51	65	TEVAR	11	18	20	Ⅳ		
項目・年度	H24	H25	H26																																																							
心臓カテーテル	1,592	1,544	1,406																																																							
PCI (経皮的冠動脈形成術)	471	495	467																																																							
項目・年度	H24	H25	H26																																																							
A b l a t	137	172	226																																																							
PMI	60	95	107																																																							
CRT	3	3	5																																																							
ICD	23	25	21																																																							
CRT-D	8	8	4																																																							
項目・年度	H24	H25	H26																																																							
EVAR	37	51	65																																																							
TEVAR	11	18	20																																																							
23	・母とこども医療センター（周産期医療とこども医療） 総合周産期母子医療センター（総合周産期部）、	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	<p>・母とこども医療センター（周産期医療とこども医療） 産科・総合周産期部、小児医療関係各科（小児</p>	<p>・4階のフロアー全体と3階及び5階のフロアーの一部で構成され、新生児センター機能とハイリスクの妊産婦等の医療機能などを統合し、産婦人科と小</p>	Ⅲ																																																		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																															
	<p>新生児医療センター（新生児内科）、小児総合医療センター（小児科、小児外科、小児心臓外科、小児脳神経外科等）の3つのセンターを基幹とするよう再編し、センターの枠を超えた母とこどもの総合的な医療を実施する。新生児医療センターではドクターカー（すこやか号）により、他病院・医院で出産した未熟児をはじめとする新生児疾患患者を医師同乗で搬送・入院することで、後遺症なき発育を目指す。また、各センターの充実を図ることで、より高度なチーム医療を目指す。</p>					<p>科、小児循環器内科、小児腎臓内科、小児心臓外科、小児外科、小児脳神経外科等）・新生児内科を基幹として、各科の枠を超えた母とこどもの総合的な高度医療を提供する。新生児医療センターでは専用のドクターカー（すこやか号）により、他病院・医院で出産した未熟児をはじめとする新生児疾患患者を医師同乗で搬送・入院することで、後遺症なき発育を目指す。また、各センター等の充実を図ることで、より高度なチーム医療を目指す。</p> <p>県下全域に影響が危惧される事案が発生し場合には、県及び岐阜県周産期医療協議会等へ報告するとともに連携し協力体制を整える。</p>	<p>児科の枠を超えた高度医療を提供している。合併症妊娠や異常妊娠、多胎妊娠、産褥異常、胎児異常等の患者の診療を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当院は、新生児センターと隣接しており、また中央手術部にも1Wayで搬送できるので、いかなる周産期異常に対しても最良の体制で対処している。</li> <li>総合周産期母子医療センターには、当院に受診されている妊婦だけではなく、県内や県外からの医療機関から、ヘリコプターや救急車による緊急母体搬送などで紹介されてくるハイリスク妊婦を24時間態勢で、可能な限り受け入れ、産科と新生児科が連携をとりながら総合的なチーム医療を行っている。</li> </ul>																																																																		
						<p>・母体搬送の受け入れ件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分・年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>母体搬送</td> <td>166(8)</td> <td>127(7)</td> <td>142(5)</td> </tr> <tr> <td>救急搬送</td> <td>14</td> <td>11</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table> <p>※（）数値はヘリコプター搬送</p> <p>・当院でのネットワーク調整件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調整理由</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産科病室満室</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>産科医師手術・処置</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>NICU満室</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>・産科合併症 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>早産</td> <td>111</td> <td>115</td> <td>112</td> </tr> <tr> <td>PIH</td> <td>60</td> <td>44</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>常位胎盤・早期剥離</td> <td>5</td> <td>9</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>胎盤位置異常</td> <td>29</td> <td>39</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>羊水の異常</td> <td>2</td> <td>14</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>胎児異常</td> <td>18</td> <td>39</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>IUGR</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	区分・年度	H24	H25	H26	母体搬送	166(8)	127(7)	142(5)	救急搬送	14	11	21	調整理由	H24	H25	H26	産科病室満室	1	3	0	産科医師手術・処置	1	0	0	NICU満室	0	4	9	その他	1	2	0	項目・年度	H24	H25	H26	早産	111	115	112	PIH	60	44	48	常位胎盤・早期剥離	5	9	8	胎盤位置異常	29	39	30	羊水の異常	2	14	10	胎児異常	18	39	33	IUGR	14	13	9			
区分・年度	H24	H25	H26																																																																						
母体搬送	166(8)	127(7)	142(5)																																																																						
救急搬送	14	11	21																																																																						
調整理由	H24	H25	H26																																																																						
産科病室満室	1	3	0																																																																						
産科医師手術・処置	1	0	0																																																																						
NICU満室	0	4	9																																																																						
その他	1	2	0																																																																						
項目・年度	H24	H25	H26																																																																						
早産	111	115	112																																																																						
PIH	60	44	48																																																																						
常位胎盤・早期剥離	5	9	8																																																																						
胎盤位置異常	29	39	30																																																																						
羊水の異常	2	14	10																																																																						
胎児異常	18	39	33																																																																						
IUGR	14	13	9																																																																						

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																																				
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説 明、 特筆すべき事項																																																																																			
						<ul style="list-style-type: none"> <li>・合併症妊娠 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>婦人科系疾患</td> <td>28</td> <td>38</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>心・血管疾患</td> <td>5</td> <td>23</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>血液疾患</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>腎疾患</td> <td>3</td> <td>10</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>糖尿病・妊娠性糖尿病</td> <td>12</td> <td>28</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>甲状腺疾患</td> <td>12</td> <td>26</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>自己免疫・膠原病</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>呼吸器疾患</td> <td>10</td> <td>31</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>消化器疾患</td> <td>3</td> <td>18</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>精神・神経系</td> <td>12</td> <td>33</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>運動機能系</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>・ハイリスク妊婦・分娩等（対象者） 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分・年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合周産期加算</td> <td>299</td> <td>287</td> <td>276</td> </tr> <tr> <td>ハイリスク妊娠</td> <td>58</td> <td>77</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>ハイリスク分娩</td> <td>34</td> <td>32</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>救急加算</td> <td>172</td> <td>131</td> <td>158</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>・助産師外来・保健指導実績（件数） <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保健指導</td> <td>896</td> <td>978</td> <td>809</td> </tr> <tr> <td>助産師外来</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>母乳相談</td> <td>169</td> <td>254</td> <td>169</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>・新生児医療センター運営状況</li> <li>・MRSA感染対策として、保育器・コットの間隔を1.2m以上あげ、MRSA患者・職員のコホートをを行い、入院患者をコントロールしている。 そのため、院外出生に関しては、依頼数の半分を三角搬送で対応し、院外出生の入院患者数が減少した。</li> <li>・入院患者総数は減少しているが、超低出生体重児、極低出生体重児の入院数は増加傾向にあり、特に超低出生体重児の入院数は大幅に増加し、入院患者総数の1割を占めた。</li> </ul>	項目・年度	H24	H25	H26	婦人科系疾患	28	38	13	心・血管疾患	5	23	21	血液疾患	2	1	2	腎疾患	3	10	4	糖尿病・妊娠性糖尿病	12	28	20	甲状腺疾患	12	26	12	自己免疫・膠原病	4	8	4	呼吸器疾患	10	31	11	消化器疾患	3	18	4	精神・神経系	12	33	9	運動機能系	0	3	0	区分・年度	H24	H25	H26	総合周産期加算	299	287	276	ハイリスク妊娠	58	77	58	ハイリスク分娩	34	32	21	救急加算	172	131	158	項目・年度	H24	H25	H26	保健指導	896	978	809	助産師外来	1	0	0	母乳相談	169	254	169			
項目・年度	H24	H25	H26																																																																																										
婦人科系疾患	28	38	13																																																																																										
心・血管疾患	5	23	21																																																																																										
血液疾患	2	1	2																																																																																										
腎疾患	3	10	4																																																																																										
糖尿病・妊娠性糖尿病	12	28	20																																																																																										
甲状腺疾患	12	26	12																																																																																										
自己免疫・膠原病	4	8	4																																																																																										
呼吸器疾患	10	31	11																																																																																										
消化器疾患	3	18	4																																																																																										
精神・神経系	12	33	9																																																																																										
運動機能系	0	3	0																																																																																										
区分・年度	H24	H25	H26																																																																																										
総合周産期加算	299	287	276																																																																																										
ハイリスク妊娠	58	77	58																																																																																										
ハイリスク分娩	34	32	21																																																																																										
救急加算	172	131	158																																																																																										
項目・年度	H24	H25	H26																																																																																										
保健指導	896	978	809																																																																																										
助産師外来	1	0	0																																																																																										
母乳相談	169	254	169																																																																																										

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説 明、 特筆すべき事項																																											
						<p>・超低出生体重児の入院は増加したが、動脈管閉鎖術は昨年と同様の件数であった。また、先天性水頭症の患者も入院しているが、小児脳神経外科の手術件数も減少した。</p> <p style="text-align: right;">単位：件</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>院内出生</td> <td>183</td> <td>181</td> <td>177</td> </tr> <tr> <td>院外出生</td> <td>154</td> <td>112</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>母体搬送</td> <td>92</td> <td>82</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>超低出生体重児</td> <td>13</td> <td>15</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>極低出生体重児</td> <td>23</td> <td>47</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table> <p>・新生児手術状況（件数）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児心臓外科</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>小児脳神経外科</td> <td>5</td> <td>11</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>小児外科</td> <td>31</td> <td>24</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科(気管切開)</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	項目・年度	H24	H25	H26	院内出生	183	181	177	院外出生	154	112	62	母体搬送	92	82	88	超低出生体重児	13	15	23	極低出生体重児	23	47	45	項目・年度	H24	H25	H26	小児心臓外科	5	8	8	小児脳神経外科	5	11	6	小児外科	31	24	18	耳鼻科(気管切開)	3	3	2			
項目・年度	H24	H25	H26																																																		
院内出生	183	181	177																																																		
院外出生	154	112	62																																																		
母体搬送	92	82	88																																																		
超低出生体重児	13	15	23																																																		
極低出生体重児	23	47	45																																																		
項目・年度	H24	H25	H26																																																		
小児心臓外科	5	8	8																																																		
小児脳神経外科	5	11	6																																																		
小児外科	31	24	18																																																		
耳鼻科(気管切開)	3	3	2																																																		
24	<p>・がん医療センター（がん医療）</p> <p>がんに対し、早期発見、早期治療など根治治療を実施する。がん末期患者に対しては医師、薬剤師、看護師などからなる緩和ケアチームが、がんによる痛みや不安などの苦痛をできる限り少なくし、患者と家族がよりよい生活を送ることができるよう支援する。</p>	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	<p>・がん医療センター（がん医療）</p> <p>がん拠点病院として各部署の機能を一層充実させ、実績（治療患者数、相談件数の増加など）を積み、引き続き地域の患者と医療機関の信頼を得るべく、あらゆる病期のがん患者に対して、診療ガイドラインに基づいた質の高い医療を提供していく。早期診断、早期治療に努めるとともに、進行がん患者に対しては、手術、放射線療法、化学療法などを駆使しての集学的治療により、さらなる治療成績の向上をめざす。ダ・ヴィンチによるロボット手術が前立腺がん手術を中心に開始されたが、これを契機に各診療科における鏡視下手術をはじめとする先進的治療を積極的に展開させる。岐阜県共通の5大がん連携パスを活用して、一層緊密な病診連携をすすめる。原発不明癌や複数診療科にまたがる症例などについては、カンサナーボードで検討のうえ、当センターとしての治療方針を決定して治療にあたる。外来化学療法患者数の増加を図り、平成27年度開設予定の新棟</p>	Ⅲ																																														
						<p>・がん医療センターは院内におけるがん医療に関する部門をまとめたものであり、「緩和ケアチーム、がん相談支援センター、セカンドオピニオン外来、緩和ケア外来、化学療法室、カンサナーボード、がん登録室、地域連携がん部門・各診療部」により構成され、がん診療連携拠点病院に関する事業を実施し機能の充実を図った。</p> <p>・院内研修会の実施</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>開催月</th> <th>対象</th> <th>内 容</th> <th>参加者 0(院内)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月</td> <td>医療者</td> <td>「せん妄」の発見と対応</td> <td>128人 (24)</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>医療者</td> <td>ELNEC-J コアカリキュラム 看護師教育プログラム</td> <td>4人 (49)</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>一般市民</td> <td>胃切後の後遺症の諸問題について</td> <td>45人</td> </tr> </tbody> </table>	開催月	対象	内 容	参加者 0(院内)	6月	医療者	「せん妄」の発見と対応	128人 (24)	8月	医療者	ELNEC-J コアカリキュラム 看護師教育プログラム	4人 (49)	8月	一般市民	胃切後の後遺症の諸問題について	45人																															
開催月	対象	内 容	参加者 0(院内)																																																		
6月	医療者	「せん妄」の発見と対応	128人 (24)																																																		
8月	医療者	ELNEC-J コアカリキュラム 看護師教育プログラム	4人 (49)																																																		
8月	一般市民	胃切後の後遺症の諸問題について	45人																																																		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証															
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項														
						<p>5階の化学療法センター(20床)開設にむけての実績をつくる。また化学療法室スタッフ(看護師、薬剤師)を増員し、より安全で効率的な運営を図る。緩和ケアに関しては、がんの診断時から緩和ケアチームが積極的にかわり、相談件数を増加させる。緩和ケア外来の患者数、緩和ケア病床の充実を図る。地域の医療機関と連携を強め、在宅緩和ケアなど患者の希望に沿った切れ目のない緩和ケアを展開する。地域連携カンファレンスや講演会、診療所訪問などを通じて、顔のみえる病診連携を進めるとともに、地域全体の緩和ケアの向上を目指す。がん患者の不安や悩みにきめ細かく対応するため、がん相談支援センターやがん患者サロンの機能を強化し、利用者数を増加させる。</p>	<table border="1"> <tr> <td>9月</td> <td>医療者</td> <td>医療に携わる医師に対する緩和ケア研修会</td> <td>24人 (6)</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>医療者</td> <td>岐阜地域連携緩和ケア講習会 ・がん緩和ケアにおける病診連携カンファレンスの役割 ・知って得する知恵満載！現場で生きるがん疼痛治療のツボ</td> <td>102人 (60)</td> </tr> </table>	9月	医療者	医療に携わる医師に対する緩和ケア研修会	24人 (6)	10月	医療者	岐阜地域連携緩和ケア講習会 ・がん緩和ケアにおける病診連携カンファレンスの役割 ・知って得する知恵満載！現場で生きるがん疼痛治療のツボ	102人 (60)			<p>・奇数月の第2水曜日はがんカンファレンスを院内・外の医師とともに行っており、がん事例の検討が行われている。[年間参加者数183人うち院外70人(約38%)]</p> <p>・また、偶数月の第2水曜日は、病診連携緩和ケアカンファレンスを行い、病院と地域医療機関と連携した末期がん患者の症例や課題を検討している。[年間参加者数343人うち院外167人(約49%)]</p> <p>[がん関連認定看護師] がん看護専門看護師1人、がん性疼痛看護師1人、がん化学療法看護師2人、がん放射線療法看護1人、乳がん看護1人、WOC3人、摂食嚥下障害看護師1人</p> <p>・緩和ケアチームの体制 医師(6人)、歯科医師(1人)、看護師(5人)、薬剤師(1人)、臨床心理士(2人)、栄養士(1人)、リハビリ(1人)</p> <p>平成26年度緩和チーム依頼者数は232人であった。</p> <p>・治療の実績 <span style="float:right">単位：人</span></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外科的治療</td> <td>1,382 (2)</td> <td>1,258 (50)</td> <td>1,356 (78)</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	外科的治療	1,382 (2)	1,258 (50)	1,356 (78)
9月	医療者	医療に携わる医師に対する緩和ケア研修会	24人 (6)																							
10月	医療者	岐阜地域連携緩和ケア講習会 ・がん緩和ケアにおける病診連携カンファレンスの役割 ・知って得する知恵満載！現場で生きるがん疼痛治療のツボ	102人 (60)																							
	H24	H25	H26																							
外科的治療	1,382 (2)	1,258 (50)	1,356 (78)																							

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																																	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	検証 結果	検証結果の説 明、 特筆すべき事項																																
						<table border="1"> <tr> <td>外来がん化 学療法</td> <td>3,729</td> <td>3,669</td> <td>3,990</td> </tr> <tr> <td>入院がん化 学療法</td> <td>1,969</td> <td>1,838</td> <td>1,969</td> </tr> <tr> <td>放射線治療</td> <td>364</td> <td>339</td> <td>380</td> </tr> </table> <p>※（ ）内はダ・ヴィンチによる手術</p> <p>・がん患者数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td>2,877</td> <td>2,643</td> <td>2,775</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>64,278</td> <td>70,659</td> <td>70,787</td> </tr> <tr> <td>院内死亡 がん患者</td> <td>84</td> <td>97</td> <td>90</td> </tr> </tbody> </table> <p>・がん相談支援センターは、「相談室」「セカンドオピニオン」「退院調整室」の3つの部署のがん相談をまとめている。</p> <p>・がん相談支援センターの活動実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>1,514 件</td> <td>1,138 件</td> <td>1,438 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・相談内容は、在宅医療、介護・看護、ホスピス・緩和ケア、転院、セカンドオピニオン、治療の順が多い。退院調整とも連携し、在宅医療におけるかかりつけ医や訪問看護の紹介や介護保険等の手続等を支援している。</p> <p>・また、平成24年4月からは、がんの在宅及び入院患者並びに患者家族のための「ほっとサロン」を毎日開催し、ピアサポーターががん患者や家族を支援している。さらに2か月毎にほっとサロン学習会を開催し、がん患者や家族が共に学び、交流が出来る場を設けた。それによりほっとサロン利用者が増加した。</p>	外来がん化 学療法	3,729	3,669	3,990	入院がん化 学療法	1,969	1,838	1,969	放射線治療	364	339	380		H24	H25	H26	入院	2,877	2,643	2,775	外来	64,278	70,659	70,787	院内死亡 がん患者	84	97	90		H24	H25	H26		1,514 件	1,138 件	1,438 件		
外来がん化 学療法	3,729	3,669	3,990																																									
入院がん化 学療法	1,969	1,838	1,969																																									
放射線治療	364	339	380																																									
	H24	H25	H26																																									
入院	2,877	2,643	2,775																																									
外来	64,278	70,659	70,787																																									
院内死亡 がん患者	84	97	90																																									
	H24	H25	H26																																									
	1,514 件	1,138 件	1,438 件																																									

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																							
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																						
						<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほっとサロン利用人数 <table border="1"> <tr><td>H24</td><td>599 人</td></tr> <tr><td>H25</td><td>1,009 人</td></tr> <tr><td>H26</td><td>1,290 人</td></tr> </table> </li> <li>・看看カンファレンスを年6回開催し、院内74人、院外75人の計149人が参加した。</li> </ul>	H24	599 人	H25	1,009 人	H26	1,290 人																																																				
H24	599 人																																																															
H25	1,009 人																																																															
H26	1,290 人																																																															
25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性医療センター 女性が診療、治療を受けやすい女性専用病棟での治療を実施し、女性特有の病気を持つ患者が安心して治療を受けられるようプライバシーの保護と安らぎづくりに努める。</li> </ul>	III	III	III	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性医療センター 女性が診療、治療を受けやすい女性専用病棟での治療を実施し、婦人科疾患、乳腺疾患等さまざまな女性特有の病気を持つ患者が安心して治療を受けられるようプライバシーの保護と安らぎづくりに努める。また、女性の「心」・「体」を総合的に診察する「女性外来」を専門外来として設置している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療体制は、各診療科の常勤女性医師46人（内科、外科、産婦人科、小児科、皮膚科など）と昨年度32人と比べて増強を図るとともに、院内女性心理療法士による心理カウンセリング等のサポート体制もとっている。</li> <li>・8階東病棟を「女性専用病棟」として、女性科、乳腺外科、外科、消化器内科の女性入院患者の治療に取り組み、女性特有の病気を持つ患者が安心して治療を受けられるようプライバシーの保護や安らぎづくりに努めている。</li> <li>特にソフト面での気配りとして、カーテンの色、病棟の色彩、談話室の雑誌、病棟に流れる音楽等に女性的なものを導入している。</li> <li>・実績（8東入院患者数） 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr><th>項目・年度</th><th>H23</th><th>H24</th><th>H25</th><th>H26</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>産婦人科</td><td>559</td><td>618</td><td>625</td><td>625</td></tr> <tr><td>外科</td><td>457</td><td>402</td><td>416</td><td>455</td></tr> <tr><td>消化器科</td><td>183</td><td>201</td><td>236</td><td>237</td></tr> <tr><td>その他</td><td>88</td><td>98</td><td>75</td><td>75</td></tr> <tr><td>計</td><td>1,287</td><td>1,319</td><td>1,352</td><td>1,392</td></tr> </tbody> </table> </li> <li>・女性科疾患 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr><th>項目・年度</th><th>H23</th><th>H24</th><th>H25</th><th>H26</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>卵巣がん</td><td>83</td><td>116</td><td>69</td><td>95</td></tr> <tr><td>卵巣腫瘍</td><td>66</td><td>67</td><td>99</td><td>90</td></tr> <tr><td>子宮癌（体・内膜）</td><td>71</td><td>79</td><td>81</td><td>71</td></tr> <tr><td>子宮筋腫</td><td>44</td><td>68</td><td>75</td><td>93</td></tr> </tbody> </table> </li> </ul>	項目・年度	H23	H24	H25	H26	産婦人科	559	618	625	625	外科	457	402	416	455	消化器科	183	201	236	237	その他	88	98	75	75	計	1,287	1,319	1,352	1,392	項目・年度	H23	H24	H25	H26	卵巣がん	83	116	69	95	卵巣腫瘍	66	67	99	90	子宮癌（体・内膜）	71	79	81	71	子宮筋腫	44	68	75	93	III		
項目・年度	H23	H24	H25	H26																																																												
産婦人科	559	618	625	625																																																												
外科	457	402	416	455																																																												
消化器科	183	201	236	237																																																												
その他	88	98	75	75																																																												
計	1,287	1,319	1,352	1,392																																																												
項目・年度	H23	H24	H25	H26																																																												
卵巣がん	83	116	69	95																																																												
卵巣腫瘍	66	67	99	90																																																												
子宮癌（体・内膜）	71	79	81	71																																																												
子宮筋腫	44	68	75	93																																																												

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証														
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項				自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項												
						<table border="1"> <tr> <td>子宮頸がん</td> <td>79</td> <td>64</td> <td>83</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td>169</td> <td>177</td> <td>185</td> <td>186</td> </tr> </table> <p>・女性外来患者数</p> <table border="1"> <tr> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>1,998人</td> <td>2,088人</td> <td>1,461人</td> </tr> </table>	子宮頸がん	79	64	83	85	乳がん	169	177	185	186	H24	H25	H26	1,998人	2,088人	1,461人			
子宮頸がん	79	64	83	85																					
乳がん	169	177	185	186																					
H24	H25	H26																							
1,998人	2,088人	1,461人																							
26	<p>・重症心身障がい児病棟と小児救急医療 高度・専門的な医療を必要とする重症心身障がい児病棟の整備を推進する。また、小児救急医療体制を強化するため、小児集中治療室の整備を推進し、こども医療の拠点としての機能の充実を図る。</p>	—	—	Ⅲ	Ⅲ	<p>・重症心身障がい児病棟と小児救急医療 重症心身障がい児のための入所病床（30床）を新規整備し、それに併せて小児医療分野の専門性の高い診察・検査・治療を行うための小児系機能及び外来化学療法部門などの機能を充実させた6階建ての新棟を整備する。 工期：平成25年10月～平成27年12月 また、1床分の追加整備の完了したP I C U（小児集中治療室）において、独立した看護単位での2床稼働から4床稼働に増強し、小児集中治療を推進する。</p>	<p>・重症心身障がい児病棟の運営について 平成25年度までに「重症心身障がい児病棟運営検討WG」にて重症心身障がい児病棟の運営の基本方針、受け入れ対象児の想定と人数、職員の人員配置について検討を行った。 平成26年度は引き続き待機児童の状況などから具体的な入所児や当施設の役割、病棟の運用方法などの検討を行うとともに、先進地の視察や研究研修を行い、職員育成を図った。 具体的な入所児や病棟の運営方法などの検討を行った。 実務担当者レベルで業務を検討し、運営マニュアルを策定した。 ○先進地視察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人埼玉医大福祉会カルガモの家 医師：2人、看護師2人、事務3人</li> <li>・重症心身障がい児施設サルビア 医師：3人、看護師：2人、リハビリ技師：2人、事務：2人</li> <li>・P I C U（4床）における病床稼働状況 入院患者数：126人 稼働率：78.6%</li> </ul>	Ⅲ																	

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

1-2 調査研究事業

1-2-1 調査及び臨床研究等の推進

中期目標 岐阜県総合医療センターで提供する医療の質の向上及び県内の医療水準の向上並びに県民の健康意識の醸成を図るための調査及び研究を行うこと。

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																						
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																						
27	<p>・治験や調査研究事業に積極的に参画できるよう体制を整備し、受託件数の増加を図り、「治験センター」の認定を目指す。</p> <p>平成20年度の実績は、18件である。</p> <p>平成21年度の見込は、19件である。</p>	IV	IV	III	IV	<p>・治験管理センター部において、治験や調査研究事業に積極的に参画し、受託件数の増加を図る。</p> <p>平成25年度の実績は、29件（2月末現在）である。</p> <p>平成26年度の目標は、30件（うち新規受託10件）である。</p>	<p>・平成26年度の治験の件数は24件（うち新規受託5件）で目標数値には達しなかったものの、症例件数は前年実績以上となった。</p> <p>治験件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治験実施件数</td> <td>27件</td> <td>29件</td> <td>24件</td> </tr> <tr> <td>治験症例件数</td> <td>68件</td> <td>93件</td> <td>97件</td> </tr> <tr> <td>受託研究件数</td> <td>58件</td> <td>54件</td> <td>55件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○治験部門の体制</p> <p>部長 1人 副部長 1人 事務員 1人 治験コーディネータ 6人</p> <p>・主な受託研究事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研究内容</th> <th>担当科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>切除不能進行・再発大腸癌におけるRAS遺伝子変異型に対する一次治療FOLFOXIRI+ペバシズマブ併用療法の第II相試験（JACCRO OC-11）</td> <td>外科</td> </tr> <tr> <td>安定型冠動脈疾患を合併する非弁膜症性心房細動患者におけるリバーロキサパン単剤療法に関する臨床研究</td> <td>循環器内科</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	治験実施件数	27件	29件	24件	治験症例件数	68件	93件	97件	受託研究件数	58件	54件	55件	研究内容	担当科	切除不能進行・再発大腸癌におけるRAS遺伝子変異型に対する一次治療FOLFOXIRI+ペバシズマブ併用療法の第II相試験（JACCRO OC-11）	外科	安定型冠動脈疾患を合併する非弁膜症性心房細動患者におけるリバーロキサパン単剤療法に関する臨床研究	循環器内科	III		
	H24	H25	H26																													
治験実施件数	27件	29件	24件																													
治験症例件数	68件	93件	97件																													
受託研究件数	58件	54件	55件																													
研究内容	担当科																															
切除不能進行・再発大腸癌におけるRAS遺伝子変異型に対する一次治療FOLFOXIRI+ペバシズマブ併用療法の第II相試験（JACCRO OC-11）	外科																															
安定型冠動脈疾患を合併する非弁膜症性心房細動患者におけるリバーロキサパン単剤療法に関する臨床研究	循環器内科																															
28	<p>・先端医療など新しい医療について研究、研修を行うとともに、EBMに基づく医療を行い、疫学統計調査や臨床研究を行いかつ管理する「臨床研究部（仮称）」を創設する。</p>	III	III	-	-	<p>・臨床研究部や高度先端医療センターにおいて、治験、EBM、臨床研究、先端・先進・高度医療等の新しい医療について研究研修を推進する。</p>	<p>・平成23年度から臨床研究部を設置した。</p>	-																								

1-2-2 診療等の情報の活用

中期 目標	電子カルテシステムを中心とする医療総合情報システムをより有効に活用し、診療等で得た情報を岐阜県総合医療センターで提供する医療の質の向上に活用するとともに、他の医療機関への情報提供を行うこと。
----------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
29	<p>・医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用</p> <p>医療総合情報システムをより有効に活用し、診療記録等医療情報の電子化や管理機能の充実を図る。また、電子カルテ導入によりペーパーレス化、フィルムレス化を図るとともに、業務の効率化とスピード化を図り、医療機関との連携など医療体制の充実を図る。</p>	III	III	III	III	<p>・医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用</p> <p>医療総合情報システムに蓄積された各種医療データを分析し、それを医療情報として提供したり、診療録の記載内容を監査することにより、院内の医療従事者の総合的なレベルアップを図り、医療の質の向上に寄与する。また、要望に応じて、医療総合情報システムで管理されているCTや内視鏡等の画像情報を迅速に提供することにより、病診連携などの医療体制の充実を図る。また、「診療録等の記載及び管理に関するマニュアル」、「災害時等における医療情報システム障害時対応マニュアル」等を必要の都度見直していく。</p>	<p>・医師及び研修医160人が電子カルテに記載した診療記録について、入院診療計画書との整合性、診断過程の記述内容などを診療情報管理委員会で監査し、そのレベル向上を図るとともに、医療画像の提供を5,536件実施して、密接な病診連携の実現に努めた。また、医療情報システム障害時対応マニュアルの見直しのための作業部会を立ち上げ、マニュアルの見直しを行った。</p> <p>・診療情報から抽出したDPCデータを分析ソフトの活用により、加えてコンサルタントを活用したことで、診療科別に症例検討を実施し、DPC収益が対前年102.5%増（稼働額ベース）と効果がみられた。</p>	III		
30	<p>・集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用</p> <p>集積したエビデンスを、カンファレンス、臨床研修、臨床研究等において活用するため、診療録管理業務体制の充実を図り、院内診療データを集積、整理する。また、他職種による合同カンファレンスなどにより診療内容を共有化し、治療成績などの公表を推進する。</p>	III	III	III	III	<p>・集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用</p> <p>電子カルテに集積した院内の診療データをカンファレンス、臨床研修、臨床研究等において活用するため、診療情報管理委員会を中心に他の委員会等の協力も得たうえで、データの処理を行う。特に、チーム医療推進委員会では各職種間で情報の共有を図り、チーム医療を推進する。また、医療の質検討委員会では、医療の質の向上のため、診療のプロセスとアウトカムに関する25の指標（Quality Indicator）について、日本病院会の活動に参画するとともに、当センターのホームページ上でも公表し、さらに項目数を増やしQI活動による医療の質の向上を図る。</p>	<p>・医学統計などへの活用</p> <p>電子カルテに登録されている「退院サマリー」の主病名を病歴管理システムにデータ連携させ、当該システムにより集計し、医学統計書を作成した。また、「がん登録サマリー」とがん登録システムを連携させ、県に提出する地域がん登録届出票を作成するなど、電子カルテに集積されたデータの有効活用を行った。</p> <p>・各診療科・センター毎に診療内容及びカンファレンス並びに保健医療についてホームページにて随時情報を提供した。</p>	III		

1-2-3 保健医療情報の提供・発信

中期目標 県民の健康意識の醸成を図るため、専門医療情報など病院が有する保健医療情報を、県民を対象とした公開講座やホームページなどにより情報発信を行うこと。

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
31	<p>・公開講座、医療相談会等の定期的開催 平成20年度の実績は、「岐阜県総合医療センターで受けられる最新の医療」と題し、当センターで受けられる最新医療を紹介したり、模擬カンファレンス等を実施した。平成21年度は、「感染症対策～新型コロナウイルスにそなえる～」と題してセミナーを開催するなど、今後も県民に関心の高いテーマを中心に県民健康セミナーを開催したり模擬カンファレンス等を実施する。</p>	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	<p>・公開講座、医療相談会等の定期的開催 県民に関心の高いテーマを取り上げた県民向けのセミナーのほか、各部門がブースを出展する「健康祭」を開催する。また、院外の医師が参加できる症例検討会「クリニカル・ラウンド」を実施する。</p>	<p>・小児医療をテーマとした一般開放イベント「こどもけんこうフェスティバル」を平成26年11月に開催した。セミナーでは小児系診療科の医師が発達障害や食物アレルギーなどをテーマに講演し、その他体験コーナー、パネル展示などを行った。</p>	Ⅲ		
32	<p>・保健医療、健康管理等の情報提供 岐阜県総合医療センター広報誌「けんこう」や、「診療案内」を発行するとともに、病院が有する保健医療情報を病院のホームページで公表する。</p>	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	<p>・保健医療、健康管理等の情報提供 岐阜県総合医療センター広報誌「けんこう」地域医療連携センター部広報誌「すこやか」の定期発行や、必要に応じ「診療案内」を改訂するとともに、病院が有する保健医療情報を病院のホームページで公表する。 また、「けんこう」「すこやか」の効率的な発行方法についても検討を進める。</p>	<p>・広報誌「けんこう」を平成26年5月、9月及び平成27年3月に発行した。 ・病診連携部PR誌「すこやか」を平成26年度に2回発行した。 ・当センターの新しい医療への取り組みについてプレス発表や取材協力等によりマスメディアを媒体として県民への情報発信を行った。 ・インターネットを通じて、保健医療や健康管理に関する情報提供を行った。</p>	Ⅲ		

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

1-3 教育研修事業

1-3-1 医師の卒後臨床研修等の充実

中期 目標	<p>教育研修事業</p> <p>医療の高度化・多様化に対応できるよう、岐阜県立看護大学及び岐阜県立看護専門学校等の学生並びに救急救命士に対する教育、臨床研修医の受入れなど、地域の医療従事者への教育及び研修を実施することを求める。</p> <p>医師の卒後臨床研修等の充実</p> <p>専門医等の研修施設として認められた病院（臨床研修病院）として、臨床研修医及びレジデント（専門分野の研修医）の積極的な受入れを行なうこと。</p> <p>岐阜大学医学部附属病院や県が設立した他の地方独立行政法人などの臨床研修病院との連携や、法人の有する人的・物的資源を活かした独自の臨床研修プログラムの開発など、質の高い医療従事者の養成に努めること。</p>
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項											
33	<p>・質の高い医療従事者の養成</p> <p>質の高い医療従事者養成のため、独自の臨床研修プログラムを開発し、その推進体制を強化する。また、国内や海外での留学を制度化したり、他の先進病院へ医師を派遣することにより、長期研究できる体制を確保する。</p>	III	III	III	III	<p>・質の高い医療従事者の養成</p> <p>最先端の医療技術・知識の取得のため、各種学会や研修会、講習会等へ参加できるよう支援する。また、国内や海外での留学や他の先進病院へ医師を派遣することにより、長期研究できる体制を引き続き維持する。</p>	<p>・各診療科・部において医療従事者の養成を行っている。</p> <p>・国内外での長期の留学・研究等が行えるよう規定を整備済みである。</p> <p>・平成26年度医師派遣</p> <p>① 循環器内科 派遣先：米国（ハーバード大学 医学部 プリガム・アンド・ウィメンズ病院）</p> <p>② 循環器内科 派遣先：日本医科大学付属病院</p> <p>③ 眼科 派遣先：岐阜大学医学部附属病院</p> <p>④ 循環器内科 派遣先：倉敷中央病院</p>	III													
						<p>初期臨床研修医数 (各年3.31時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>33人</td> <td>31人</td> <td>31人</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	医師	33人	31人	31人	歯科医師	2人	2人	1人			
	H24	H25	H26																		
医師	33人	31人	31人																		
歯科医師	2人	2人	1人																		
34	<p>・後期研修医（レジデント）に対する研修等</p> <p>後期研修医に対しては、岐阜県総合医療センター独自の研修及び岐阜大学医学部附属病院と密なる連携による研修プログラムを開発し、推進する。</p>	III	III	III	III	<p>・後期研修医（レジデント）に対する研修等</p> <p>後期研修医に対しては、専門医取得に向けた当センター独自の研修プログラムを平成24年度に開発しており、平成25年度からスタートする後期研修医から適用している。平成26年度も10名の後期研修医が加わる。平成24年度以前の従来からの後期研修医にも、本人の希望により新たなプログラムをできる限り適用して、スムーズな専門医取得が</p>	<p>・後期研修医（レジデント）に対する研修等を実施した。</p> <p>○平成26年度実績</p> <p>後期研修医人数 40人</p> <p>学会参加 224人日</p>	III													

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項												
						<p>できるように推進する。また、看護部、臨床検査科、中央放射線部、薬剤部等病院内の各部署の協力を得て、研修プログラムの充実を図るとともに、チーム医療が円滑に行えるよう支援する。さらに、専門医取得に向けて各種学会、研究会等への参加について支援する。</p>	<p>後期研修医数 (各年 3.31 時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>33 人</td> <td>33 人</td> <td>39 人</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>0 人</td> <td>0 人</td> <td>1 人</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	医師	33 人	33 人	39 人	歯科医師	0 人	0 人	1 人			
	H24	H25	H26																			
医師	33 人	33 人	39 人																			
歯科医師	0 人	0 人	1 人																			

1-3-2 看護学生、救急救命士等に対する教育の実施

中期 目標	県内に就学している看護学生の実習受入れ、救急救命士の新規養成及び再教育にともなう病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実を図ること。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項								
35	<p>・医学生、看護学生の実習受入れ 県内医療従事者の育成を図るため、医学生、看護学生の実習の受入れ体制を整備し、今後も積極的に実習を受け入れる。 平成21年度見込 医学生の病院見学 4月～ 延べ35名 看護学生 4月～ 359名</p>	III	III	III	III	<p>・医学生、看護学生の実習受入れ 県内医療従事者の育成を図るため、医学生、看護学生の実習の受入れ体制を整備し、今後も積極的に実習を受け入れる。 平成25年度実績</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>医学生の病院見学</td> <td>H25. 4～H26. 2 延べ70名 (歯科含む)</td> </tr> <tr> <td>看護学生等 (10校)</td> <td>H25. 4～H26. 2 延べ10,911名</td> </tr> </tbody> </table>	医学生の病院見学	H25. 4～H26. 2 延べ70名 (歯科含む)	看護学生等 (10校)	H25. 4～H26. 2 延べ10,911名	<p>・昨年度と比較して看護学生・コメディカルを目指す学生の受け入れ人数はほぼ横ばいだが、医学生の受け入れ人数は増加した。 平成26年度実績</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>医学生の病院見学</td> <td>年間延べ102人</td> </tr> <tr> <td>看護学生</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜県立衛生専門学校</li> <li>・岐阜県立看護大学</li> <li>・平成医療短期大学</li> <li>・岐阜大学医学部看護学科</li> <li>・岐阜医療科学大学</li> <li>・弥富看護学校</li> <li>・朝日大学</li> <li>・中部学院大学 他</li> </ul>           年間延べ 10,217 人         </td> </tr> </tbody> </table>	医学生の病院見学	年間延べ102人	看護学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜県立衛生専門学校</li> <li>・岐阜県立看護大学</li> <li>・平成医療短期大学</li> <li>・岐阜大学医学部看護学科</li> <li>・岐阜医療科学大学</li> <li>・弥富看護学校</li> <li>・朝日大学</li> <li>・中部学院大学 他</li> </ul> 年間延べ 10,217 人	III		
医学生の病院見学	H25. 4～H26. 2 延べ70名 (歯科含む)																	
看護学生等 (10校)	H25. 4～H26. 2 延べ10,911名																	
医学生の病院見学	年間延べ102人																	
看護学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜県立衛生専門学校</li> <li>・岐阜県立看護大学</li> <li>・平成医療短期大学</li> <li>・岐阜大学医学部看護学科</li> <li>・岐阜医療科学大学</li> <li>・弥富看護学校</li> <li>・朝日大学</li> <li>・中部学院大学 他</li> </ul> 年間延べ 10,217 人																	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																																																										
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																										
						学生の実習受入状況 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生</td> <td>96</td> <td>95</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>看護学生</td> <td>9,676</td> <td>10,984</td> <td>10,217</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>96</td> <td>82</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>9,868</td> <td>11,161</td> <td>10,400</td> </tr> </tbody> </table>				H24	H25	H26	医学生	96	95	102	看護学生	9,676	10,984	10,217	コメディカル	96	82	81	合計	9,868	11,161	10,400																																																								
	H24	H25	H26																																																																																	
医学生	96	95	102																																																																																	
看護学生	9,676	10,984	10,217																																																																																	
コメディカル	96	82	81																																																																																	
合計	9,868	11,161	10,400																																																																																	
36	<p>・救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p> <p>救急救命士など地域医療従事者の養成を図るため、救急救命士に対する救急搬入後の事後検討会を実施するなど、病院での実習の受入れ体制を整備し、今後も積極的に受け入れる。</p> <p>平成20年度の救急救命士養成に関する臨床実習受入実績は、18人である。</p> <p>平成21年度の救急救命士養成に関する臨床実習受入見込は、63人である。</p> <p>また、4、7、10月に救急救命士に対する救急搬入後の事後検討会を実施した。</p>	III	III	III	III	<p>・救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p> <p>救急救命士など地域医療従事者の養成を図るため、救急救命士に対する救急搬入後の事後検討会を実施するなど、病院での実習の受入れ体制を整備し、今後も積極的に受け入れる。</p> <p>平成24年度実績（救急救命士養成に関する臨床実習受入）</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>救急救命東京研修所</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>救命救急九州研修所</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>名古屋市救急救命士養成所</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>自衛隊岐阜病院</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>岐阜県消防学校</td> <td>32名</td> </tr> <tr> <td>岐阜市消防</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>高山市消防</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>各務原市消防</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>東海医療工学専門学校</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">計56名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・薬学部学生の実習受入れ</p> <p>県内薬剤師の充実を図るため、薬学部学生の実習を積極的に受け入れる。</p>	救急救命東京研修所	8名	救命救急九州研修所	1名	名古屋市救急救命士養成所	1名	自衛隊岐阜病院	6名	岐阜県消防学校	32名	岐阜市消防	1名	高山市消防	1名	各務原市消防	1名	東海医療工学専門学校	2名	計56名		III	<p>・救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施状況は下記のとおりであり、受入計画を達成できた。</p> <p>受入れ実績 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実習受け入れ施設等</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急救命東京研修所</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>救急救命九州研修所</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>東海医療工学専門学校</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>自衛隊岐阜病院</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>岐阜県消防学校</td> <td>28</td> <td>32</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>名古屋市救急救命士養成所</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>岐阜市消防</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>本巣市消防</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>山県市消防</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>各務原市消防</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>高山市消防</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>名古屋医専</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>44</td> <td>56</td> <td>62</td> </tr> </tbody> </table> <p>・薬学部学生の実習受入れ</p> <p>平成26年度当センターでは岐阜薬科大学10人、愛知学院大学2人、名城大学2人、金城学院大学2人、京都薬科大学1人、鈴鹿医療科学大学1人の合計18人の実務実習を受け入れた。</p>	実習受け入れ施設等	H24	H25	H26	救急救命東京研修所	4	8	5	救急救命九州研修所	1	1	1	東海医療工学専門学校	1	2	2	自衛隊岐阜病院	6	6	7	岐阜県消防学校	28	32	35	名古屋市救急救命士養成所	1	1	2	岐阜市消防	1	1	3	本巣市消防	0	0	1	山県市消防	1	0	0	各務原市消防	1	1	1	高山市消防	0	1	1	名古屋医専	0	3	4	合計	44	56	62
救急救命東京研修所	8名																																																																																			
救命救急九州研修所	1名																																																																																			
名古屋市救急救命士養成所	1名																																																																																			
自衛隊岐阜病院	6名																																																																																			
岐阜県消防学校	32名																																																																																			
岐阜市消防	1名																																																																																			
高山市消防	1名																																																																																			
各務原市消防	1名																																																																																			
東海医療工学専門学校	2名																																																																																			
計56名																																																																																				
実習受け入れ施設等	H24	H25	H26																																																																																	
救急救命東京研修所	4	8	5																																																																																	
救急救命九州研修所	1	1	1																																																																																	
東海医療工学専門学校	1	2	2																																																																																	
自衛隊岐阜病院	6	6	7																																																																																	
岐阜県消防学校	28	32	35																																																																																	
名古屋市救急救命士養成所	1	1	2																																																																																	
岐阜市消防	1	1	3																																																																																	
本巣市消防	0	0	1																																																																																	
山県市消防	1	0	0																																																																																	
各務原市消防	1	1	1																																																																																	
高山市消防	0	1	1																																																																																	
名古屋医専	0	3	4																																																																																	
合計	44	56	62																																																																																	

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

1-4 地域支援事業

1-4-1 地域医療への支援

中期目標	<p>地域の医療機関から信頼され、必要とされる病院となるよう地域への支援を行う。</p> <p>地域医療への支援</p> <p>地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、高度先進医療機器の共同利用の促進、開放病床の利用促進など、地域基幹病院として地域医療の確保に努めること。</p> <p>医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援を行うこと。</p> <p>代診医師の派遣や巡回診療等、県全体での広域的なへき地医療支援事業の企画・調整など、県におけるへき地医療対策を円滑かつ効率的に実施すること。</p>
------	--

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																																												
37	<p>・地域医療水準の向上</p> <p>地域の医療機関との連携を強化し、高度先進医療機器の共同利用を促進するとともに、開放型病床の利用促進及び開放型病床利用登録医師との共同診療の実施により地域医療の向上を図る。</p> <p>○高度先進医療機器の共同利用</p> <p>・平成20年度実績 郡上市市民病院との遠隔画像診断、地域がん診療拠点病院として病理診断の実施</p> <p>○開放型病床の利用促進及び共同診療</p> <p>平成20年度の実績は、産科開業医13名が、夜間、周産期医療に参加、小児科開業医6名が小児急病センターに参加し、共同診療を実施した。また、開放型病床の登録医(387名/平成20年度末現在)とも共同診療を実施した。</p> <p>平成21年度は、産科開業医13名が、夜間、周産期医療に参加、さらに8月に新設された小児急病センターにおいて、各務原市医師会所属小児科開業医7名(各1回/月)が小児科輪番日に共同診療を実施する見込みである。</p>	III	III	III	III	<p>・地域医療水準の向上</p> <p>地域の医療機関との連携を強化し、高度先進医療機器の共同利用を促進するとともに、開放型病床の利用促進及び開放型病床利用登録医師との共同診療の実施により地域医療の向上を図り、オープン病床クリニカルミーティングや病診・病病連携検討会、症例検討会(クリニカルラウンド)を開催するなど、地域の医療機関へのハード・ソフト両面での支援を推進する。</p> <p>○高度先進医療機器の共同利用の推進</p> <p>・CTやMRI等の高度先進医療機器については、地域連携病院からの依頼を受けて実施するほか、郡上市市民病院との遠隔画像診断を実施するほか、全自動免疫染色装置の導入による高山赤十字病院をはじめとする他の医療機関からの病理標本の作製や病理診断を受託するなど、地域がん診療連携拠点病院としてがん診療の技術向上等に努める。</p> <p>○開放型病床の利用及び共同診療の推進</p> <p>・岐阜県総合周産期母子医療センターの休日・夜間には、産科開業医等8名、小児急病センターについては、各務原市医師会所属小児科開業医8名(各1回/月)の協力を得て小児夜間・休日診療体制を確立し、また、地域の勤務医(2名)の協力を得て、</p>	<p>・オープン病床クリニカルミーティングを開催し、地域の医療機関との連携を強化した。</p> <p>○高度先進医療機器の共同利用の推進</p> <p>・高度医療機器の共同利用実績 (件数)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>426</td> <td>356</td> <td>405</td> </tr> <tr> <td>MR I</td> <td>323</td> <td>389</td> <td>367</td> </tr> <tr> <td>PET</td> <td>65</td> <td>47</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>遠隔画像診断機器</td> <td>374</td> <td>533</td> <td>216</td> </tr> </tbody> </table> <p>○輪番制実施状況 (日数)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児</td> <td>259</td> <td>259</td> <td>259</td> </tr> <tr> <td>内科・外科系</td> <td>66</td> <td>64</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table> <p>○共同診療の推進</p> <p>平成21年度から引き続き、総合周産期母子医療センターの夜間・休日診療へ6人の開業医師が協力。小児夜間急病センターには各務原市医師会所属医師8人が小児輪番日において共同診療を実施。</p> <p>○開放型病床の利用状況及び共同指導回数</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同指導(回)</td> <td>15.3</td> <td>12.3</td> <td>10.7</td> </tr> <tr> <td>病床利用率(%)</td> <td>49.4</td> <td>41.7</td> <td>41.4</td> </tr> </tbody> </table>	機器名	H24	H25	H26	CT	426	356	405	MR I	323	389	367	PET	65	47	50	遠隔画像診断機器	374	533	216		H24	H25	H26	小児	259	259	259	内科・外科系	66	64	65	項目・年度	H24	H25	H26	共同指導(回)	15.3	12.3	10.7	病床利用率(%)	49.4	41.7	41.4	III		
機器名	H24	H25	H26																																																			
CT	426	356	405																																																			
MR I	323	389	367																																																			
PET	65	47	50																																																			
遠隔画像診断機器	374	533	216																																																			
	H24	H25	H26																																																			
小児	259	259	259																																																			
内科・外科系	66	64	65																																																			
項目・年度	H24	H25	H26																																																			
共同指導(回)	15.3	12.3	10.7																																																			
病床利用率(%)	49.4	41.7	41.4																																																			

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																																								
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																								
						地域連携、夜間・休日診療を実施するなど、救急搬送など「断らない医療」に取り組む。	※ 共同指導回数：月平均																																																											
38	<p>医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援</p> <p>平成20年度の実績は、独立行政法人国立病院機構長良医療センター（1名/週、脳神経外科）、岐阜県立下呂温泉病院（総合内科2人・神経内科3人・消化器内科延べ6人・腎臓内科延べ2人・呼吸器内科1人、小児科延べ3人）、下呂市立金山病院（1人/月、外科延べ12人）等において診療における人的支援を行った。</p> <p>平成21年度は、岐阜赤十字病院（2名/週 循環器内科）、岐阜県立下呂温泉病院（6月から1名：循環器内科、9月から1名：整形外科、4月から1名：小児科）、下呂市立金山病院（1人/月、外科）、公立学校共済組合東海中央病院（10月から2名/週 小児科）において診療における人的支援を行う見込みである。</p> <p>今後も、医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援を継続する。</p>	III	III	IV	IV	<p>・医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援</p> <p>平成25年度は、岐阜県立下呂温泉病院（内科：1人、小児科：1人、泌尿器科：1人/週1回 他）、高山赤十字病院（外科：1人、小児循環器：1人/月1回、産婦人科1名/月1回・6月～12月、新生児内科：1人/2日）、揖斐厚生病院（循環器内科：1名）、東白川国保診療所（1人/週1回半日）、下呂市立金山病院（外科：1人/月1回当直）、郡上市民病院（循環器内科：1人/月2回当直～午前診、総合診療科：1人/週1回半日）、中濃厚生病院（循環器内科：1人/月1回半日、消化器内科：1人/年数回3時間 SED）、久美愛厚生病院（小児科1人/月2回半日・9月～）等において診療における人的支援を行った。</p> <p>今後も地域医療支援の機能を果たすため、引き続き医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援を継続する。</p>	※ 平成26年度は、県立下呂温泉病院（30人）、高山赤十字病院（2人）、揖斐厚生病院（1人）、久美愛厚生病院（1人/月2回）、下呂市立金山病院（1人/月1回）、郡上市民病院（1人/月2回・2人/週1回）等において診療における人的支援を行った。	IV		<p>他の医療機関への人的支援の状況（延べ日数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣先医療機関名</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立下呂温泉病院</td> <td>548</td> <td>591</td> <td>604</td> </tr> <tr> <td>高山赤十字病院</td> <td>504</td> <td>288</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>揖斐厚生病院</td> <td>245</td> <td>225</td> <td>244</td> </tr> <tr> <td>下呂市立金山病院</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>木沢記念病院</td> <td>—</td> <td>244</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>東海中央病院</td> <td>62</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>東白川診療所</td> <td>—</td> <td>24</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>久々野診療所</td> <td>43</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>坂内村国民健康保険診療所</td> <td>45</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>郡上市民病院</td> <td>31</td> <td>73</td> <td>109</td> </tr> <tr> <td>中濃厚生病院</td> <td>25</td> <td>54</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>久美愛厚生病院</td> <td>—</td> <td>14</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,515</td> <td>1,525</td> <td>1,004</td> </tr> </tbody> </table>	派遣先医療機関名	H24	H25	H26	県立下呂温泉病院	548	591	604	高山赤十字病院	504	288	11	揖斐厚生病院	245	225	244	下呂市立金山病院	12	12	12	木沢記念病院	—	244	—	東海中央病院	62	—	—	東白川診療所	—	24	—	久々野診療所	43	—	—	坂内村国民健康保険診療所	45	—	—	郡上市民病院	31	73	109	中濃厚生病院	25	54	—	久美愛厚生病院	—	14	24	合計	1,515	1,525	1,004
派遣先医療機関名	H24	H25	H26																																																															
県立下呂温泉病院	548	591	604																																																															
高山赤十字病院	504	288	11																																																															
揖斐厚生病院	245	225	244																																																															
下呂市立金山病院	12	12	12																																																															
木沢記念病院	—	244	—																																																															
東海中央病院	62	—	—																																																															
東白川診療所	—	24	—																																																															
久々野診療所	43	—	—																																																															
坂内村国民健康保険診療所	45	—	—																																																															
郡上市民病院	31	73	109																																																															
中濃厚生病院	25	54	—																																																															
久美愛厚生病院	—	14	24																																																															
合計	1,515	1,525	1,004																																																															

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項												
39	<p>・へき地医療対策の支援</p> <p>県とへき地医療支援機構業務についての業務委託契約を締結した上で、へき地医療機関等からの代診要請に積極的に対応し、診療支援など人的支援ができるよう、地域医療部の強化、総合診療科の新設などを検討する。また、地方独立行政法人岐阜県立多治見病院や地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院の地域医療部と連携、協力して代診等業務、情報の共有や問題点の解決に当たる。</p> <p>さらに、新医師臨床研修制度における地域・保健プログラムやその他新規プログラムに積極的に参加するとともに、へき地医療機関と連携し、研修の動機付け・総括等、研修医のへき地医療研修支援を行う。へき地医療等を志向する後期研修医、またへき地勤務医の研修時は、地域医療部を所属の場として活用し、各科の横断的研修等を行う。</p>	III	IV	IV	IV	<p>・へき地医療対策の支援</p> <p>平成24年4月1日にへき地医療拠点病院の指定を受け、県とへき地医療支援機構業務についての業務委託契約を締結した上でへき地医療機関等からの代診要請に積極的に対応し、診療支援など人的支援を行う。また、岐阜県立多治見病院や岐阜県立下呂温泉病院の地域医療部と連携、協力して代診等業務、情報の共有や問題点の解決に当たる。</p> <p>さらに、新医師臨床研修制度における地域・保健プログラムやその他新規プログラムに積極的に参加するとともに、へき地医療機関と連携し、研修の動機付け・総括等、研修医のへき地医療研修支援を行う。へき地医療等を志向する後期研修医、またへき地勤務医の研修時は、地域医療部を所属の場として活用し、各科の横断的研修等を行う。</p>	<p>・県とへき地医療支援機構運営委託契約を締結し、依頼に応じて派遣する体制を整備</p> <p>・へき地派遣（平成26年度実績）</p> <p>高山赤十字病院：小児循環器内科2人 下呂温泉病院：小児科3人、泌尿器科3人、乳腺外科1人、内科23人</p> <p>・後期研修プログラムの中に一定期間の医師不足地域での勤務を含めることにより医師不足の解消を図ることを目的として、平成22年9月に、岐阜大学医学部、同附属病院、及び研修医が多く集まる病院とともに「岐阜県医師育成・確保コンソーシアム」に参加した。</p> <p>後期研修医のへき地派遣状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣先医療機関名</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立下呂温泉病院</td> <td>15</td> <td>17</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>15</td> <td>17</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	派遣先医療機関名	H24	H25	H26	県立下呂温泉病院	15	17	12	合計	15	17	12	IV		
派遣先医療機関名	H24	H25	H26																			
県立下呂温泉病院	15	17	12																			
合計	15	17	12																			

1-4-2 社会的な要請への協力

中期目標	岐阜県総合医療センターが有する人材や知見を提供し、鑑定、調査、講師派遣など社会的な要請に積極的な協力を行うこと。
------	--

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																										
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																									
40	医療に関する鑑定や調査、講師派遣など社会的な要請に対する協力を行う。	III	III	III	III	医療に関する鑑定や調査、講師派遣など社会的な要請に対する協力を行う。	・医療に関する鑑定や調査、講師派遣など、随時求められる社会的な要請に対し協力を行ってきた。 ・岐阜大学への講師（医師）派遣 44人 ・岐阜県衛生専門学校への講師（看護師）派遣 24人 ・各種学校への講師（看護師）派遣 26人 ・岐阜薬科大学への講師（薬剤師）派遣 1人 ・東京薬科大学への講師（薬剤師）派遣 1人 ・鈴鹿医療大学への講師（薬剤師）派遣 1人	III																											
							講師派遣の状況 単位：人																												
							<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>18</td> <td>35</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>73</td> <td>49</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>3</td> <td>18</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>95</td> <td>103</td> <td>106</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	医師	18	35	43	歯科医師	1	1	1	看護師	73	49	50	コメディカル	3	18	12	合計	95	103	106				
	H24	H25	H26																																
医師	18	35	43																																
歯科医師	1	1	1																																
看護師	73	49	50																																
コメディカル	3	18	12																																
合計	95	103	106																																

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

1-5 災害等発生時における医療救護

1-5-1 医療救護活動の拠点機能

中期 目標	<p>災害等発生時における医療救護 災害等発生時において、医療救護活動の拠点機能を担うとともに、医療スタッフの派遣や災害派遣医療チームの派遣など医療救護を行うことを求める。</p> <p>医療救護活動の拠点機能 災害等発生時には、岐阜県地域防災計画に基づき、患者の受入れや医療スタッフの現地派遣など本県あるいは岐阜地域の医療救護活動の拠点機能を担うこと。 岐阜県の基幹災害医療センターとして、県内の災害拠点病院に対し災害医療研修や災害医療訓練（公開）を行うなど指導的役割を發揮すること。 他県等の医療救護への協力 県内のみならず他県等の大規模災害等においても、災害派遣医療チーム（DMAT）を派遣するなど、積極的に医療救護の協力を行うこと。</p>
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
41	<p>・医療救護活動拠点機能確保、訓練実施 ・岐阜県地域防災計画に基づき、又は自らの判断で、岐阜県あるいは岐阜地域の医療救護活動拠点機能を担うこととする。 24時間対応可能な救急医療体制を確保し、災害等発生時の救急・重篤患者を受け入れる。 また、NBC（核、生物、化学）災害に対しても対応できるよう、広域災害対策訓練を実施する。さらに全職員が積極的に参加して、職員・部署の役割分担、各部署の備蓄品等を見直し、災害等発生時に患者の受入れ等求められる機能を發揮する組織を構築する。</p>	III	III	III	III	<p>・岐阜県地域防災計画に基づき、又は自らの判断で、岐阜県あるいは岐阜地域の医療救護活動拠点機能を担うこととする。 24時間対応可能な救急医療体制を確保し、災害等発生時の救急・重篤患者を受け入れるとともに、医療スタッフを現地に派遣して医療救護活動を行う。 また、大規模災害に対し、消防本部等の関係機関をはじめ住民やボランティアの協力を得て、屋上ヘリポートを活用し、災害時の緊急を要する重篤患者の搬送を行う広域災害対策訓練を実施する。</p>	<p>・三重県から岐阜県西南部で震度7の地震発生、診療時間中であり、センターでは本館の一部から火災が発生した場合を想定し、関係消防本部と連携のもと、災害対策訓練を実施した。 日 時：平成26年8月30日（土） 訓練内容： 1 災害医療提供体制の立ち上げをシミュレーションにより確認する。一斉メールの運用確認 2 応急救護所設置訓練及び傷病者に対するトリアージ及び応急処置ならびに病棟圧縮を確認する。 参加人員：275人</p>	III		
42	<p>・基幹災害医療センター機能強化 県下5圏域の災害拠点病院を統括する最先端の「基幹災害医療センター」としての機能を強化し、指導的役割を發揮する。</p>	III	III	III	III	<p>・県下5圏域の災害拠点病院の中心となる「基幹災害医療センター」としての機能を強化し、指導的役割を發揮する。</p>	<p>・災害備蓄として各種備品を整備し、運用した。 主な備品：リフトテント（36人用・18人用） テント用暖房装置 インバータ発電機等</p>	III		

1-5-2 他県等の医療救護への協力

中期 目標	県内のみならず他県等の大規模災害等においても、災害派遣医療チーム（DMAT）を派遣するなど、積極的に医療救護の協力を行うこと。
----------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
43	大規模災害への対応を図るため、DMATを編成し、必要な機能を整備する。 平成16年度には、岐阜県地域防災計画に基づく医療班を編成し、新潟県中越地震にて医療支援を実施した。（5班体制：1班5名）	IV	IV	III	III	・大規模災害発生時のDMATの派遣 大規模災害への対応を図るため、DMAT及び岐阜県地域防災計画に基づく医療班を編成し、必要な機能を整備する。 平成23年3月11日に発生した東日本大震災に対する対応として、被災直後にDMAT 1班5名を派遣した。 その後、宮城県からの要請により3月18日から5月11日までの間に、医師1名、看護師2名、薬剤師1名、事務員1名の計5人を1班とする医療救護班5班が宮城県亘理町にて災害医療支援を行った。	・大規模災害発生時のDMATの派遣 大規模災害への対応を図るため、DMAT及び岐阜県地域防災計画に基づく医療救護班を編成し、必要な機能を整備した。	III		
44	・訓練・研修への派遣 大規模災害に対応するよう、DMATの5班体制を確保するために県内外のDMATとの訓練・研修に派遣することにより、質の向上と維持を図る。	III	III	III	III	・大規模災害に対応するよう、DMATの機能を維持するために、国、中部地区、岐阜県が開催する訓練・研修に参加し、技術の向上と維持を図る。 （平成25年度 DMAT 2班）	・平成26年度中部ブロックDMAT実働訓練に4人参加した。 ・自衛隊航空機を使用したDMAT広域医療搬送実機実習に1人参加した。 ・DMAT技能維持研修に5人（延べ6回）が参加した。 ・DMAT隊ユニフォームを15セット新規に整備した。	III		

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

2-1 効率的な業務運営体制の確立

2-1-1 簡素で効果的な組織体制の確立

中期目標 自律性・機動性・効率性の高い病院運営を行うための業務運営体制を確立するとともに、地方独立行政法人制度の特徴を最大限に活かし、業務運営の改善及び効率化に努めることを求める。  
医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応するため、法人の理事長のリーダーシップが発揮できる簡素で効果的な組織体制を確立すること。  
ITの活用とアウトソーシングを進めるとともに、経営企画機能を強化し、経営効率の高い業務執行体制を確立すること。

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
45	・効率的かつ効果的な組織体制の構築 理事長のイニシアチブの下、医療環境の変化や県民の医療需要に的確に対応できるよう弾力的な組織づくりを進め、迅速で柔軟性のある業務運営に努め、職員の自主性を尊重し、職員それぞれが自己の役割を全うできるよう効率的・効果的な組織体制づくりをする。	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	・効率的かつ効果的な組織体制の構築 理事長のリーダーシップの下、医療環境の変化や県民の医療需要に的確に対応できるよう診療体制を引き続き確保するための弾力的な組織づくりを進める。	・専門職の雇用を増員し、組織力の強化に努めた。 ※医療クラーク：1人増（51人→52人）	Ⅲ		
46	・各種業務のIT化の推進 人事給与システム、旅費システム、経営管理システムなど各種事務処理において、積極的にITを活用する。	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	・各種業務のIT化の推進 人事給与システム、旅費システム、経営管理システムなどの機能見直しを随時実施し、効率的な事務環境を作り上げていく。	・ASPサービス（Application Service Provider Service：インターネットを通じて顧客にビジネス用アプリケーションをレンタルするサービス）の利用により人事・給与システムを導入するとともに、手当の増加や給与表の改定等にすみやかに対応するなど、給与計算事務を支援した。また、旅費計算ソフトにより、旅費計算事務の効率化を図った。	Ⅲ		
47	・アウトソーシング導入による合理化 定型的な業務のうち委託が可能なものについては、アウトソーシングの導入を図る。	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	・アウトソーシング導入による合理化 新たなアウトソーシングの導入については、病院経営とのバランスを考慮しながら、委託内容や方法などの見直しを行う。既存の委託事業についての費用対効果等についてはチェックを行う。	・庁舎管理部門（清掃、設備監視、防災他）や医業部門（給食、医事業務、洗濯業務他）の専門的スキルを有する部門について、アウトソーシングを導入しており、特に情報業務システム関連業務、SPD業務の契約において、質・量の徹底的な見直しを実施したことにより、大幅な経費節減を実現できている。 ・診療材料について、メーカー間の競争を促し、価格交渉を継続して節減したことに加え、前年度の価格交渉結果を常に監視することで本年度も節減効果を維持した。	Ⅲ		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証					
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項					
						アウトソーシング導入件数 <table border="1"> <tr> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>3,272 件</td> <td>4,317 件</td> <td>9,758 件</td> </tr> </table> ※電子カルテシステム中のデータをCD入出力した件数	H24	H25	H26	3,272 件	4,317 件	9,758 件			
H24	H25	H26													
3,272 件	4,317 件	9,758 件													
48	<p>・経営効率の高い業務執行体制の確立 事務局職員の病院運営や医療事務等に係る能力向上を支援することで、経営企画機能を強化し、経営環境の変化に対応できる業務執行体制を整備する。また、定年を迎えた職員のうち、病院経営に寄与すると認められる職員を再雇用する制度を整備する。</p>	III	III	III	III	<p>・経営効率の高い業務執行体制の確立 機動的、効率的な病院運営を図り平成22年度に策定した「事務職員の人材開発」に積極的に取り組むとともに、積極的に各種研修会に参加するなど地方独立行政法人化に合わせて整備した経営企画機能部門・人事労務管理部門を強化し、経営環境の変化に対応できる業務執行体制を確立する。</p>	<p>・経営企画課において、経営分析等を行うことで、薬品や診療材料の購入価格や委託業務の複数年契約等の経営改善すべき点の把握につとめ、効率的な病院運営を図るための方策等を検討した。 ・非常勤職員の再雇用制度を活用し、質の高い医療の提供に寄与すると認められる薬剤師、診療放射線技師等を再雇用し、更なる充実を図った。</p>	III							

### 2-1-2 診療体制、人員配置の弾力的運用

中期目標	医療需要の変化に迅速に対応し、診療科の変更や医師・看護師等の配置の弾力的運用を行うこと。 常勤以外の雇用形態も含めた多様な専門職の活用による、効果的な医療の提供に努めること。
------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項	
49	<p>・弾力的運用の実施 医療需要や患者動向の変化に迅速・柔軟に対応した診療科の変更、医師・看護師等の配置の弾力的運用を行う。 脊椎脊髄外科センター、睡眠時無呼吸センター、前立腺センター、小児腎臓科、総合診療科等、医療需要の変化や患者動向に迅速に対応した診療科を設置し、また、漢方医療を活用した日本型医療の創生をめざし、漢方科の設置について検討する。</p>	III	III	III	III	<p>・弾力的運用の実施 医療需要や患者動向の変化に迅速・柔軟に対応した診療科の変更、医師・看護師等の配置の弾力的運用を行う。平成25年度は、大腸外科、精神腫瘍科、呼吸器内視鏡部、核医学診療センター、第三麻酔科、内視鏡治療部、ハイブリッドセンター部、臨床栄養科、総合外来センター、専門外来部、遺伝子診断治療外来、ワクチンセンター部、専門ドック部、入院</p>	<p>・平成26年度においては、膠原病科、脳血管内治療科、感染症内科、臨床検査科内に検査第五担当を新設し、また第一、第二及び第三麻酔科を麻酔科へ統合する等、医療需要の変化や患者動向に迅速に対応した。</p>	III			

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																											
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																											
						前検査センター、入退院管理室、自宅退院サポートセンター部、初期研修医担当、後期研修医担当、歯科研修医担当、総合研修部、栄養センター、臨床栄養部、NST部、ホスピタルクオリティ(HQ)センター部、診療情報解析担当を設置等した。																															
50	<p>・効果的な体制による医療の提供 常勤以外の雇用形態を含む多様な専門職の活用など、効果的な体制による医療の提供に努める。 特に、医療職サポートシステム（医療クラーク、病棟等看護クラーク等）の強化、充実を図る。</p>	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅲ	<p>・効果的な体制による医療の提供 常勤以外の雇用形態を含む多様な専門職の活用など、効果的な体制による医療の提供に努める。 特に、医療職サポートシステム（医師事務作業補助職員：48人（平成25年度）→50人、看護事務補助職員：26人（平成25年度）→31人）の強化、充実を図る。</p>	<p>・医療職サポートシステムの強化、充実を図るため各種クラークを採用した。 医師・看護師事務作業補助者数（各年3.31）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療クラーク</td> <td>48人</td> <td>51人</td> <td>52人</td> </tr> <tr> <td>看護クラーク</td> <td>26人</td> <td>28人</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>74人</td> <td>79人</td> <td>82人</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	医療クラーク	48人	51人	52人	看護クラーク	26人	28人	30人	合計	74人	79人	82人	Ⅲ													
	H24	H25	H26																																		
医療クラーク	48人	51人	52人																																		
看護クラーク	26人	28人	30人																																		
合計	74人	79人	82人																																		
51	<p>・3法人間の人事交流による適正な職員配置（人材活用のネットワーク化） 地方独立行政法人岐阜県立多治見病院及び地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院間で、職種の特殊性に配慮し、積極的に人事交流を行うなど、3法人間人材活用等のネットワーク化により、適正な職員配置を実現する。</p>	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	<p>・3法人間の人事交流による適正な職員配置（人材活用のネットワーク化）を実施した。 ・人事交流実績（出向） 他法人への出向 2人 [コメディカル（多治見病院1人、下呂温泉病院1人）]  他法人からの出向（受入）2人 [薬剤師（下呂温泉病院1人）、助産師（下呂温泉病院1人）]  職員の他法人への出向状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>准看護師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	医師	—	—	—	歯科医師	—	—	—	看護師	—	—	—	准看護師	—	—	—	コメディカル	2	3	2	合計	2	3	3	Ⅲ		
	H24	H25	H26																																		
医師	—	—	—																																		
歯科医師	—	—	—																																		
看護師	—	—	—																																		
准看護師	—	—	—																																		
コメディカル	2	3	2																																		
合計	2	3	3																																		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																											
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																											
						他法人職員の受入状況 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>2(1)</td> <td>2(1)</td> <td>0(1)</td> </tr> <tr> <td>准看護師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>3(1)</td> <td>3(1)</td> <td>1(1)</td> </tr> </tbody> </table> ※ 看護師欄にある( )は、助産師数		H24	H25	H26	医師	—	—	—	歯科医師	—	—	—	看護師	2(1)	2(1)	0(1)	准看護師	—	—	—	コメディカル	1	1	1	合 計	3(1)	3(1)	1(1)			
	H24	H25	H26																																		
医師	—	—	—																																		
歯科医師	—	—	—																																		
看護師	2(1)	2(1)	0(1)																																		
准看護師	—	—	—																																		
コメディカル	1	1	1																																		
合 計	3(1)	3(1)	1(1)																																		
					・障がい者雇用の促進 平成26年1月～12月の間で、障がい者を6人雇用する。	平成26年度 障がい者雇用数 3人（看護部2人、コメディカル1人）	—																														

### 2-1-3 人事評価システムの構築

中期 目標	職員のモチベーション向上のため、知識、能力、経験や勤務実績等を反映させた公平で客観的な人事評価制度の構築を図り、中期目標の期間の最終年度までに試行運用を行うこと。
----------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項	
52	・職員の業績や能力を職員の給与に反映し、職員の人材育成、人事管理に活用するための公正で客観的な人事評価制度を構築する。なお、中期目標の期間内に当該制度を試行的に実施するものとする。	Ⅲ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ	・職員の業績や能力を職員の給与に反映し、職員の 人材育成、人事管理に活用するための公正で客観的 な人事評価制度を試行する。また、独自の人事評価 制度の構築に向け引き続き検討する。	<人事評価制度構築への取り組み状況> ・評価者に対する研修会を実施した（10/14, 28）。 ・平成26年度においては、全ての部署にて試行を 実施した。	Ⅳ			

2-1-4 事務部門の専門性の向上

中期目標 事務部門において、病院特有の事務に精通した法人の職員を計画的に確保及び育成することにより、事務部門の専門性を向上すること。

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																
53	<p>・経営管理機能を強化するため、病院事務に精通し、経営の中心となるプロパー職員を計画的に確保する。また、専門性の向上に計画的に取り組むため、診療報酬等の専門研修、病院経営に係る財務経営分析等の研修、危機管理に関する研修など事務部門の病院運営や医療事務に精通した職員を確保する。</p>	III	III	III	III	<p>・新たに必要となった人事労務機能の強化のため、総務課内に設置した「人事労務担当」、経営管理機能を強化するために設置した「経営企画課」に関して、更なる専門性の向上を図る。</p> <p>そのため、新人職員の院内外研修の実施をはじめ人事・労務管理に関する研修、病院経営に係る財務経営分析等の研修、危機管理に関する研修、医事管理の専門研修などへの参加を支援するとともに、プロパー（事務職）職員を計画的に採用し、事務部門の病院運営や医療事務に精通した職員を確保する。</p>	<p>・プロパー（事務職）職員を計画的に採用（事務職員8人）し、病院運営や医療事務に精通した事務職員を確保した。</p> <p>・経営企画課主導による経営状況の分析、課題への取組等について経営会議において検討し、収益体質の向上や効率的な経営に取り組み収益の増加やコスト削減に寄与した。また、専門性の向上のため、職務に関連する研修の参加を支援した。</p> <p>・経営会議 月1回開催 毎月の経営状況の把握、診療科別損益計算やDPC係数等収益性の向上を課題として実施した。</p> <p>・施設基準 診療内容を精査した上で、施設基準を満たしているのかを確認し、基準を満たした場合には届出を行ったことで、収益性の向上に取組んだ。</p> <p>事務職員の状況 (各年3.31時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロパー職員</td> <td>22人</td> <td>35人</td> <td>41人</td> </tr> <tr> <td>県派遣職員</td> <td>26人</td> <td>14人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>48人</td> <td>49人</td> <td>53人</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	プロパー職員	22人	35人	41人	県派遣職員	26人	14人	12人	合計	48人	49人	53人	III		
	H24	H25	H26																							
プロパー職員	22人	35人	41人																							
県派遣職員	26人	14人	12人																							
合計	48人	49人	53人																							

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

2-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善

2-2-1 多様な契約手法の導入

中期目標 透明性・公平性の確保に十分留意しつつ、複数年契約や複合契約など多様な契約手法を導入し、契約事務の集約化・簡素化・迅速化を図るとともに、費用の節減に努めること。

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
54	・入札・契約事務について、民間病院の取り組みを参考に、複数年契約や複合契約などの多様な契約手法を導入するなど、集約化・簡素化・迅速化を図り、経費の節減に努める。	III	IV	IV	IV	・入札・契約については透明性・公平性を図るため、民間病院や先行した地方独立行政法人の取り組みを参考に、複数年契約や複合契約などの多様な契約手法の導入に向け検討し、集約化・簡素化・迅速化を図り、経費の節減を図る。	・診療材料について、ベンチマークを活用して新規採用品目の価格を抑えとともに、既存使用品目も継続して価格交渉を行い、節減効果を維持した。 ・各部署における診療材料の定数品目及び数量の見直しを行い、効率的管理を推進した。 ・診療材料については、ベンチマークを活用し5,230品目の価格交渉を行い、約9,900万円のコスト削減ができた。	IV		

2-2-2 収入の確保

中期目標 地域社会のニーズに即した病院経営を行うことにより、病床利用率や医療機器の稼働率を高め、収入の確保に努めること。

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																					
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																				
55	<p>・効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用担当職員の配置と空床管理マニュアルにより、有効な病床管理を徹底し、病床利用率の向上に取り組む。また、医療機器については、開放型病床登録医師（地域開業医師）との病診連携を密にし、開放型病床を活用することで、医療機器の稼働率の向上を図る。さらに、医療需要の変化や患者動向に対応できるよう診療科を多様化し、健診部門についても導入を目指す。</p>	III	III	III	III	<p>・効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用 長期入院の患者数を常に把握しながら空床管理マニュアルを活用し、併せて病診連携による退院調整を促進し、在院日数の短縮及び病床利用率の向上に努める。 また、医療機器については、開放型病床登録医師（地域開業医師）との病診連携を密にし、開放型病床を活用することで、医療機器の稼働率の向上を図る。</p>	<p>・地域の医療機関等との連携として、共同指導、病床(100床)・設備の開放を行い病診連携を推進した。 ・開放型病床利用率、共同指導回数(月平均)の推移</p> <table border="1"> <tr> <td>項目・年度</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>共同指導(回)</td> <td>15.3</td> <td>12.6</td> <td>10.7</td> </tr> <tr> <td>病床利用率(%)</td> <td>49.4</td> <td>41.9</td> <td>41.4</td> </tr> </table> <p>・MR I、CT、胃カメラ等の検査は登録医からのFAXにより予約が可能となっている。</p> <p>○実績</p> <table border="1"> <tr> <td>項目・年度</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>FAX予約</td> <td>1,087</td> <td>1,075</td> <td>1,130</td> </tr> </table>	項目・年度	H24	H25	H26	共同指導(回)	15.3	12.6	10.7	病床利用率(%)	49.4	41.9	41.4	項目・年度	H24	H25	H26	FAX予約	1,087	1,075	1,130	III		
項目・年度	H24	H25	H26																											
共同指導(回)	15.3	12.6	10.7																											
病床利用率(%)	49.4	41.9	41.4																											
項目・年度	H24	H25	H26																											
FAX予約	1,087	1,075	1,130																											
56	<p>・未収金の発生防止対策等 診療報酬の請求もれ防止と未収金の発生の未然防止を徹底するため、相談窓口拡充を図る。</p>	III	IV	IV	IV	<p>・未収金の発生防止対策等 診療費に係る未収金の発生防止対策として、緊急に入院となった患者への面談を実施することで保険確認や支払相談に早期に着手することで未収金発生</p>	<p>○発生防止 ・入院説明室で、入院決定時に概算費用の提示や福祉制度の説明など医療相談員への仲介を実施した。また、入院患者には原則として限度額認定証の提示</p>	IV																						

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説 明、 特筆すべき事項																
						<p>の未然防止を徹底する。また、平成23年10月から導入した入院患者に対する退院時請求・支払が行える体制を定着化させるとともに支払に関する相談に応じる体制も確保する。やむなく未収金となった場合には、支払計画の作成を促すと伴にその履行を確認し、早期の督促、催告を実施する。あわせて回収が困難と見込まれる未収金については、平成22年度末から実施した債権回収業務（弁護士法人）にその処理を委託し効果的、効率的な未収金回収に努める。</p>	<p>を求めていることを説明し、その手続きを依頼した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療相談員により、救急搬送患者に対する身元確認、保険確認を早期に行い、医療保険制度の活用を紹介するなど高額な患者負担額とならないよう努めた。</li> <li>・出産に伴う入院費について、出産一時金直接払制度を全ての出産について利用していただくよう徹底を図った。制度の利用が困難な事案については、医療相談員の介入を早期に実施し、退院時の支払が出来るよう支援を行った。</li> </ul> <p>○回収</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月2回、定期に督促状を発布し、早期に未収金回収に着手した。</li> <li>・督促状発布後、随時催告状を送付するとともに必要に応じ夜間電話催告や臨宅催告を行った。</li> <li>・未納者が受診した際には、面談による納付催告実施した。</li> <li>・回収困難な未収金について、弁護士法人に回収業務を委託し、回収の実績を上げた。</li> </ul> <p>○回収実績 (各年3月時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託金額</td> <td>106,970 千円</td> <td>116,670 千円</td> <td>133,071 千円</td> </tr> <tr> <td>回収金額</td> <td>30,185 千円</td> <td>41,496 千円</td> <td>50,930 千円</td> </tr> <tr> <td>回収率</td> <td>28.2%</td> <td>35.5%</td> <td>38.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○センター全体の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未収金対策プロジェクトチーム（H22.12 設置、H24.4 改称）がリーダーシップをとり、現状把握、回収・発生防止を病院全体で行った。</li> <li>・病棟による支払確認後に退院させるようにし、休日退院患者に対し、可能な場合は退院前に入院費の</li> </ul>		H24	H25	H26	委託金額	106,970 千円	116,670 千円	133,071 千円	回収金額	30,185 千円	41,496 千円	50,930 千円	回収率	28.2%	35.5%	38.3%			
	H24	H25	H26																							
委託金額	106,970 千円	116,670 千円	133,071 千円																							
回収金額	30,185 千円	41,496 千円	50,930 千円																							
回収率	28.2%	35.5%	38.3%																							

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																				
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説 明、 特筆すべき事項																																			
						<p>計算を行い、請求する体制をとり、成果を上げた。</p> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療相談員を2人増員し、各種医療相談への対応を充実させた。(H22 から)</li> <li>・クレジットカード決済を導入 (H22.7) し、支払機会の拡大を図ることで、入院費など的高額な支払が円滑に出来るよう体制を整えた。</li> </ul> <p>○クレジットカード利用実績割合 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>6.95</td> <td>9.65</td> <td>10.50</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>18.30</td> <td>21.16</td> <td>21.71</td> </tr> </tbody> </table> <p>※全体の支払件数、金額に占めるクレジットカード利用率</p> <p>未収金発生状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H25</th> <th colspan="2">H26</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年分</td> <td>727</td> <td>65,452</td> <td>657</td> <td>60,094</td> </tr> <tr> <td>現年分</td> <td>332</td> <td>20,395</td> <td>358</td> <td>22,209</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,059</td> <td>85,847</td> <td>1,015</td> <td>82,303</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H25年度からH26年度で医業収益が843百万円増加したことにより、H26年度に新規で発生した未収金は、H25年度に比較して約2百万円増加したが、医業収益に対する未収金率は横ばいであり、未収金対策に対する取組みが継続できていると言える。</p> <p>また、未収金額の合計は約3百万円減少している。</p>		H24	H25	H26	件数	6.95	9.65	10.50	金額	18.30	21.16	21.71		H25		H26		件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	過年分	727	65,452	657	60,094	現年分	332	20,395	358	22,209	合 計	1,059	85,847	1,015	82,303			
	H24	H25	H26																																										
件数	6.95	9.65	10.50																																										
金額	18.30	21.16	21.71																																										
	H25		H26																																										
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)																																									
過年分	727	65,452	657	60,094																																									
現年分	332	20,395	358	22,209																																									
合 計	1,059	85,847	1,015	82,303																																									

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																								
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																								
57	<p>・入院時医学管理加算として退院時の開業医への紹介率（退院時加算等40%以上）の向上 入院時医学管理加算の強化や看護師の集中による集中治療加算など、診療報酬を増やし収入が確保できる体制を整備する。</p>	III	III	IV	IV	<p>・総合入院体制加算（旧：入院時医学管理加算）として退院時の開業医への紹介率（退院時加算等40%以上）の向上 平成26年度の診療報酬改定に柔軟に対応し、診療収入の確保に繋がる施設基準についてはその体制整備等を行い。速やかに届出等を行う。特に、総合入院体制加算や地域医療支援病院入院診療加算など収入への影響が大きい加算については、その算定基準（要件）を維持する。 総合入院体制加算：退院時診療情報添付加算算定割合 40%以上 地域医療支援病院入院診療加算：紹介率50%以上、逆紹介率70%以上</p>	<p>・総合入院体制加算の要件である「地域の他の保険医療機関との連携のもとに、診療情報提供料（I）の加算を算定する退院患者数及び治療し通院の必要のない患者数が直近の1ヶ月間の総退院患者数のうち、4割以上であること」（退院時加算40%以上）が達成できた。</p> <p>・実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>63.3%</td> <td>64.2%</td> <td>63.4%</td> </tr> <tr> <td>紹介実施件数</td> <td>14,524 件</td> <td>15,079 件</td> <td>15,717 件</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>75.7%</td> <td>78.1%</td> <td>83.1%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介実施件数</td> <td>18,488 件</td> <td>19,587 件</td> <td>20,587 件</td> </tr> <tr> <td>退院時加算</td> <td>50.2%</td> <td>47.8%</td> <td>50.1%</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	紹介率	63.3%	64.2%	63.4%	紹介実施件数	14,524 件	15,079 件	15,717 件	逆紹介率	75.7%	78.1%	83.1%	逆紹介実施件数	18,488 件	19,587 件	20,587 件	退院時加算	50.2%	47.8%	50.1%	IV		
	H24	H25	H26																															
紹介率	63.3%	64.2%	63.4%																															
紹介実施件数	14,524 件	15,079 件	15,717 件																															
逆紹介率	75.7%	78.1%	83.1%																															
逆紹介実施件数	18,488 件	19,587 件	20,587 件																															
退院時加算	50.2%	47.8%	50.1%																															

2-2-3 費用の削減

中期目標	薬剤・診療材料の購入方法の見直しや在庫管理の徹底や後発医薬品（ジェネリック医薬品）の採用などにより費用の削減に努めること。
------	---

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																																
58	<p>・医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、適正在庫管理の徹底や後発医薬品（ジェネリック医薬品）の効率的採用などによる費用の削減</p> <p>専門職員を配置し、他病院での医薬品・診療材料等の購入価格や後発医薬品の使用状況を調査・分析し、効率的・経済的な購入に努め、費用の削減を図る。</p>	III	III	III	III	<p>・医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、適正在庫管理の徹底や後発医薬品（ジェネリック医薬品）の効率的採用などによる費用の削減</p> <p>・医薬品については、全国自治体病院協議会医薬品ベンチマーク・分析システム事業に参加し、医薬品の適正な管理、購入価格の削減に活かす。</p> <p>・診療材料については、ベンチマーク情報提供者を委託し、情報提供を受け、診療材料の購入単価の減額を目指す。</p> <p>・材料費について医薬収益の30%以下を目指す。</p>	<p>・医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、適正在庫管理の徹底や後発医薬品（ジェネリック医薬品）の効率的採用などによる費用の削減を目指した。</p> <p>・医薬品のコスト削減への取り組み状況 先発品から後発品に、院内コンセンサスを得ながら変更した。</p> <p>・コンサルタント活用による情報収集と診療材料のコスト削減への取り組み。</p> <p>・ジェネリック医薬品使用単位数実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>増加率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用率</td> <td>11.85%</td> <td>10.15%</td> <td>-1.70 P</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ジェネリック医薬品の使用率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目ベース</td> <td>6.81%</td> <td>6.53%</td> <td>8.80%</td> </tr> <tr> <td>金額ベース</td> <td>5.12%</td> <td>4.73%</td> <td>5.43%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・医薬収益に対する材料費比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>13.87%</td> <td>13.76%</td> <td>13.42%</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>13.46%</td> <td>14.61%</td> <td>15.77%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H25	H26	増加率	使用率	11.85%	10.15%	-1.70 P		H24	H25	H26	品目ベース	6.81%	6.53%	8.80%	金額ベース	5.12%	4.73%	5.43%		H24	H25	H26	薬品費	13.87%	13.76%	13.42%	診療材料費	13.46%	14.61%	15.77%	III		
年度	H25	H26	増加率																																							
使用率	11.85%	10.15%	-1.70 P																																							
	H24	H25	H26																																							
品目ベース	6.81%	6.53%	8.80%																																							
金額ベース	5.12%	4.73%	5.43%																																							
	H24	H25	H26																																							
薬品費	13.87%	13.76%	13.42%																																							
診療材料費	13.46%	14.61%	15.77%																																							

3 予算（人件費の見積含む）、収支計画及び資金計画

中期 目標	経常収支比率	業務運営の改善及び効率化を効果的に進めることで、中期目標の期間の最終年度までに経常収支比率100%以上を達成すること。 職員給与費対医業収益比率 職員給与費対医業収益比率については、同規模の全国自治体病院の黒字病院の当該比率の平均値を参考に、中期計画にその目標を定め、中期目標の期間の最終年度までに達成すること。
	職員給与費対医業収益比率	
	職員給与費対医業収益比率	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																																																																														
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																																														
59	「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標の期間の最終年度までに、経常収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率を50%以下とすることを旨とする。	IV	III	IV	IV	「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標の期間の最終年度までに、経常収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率を50%以下とすることを旨とする。	「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、経常収支比率101.6%、及び職員給与費対医業収益比率47.5%と年度計画を上回る結果となった。	IV																																																																																																
	<p>3-1 予算（平成22年度～平成26年度） （単位：百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>収入</td><td></td></tr> <tr><td>  営業収益</td><td>79,993</td></tr> <tr><td>    医業収益</td><td>74,758</td></tr> <tr><td>    運営費負担金収益</td><td>3,816</td></tr> <tr><td>    その他営業収益</td><td>1,420</td></tr> <tr><td>  営業外収益</td><td>1,156</td></tr> <tr><td>    運営費負担金収益</td><td>1,017</td></tr> <tr><td>    その他営業外収益</td><td>138</td></tr> <tr><td>  資本収入</td><td>1,052.5</td></tr> <tr><td>    長期借入金</td><td>5,963</td></tr> <tr><td>    運営費負担金</td><td>4,339</td></tr> <tr><td>    その他資本収入</td><td>223</td></tr> <tr><td>  その他の収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>  計</td><td>91,674</td></tr> <tr><td>支出</td><td></td></tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収入		営業収益	79,993	医業収益	74,758	運営費負担金収益	3,816	その他営業収益	1,420	営業外収益	1,156	運営費負担金収益	1,017	その他営業外収益	138	資本収入	1,052.5	長期借入金	5,963	運営費負担金	4,339	その他資本収入	223	その他の収入	0	計	91,674	支出					<p>3-1 予算（平成26年度） （単位：百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>収入</td><td></td></tr> <tr><td>  営業収益</td><td>20,707</td></tr> <tr><td>    医業収益</td><td>19,294</td></tr> <tr><td>    運営費負担金収益</td><td>1,087</td></tr> <tr><td>    その他営業収益</td><td>325</td></tr> <tr><td>  営業外収益</td><td>216</td></tr> <tr><td>    運営費負担金収益</td><td>148</td></tr> <tr><td>    その他営業外収益</td><td>67</td></tr> <tr><td>  資本収入</td><td>1,266</td></tr> <tr><td>    長期借入金</td><td>718</td></tr> <tr><td>    運営費負担金</td><td>472</td></tr> <tr><td>    その他資本収入</td><td>76</td></tr> <tr><td>  その他の収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>  計</td><td>22,190</td></tr> <tr><td>支出</td><td></td></tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収入		営業収益	20,707	医業収益	19,294	運営費負担金収益	1,087	その他営業収益	325	営業外収益	216	運営費負担金収益	148	その他営業外収益	67	資本収入	1,266	長期借入金	718	運営費負担金	472	その他資本収入	76	その他の収入	0	計	22,190	支出		<p>3-1 決算（平成26年度） （単位：百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>収入</td><td></td></tr> <tr><td>  営業収益</td><td>21,425</td></tr> <tr><td>    医業収益</td><td>20,034</td></tr> <tr><td>    運営費負担金収益</td><td>1,034</td></tr> <tr><td>    その他営業収益</td><td>357</td></tr> <tr><td>  営業外収益</td><td>211</td></tr> <tr><td>    運営費負担金収益</td><td>147</td></tr> <tr><td>    その他営業外収益</td><td>64</td></tr> <tr><td>  資本収入</td><td>1,207</td></tr> <tr><td>    長期借入金</td><td>653</td></tr> <tr><td>    運営費負担金</td><td>474</td></tr> <tr><td>    その他資本収入</td><td>79</td></tr> <tr><td>  その他の収入</td><td>5</td></tr> <tr><td>  計</td><td>22,850</td></tr> <tr><td>支出</td><td></td></tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収入		営業収益	21,425	医業収益	20,034	運営費負担金収益	1,034	その他営業収益	357	営業外収益	211	運営費負担金収益	147	その他営業外収益	64	資本収入	1,207	長期借入金	653	運営費負担金	474	その他資本収入	79	その他の収入	5	計	22,850	支出			
区 分	金 額																																																																																																							
収入																																																																																																								
営業収益	79,993																																																																																																							
医業収益	74,758																																																																																																							
運営費負担金収益	3,816																																																																																																							
その他営業収益	1,420																																																																																																							
営業外収益	1,156																																																																																																							
運営費負担金収益	1,017																																																																																																							
その他営業外収益	138																																																																																																							
資本収入	1,052.5																																																																																																							
長期借入金	5,963																																																																																																							
運営費負担金	4,339																																																																																																							
その他資本収入	223																																																																																																							
その他の収入	0																																																																																																							
計	91,674																																																																																																							
支出																																																																																																								
区 分	金 額																																																																																																							
収入																																																																																																								
営業収益	20,707																																																																																																							
医業収益	19,294																																																																																																							
運営費負担金収益	1,087																																																																																																							
その他営業収益	325																																																																																																							
営業外収益	216																																																																																																							
運営費負担金収益	148																																																																																																							
その他営業外収益	67																																																																																																							
資本収入	1,266																																																																																																							
長期借入金	718																																																																																																							
運営費負担金	472																																																																																																							
その他資本収入	76																																																																																																							
その他の収入	0																																																																																																							
計	22,190																																																																																																							
支出																																																																																																								
区 分	金 額																																																																																																							
収入																																																																																																								
営業収益	21,425																																																																																																							
医業収益	20,034																																																																																																							
運営費負担金収益	1,034																																																																																																							
その他営業収益	357																																																																																																							
営業外収益	211																																																																																																							
運営費負担金収益	147																																																																																																							
その他営業外収益	64																																																																																																							
資本収入	1,207																																																																																																							
長期借入金	653																																																																																																							
運営費負担金	474																																																																																																							
その他資本収入	79																																																																																																							
その他の収入	5																																																																																																							
計	22,850																																																																																																							
支出																																																																																																								

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																																																			
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																																																		
	<table border="1"> <tr><td>営業費用</td><td>73,180</td></tr> <tr><td>  医業費用</td><td>71,899</td></tr> <tr><td>    給与費</td><td>36,395</td></tr> <tr><td>    材料費</td><td>22,621</td></tr> <tr><td>    経費</td><td>12,385</td></tr> <tr><td>    研究研修費</td><td>497</td></tr> <tr><td>  一般管理費</td><td>1,281</td></tr> <tr><td>    給与費</td><td>1,063</td></tr> <tr><td>    経費</td><td>218</td></tr> <tr><td>営業外費用</td><td>1,624</td></tr> <tr><td>資本支出</td><td>16,430</td></tr> <tr><td>  建設改良費</td><td>5,554</td></tr> <tr><td>  償還金</td><td>10,826</td></tr> <tr><td>  その他資本支出</td><td>50</td></tr> <tr><td>その他の支出</td><td>221</td></tr> <tr><td>計</td><td>91,454</td></tr> </table> <p>(注記 略)</p>	営業費用	73,180	医業費用	71,899	給与費	36,395	材料費	22,621	経費	12,385	研究研修費	497	一般管理費	1,281	給与費	1,063	経費	218	営業外費用	1,624	資本支出	16,430	建設改良費	5,554	償還金	10,826	その他資本支出	50	その他の支出	221	計	91,454					<table border="1"> <tr><td>営業費用</td><td>18,437</td></tr> <tr><td>  医業費用</td><td>18,114</td></tr> <tr><td>    給与費</td><td>8,833</td></tr> <tr><td>    材料費</td><td>5,962</td></tr> <tr><td>    経費</td><td>3,060</td></tr> <tr><td>    研究研修費</td><td>258</td></tr> <tr><td>  一般管理費</td><td>323</td></tr> <tr><td>    給与費</td><td>282</td></tr> <tr><td>    経費</td><td>40</td></tr> <tr><td>営業外費用</td><td>223</td></tr> <tr><td>資本支出</td><td>1,964</td></tr> <tr><td>  建設改良費</td><td>993</td></tr> <tr><td>  償還金</td><td>911</td></tr> <tr><td>  その他資本支出</td><td>60</td></tr> <tr><td>その他の支出</td><td>0</td></tr> <tr><td>計</td><td>20,625</td></tr> </table> <p>(注記 略)</p>	営業費用	18,437	医業費用	18,114	給与費	8,833	材料費	5,962	経費	3,060	研究研修費	258	一般管理費	323	給与費	282	経費	40	営業外費用	223	資本支出	1,964	建設改良費	993	償還金	911	その他資本支出	60	その他の支出	0	計	20,625	<table border="1"> <tr><td>営業費用</td><td>19,132</td></tr> <tr><td>  医業費用</td><td>18,786</td></tr> <tr><td>    給与費</td><td>9,126</td></tr> <tr><td>    材料費</td><td>6,416</td></tr> <tr><td>    経費</td><td>3,067</td></tr> <tr><td>    研究研修費</td><td>175</td></tr> <tr><td>  一般管理費</td><td>346</td></tr> <tr><td>    給与費</td><td>307</td></tr> <tr><td>    経費</td><td>38</td></tr> <tr><td>営業外費用</td><td>221</td></tr> <tr><td>資本支出</td><td>2,004</td></tr> <tr><td>  建設改良費</td><td>1,049</td></tr> <tr><td>  償還金</td><td>911</td></tr> <tr><td>  その他資本支出</td><td>43</td></tr> <tr><td>その他の支出</td><td>6</td></tr> <tr><td>計</td><td>21,365</td></tr> </table> <p>(注記 略)</p>	営業費用	19,132	医業費用	18,786	給与費	9,126	材料費	6,416	経費	3,067	研究研修費	175	一般管理費	346	給与費	307	経費	38	営業外費用	221	資本支出	2,004	建設改良費	1,049	償還金	911	その他資本支出	43	その他の支出	6	計	21,365					
営業費用	73,180																																																																																																											
医業費用	71,899																																																																																																											
給与費	36,395																																																																																																											
材料費	22,621																																																																																																											
経費	12,385																																																																																																											
研究研修費	497																																																																																																											
一般管理費	1,281																																																																																																											
給与費	1,063																																																																																																											
経費	218																																																																																																											
営業外費用	1,624																																																																																																											
資本支出	16,430																																																																																																											
建設改良費	5,554																																																																																																											
償還金	10,826																																																																																																											
その他資本支出	50																																																																																																											
その他の支出	221																																																																																																											
計	91,454																																																																																																											
営業費用	18,437																																																																																																											
医業費用	18,114																																																																																																											
給与費	8,833																																																																																																											
材料費	5,962																																																																																																											
経費	3,060																																																																																																											
研究研修費	258																																																																																																											
一般管理費	323																																																																																																											
給与費	282																																																																																																											
経費	40																																																																																																											
営業外費用	223																																																																																																											
資本支出	1,964																																																																																																											
建設改良費	993																																																																																																											
償還金	911																																																																																																											
その他資本支出	60																																																																																																											
その他の支出	0																																																																																																											
計	20,625																																																																																																											
営業費用	19,132																																																																																																											
医業費用	18,786																																																																																																											
給与費	9,126																																																																																																											
材料費	6,416																																																																																																											
経費	3,067																																																																																																											
研究研修費	175																																																																																																											
一般管理費	346																																																																																																											
給与費	307																																																																																																											
経費	38																																																																																																											
営業外費用	221																																																																																																											
資本支出	2,004																																																																																																											
建設改良費	1,049																																																																																																											
償還金	911																																																																																																											
その他資本支出	43																																																																																																											
その他の支出	6																																																																																																											
計	21,365																																																																																																											
	<p>3-2 収支計画 (平成22年度～平成26年度) (単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>収益の部</td><td>81,130</td></tr> <tr><td>  営業収益</td><td>79,937</td></tr> <tr><td>    医業収益</td><td>74,673</td></tr> <tr><td>    運営費負担金収益</td><td>3,816</td></tr> <tr><td>    資産見返負債戻入</td><td>50</td></tr> <tr><td>    その他営業収益</td><td>1,399</td></tr> <tr><td>  営業外収益</td><td>1,153</td></tr> <tr><td>    運営費負担金収益</td><td>1,017</td></tr> <tr><td>    その他営業外収益</td><td>136</td></tr> <tr><td>  臨時利益</td><td>39</td></tr> <tr><td>費用の部</td><td>85,259</td></tr> <tr><td>  営業費用</td><td>80,911</td></tr> <tr><td>    医業費用</td><td>79,528</td></tr> <tr><td>      給与費</td><td>36,070</td></tr> <tr><td>      材料費</td><td>21,570</td></tr> <tr><td>      経費</td><td>11,985</td></tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収益の部	81,130	営業収益	79,937	医業収益	74,673	運営費負担金収益	3,816	資産見返負債戻入	50	その他営業収益	1,399	営業外収益	1,153	運営費負担金収益	1,017	その他営業外収益	136	臨時利益	39	費用の部	85,259	営業費用	80,911	医業費用	79,528	給与費	36,070	材料費	21,570	経費	11,985		<p>3-2 収支計画 (平成26年度) (単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>収益の部</td><td>20,897</td></tr> <tr><td>  営業収益</td><td>20,684</td></tr> <tr><td>    医業収益</td><td>19,264</td></tr> <tr><td>    運営費負担金収益</td><td>1,087</td></tr> <tr><td>    資産見返負債戻入</td><td>17</td></tr> <tr><td>    その他営業収益</td><td>314</td></tr> <tr><td>  営業外収益</td><td>213</td></tr> <tr><td>    運営費負担金収益</td><td>148</td></tr> <tr><td>    その他営業外収益</td><td>64</td></tr> <tr><td>  臨時利益</td><td>0</td></tr> <tr><td>費用の部</td><td>20,631</td></tr> <tr><td>  営業費用</td><td>19,685</td></tr> <tr><td>    医業費用</td><td>19,355</td></tr> <tr><td>      給与費</td><td>8,959</td></tr> <tr><td>      材料費</td><td>5,520</td></tr> <tr><td>      経費</td><td>2,854</td></tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収益の部	20,897	営業収益	20,684	医業収益	19,264	運営費負担金収益	1,087	資産見返負債戻入	17	その他営業収益	314	営業外収益	213	運営費負担金収益	148	その他営業外収益	64	臨時利益	0	費用の部	20,631	営業費用	19,685	医業費用	19,355	給与費	8,959	材料費	5,520	経費	2,854	<p>3-2 収支計画に対する実績 (平成26年度) (単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>収益の部</td><td>21,623</td></tr> <tr><td>  営業収益</td><td>21,399</td></tr> <tr><td>    医業収益</td><td>20,000</td></tr> <tr><td>    運営費負担金収益</td><td>1,034</td></tr> <tr><td>    資産見返負債戻入</td><td>17</td></tr> <tr><td>    その他営業収益</td><td>347</td></tr> <tr><td>  営業外収益</td><td>219</td></tr> <tr><td>    運営費負担金収益</td><td>147</td></tr> <tr><td>    その他営業外収益</td><td>71</td></tr> <tr><td>  臨時利益</td><td>5</td></tr> <tr><td>費用の部</td><td>21,285</td></tr> <tr><td>  営業費用</td><td>20,313</td></tr> <tr><td>    医業費用</td><td>19,989</td></tr> <tr><td>      給与費</td><td>9,216</td></tr> <tr><td>      材料費</td><td>5,945</td></tr> <tr><td>      経費</td><td>2,889</td></tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収益の部	21,623	営業収益	21,399	医業収益	20,000	運営費負担金収益	1,034	資産見返負債戻入	17	その他営業収益	347	営業外収益	219	運営費負担金収益	147	その他営業外収益	71	臨時利益	5	費用の部	21,285	営業費用	20,313	医業費用	19,989	給与費	9,216	材料費	5,945	経費	2,889		
区 分	金 額																																																																																																											
収益の部	81,130																																																																																																											
営業収益	79,937																																																																																																											
医業収益	74,673																																																																																																											
運営費負担金収益	3,816																																																																																																											
資産見返負債戻入	50																																																																																																											
その他営業収益	1,399																																																																																																											
営業外収益	1,153																																																																																																											
運営費負担金収益	1,017																																																																																																											
その他営業外収益	136																																																																																																											
臨時利益	39																																																																																																											
費用の部	85,259																																																																																																											
営業費用	80,911																																																																																																											
医業費用	79,528																																																																																																											
給与費	36,070																																																																																																											
材料費	21,570																																																																																																											
経費	11,985																																																																																																											
区 分	金 額																																																																																																											
収益の部	20,897																																																																																																											
営業収益	20,684																																																																																																											
医業収益	19,264																																																																																																											
運営費負担金収益	1,087																																																																																																											
資産見返負債戻入	17																																																																																																											
その他営業収益	314																																																																																																											
営業外収益	213																																																																																																											
運営費負担金収益	148																																																																																																											
その他営業外収益	64																																																																																																											
臨時利益	0																																																																																																											
費用の部	20,631																																																																																																											
営業費用	19,685																																																																																																											
医業費用	19,355																																																																																																											
給与費	8,959																																																																																																											
材料費	5,520																																																																																																											
経費	2,854																																																																																																											
区 分	金 額																																																																																																											
収益の部	21,623																																																																																																											
営業収益	21,399																																																																																																											
医業収益	20,000																																																																																																											
運営費負担金収益	1,034																																																																																																											
資産見返負債戻入	17																																																																																																											
その他営業収益	347																																																																																																											
営業外収益	219																																																																																																											
運営費負担金収益	147																																																																																																											
その他営業外収益	71																																																																																																											
臨時利益	5																																																																																																											
費用の部	21,285																																																																																																											
営業費用	20,313																																																																																																											
医業費用	19,989																																																																																																											
給与費	9,216																																																																																																											
材料費	5,945																																																																																																											
経費	2,889																																																																																																											



項目 No.	中期計画		過年度の検証結果				H26 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証	
			H22	H23	H24	H25			業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		自己 評価	検証 結果	検証結果の説 明、 特筆すべき事項
	資金支出	100,881					資金支出	35,601	資金支出	35,796			
	業務活動による支出	74,974					業務活動による支出	18,661	業務活動による支出	18,829			
	給与費支出	37,458					給与費支出	9,116	給与費支出	9,416			
	材料費支出	22,621					材料費支出	5,962	材料費支出	6,302			
	その他の業務活動による支出	14,895					その他の業務活動による支出	3,582	その他の業務活動による支出	3,110			
	投資活動による支出	5,554					投資活動による支出	993	投資活動による支出	879			
	有形固定資産の取得による支出	5,554					有形固定資産の取得による支出	993	有形固定資産の取得による支出	848			
	その他の投資活動による支出	0					その他の投資活動による支出	0	その他の投資活動による支出	31			
	財務活動による支出	10,826					財務活動による支出	971	財務活動による支出	911			
	長期借入金の返済による支出	0					長期借入金の返済による支出	252	長期借入金の返済による支出	252			
	移行前地方債償還債務の償還による支出	10,826					移行前地方債償還債務の償還による支出	658	移行前地方債償還債務の償還による支出	658			
	その他の財務活動による支出	0					その他の財務活動による支出	60	その他の財務活動による支出	0			
	翌事業年度への繰越金	9,527					翌事業年度への繰越金	14,975	翌事業年度への繰越金	15,175			
	(注記 略)						(注記 略)		(注記 略)				

#### 4 短期借入金の限度額

項目 No.	中期計画		過年度の検証結果				H26 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証	
			H22	H23	H24	H25			業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		自己 評価	検証 結果	検証結果の説 明、 特筆すべき事項
一	4-1 限度額 10億円						限度額 10億円		・限度額 10億円				
	4-2 想定される短期借入金の発生理由 ・運営費負担金の受入れ遅延、賞与の支給等による資金不足への対応 ・退職手当等突発的な出費への対応						想定される短期借入金の発生理由 ・運営費負担金の受入れ遅延、賞与の支給等による資金不足への対応 ・退職手当等突発的な出費への対応						

5 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画

—	なし	なし	なし	・該当なし
---	----	----	----	-------

6 剰余金の使途

—	決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入等に充てる。	決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入等に充てる。	・該当なし
---	---	---	-------

7 料金に関する事項 ※省略

8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

8-1 職員の就労環境の向上

中期目標	職員の実情等を考慮した柔軟な勤務形態の導入、院内保育施設等の整備・拡充といった育児支援体制の充実など、日常業務の質の向上を図るために必要な職員の就労環境の整備に努めること。さらに、地方独立行政法人制度の特徴を十分に活かし、医療従事者を必要な人数確保することによって、病院職員全体の勤務環境を改善すること。
------	--

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																												
60	・職員の専門的能力が十分に活用される効果的な病院運営のため、病院職員の最適な勤務環境創出に努める。	III	III	III	IV	<p>・職員の専門的能力が十分に活用される効果的な病院運営のため、医師事務作業補助職員や看護事務補助職員を始めとする専門職の雇用を拡充し、病院職員の最適な勤務環境の改善に努める。</p>	<p>・専門職の雇用を拡充し、病院職員の最適な勤務環境の改善に努めた。</p> <p>・医療クラーク：52人、病棟等看護クラーク：30人 (平成26年度末)</p> <p>(各年3.31時点)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>常勤医師数</td> <td>149人</td> <td>152人</td> <td>161人</td> </tr> <tr> <td>常勤歯科医師数</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>常勤看護師数</td> <td>510人</td> <td>542人</td> <td>574人</td> </tr> <tr> <td>常勤准看護師数</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>医療クラーク</td> <td>48人</td> <td>51人</td> <td>52人</td> </tr> <tr> <td>看護クラーク</td> <td>26人</td> <td>28人</td> <td>30人</td> </tr> </table>		H24	H25	H26	常勤医師数	149人	152人	161人	常勤歯科医師数	3人	3人	3人	常勤看護師数	510人	542人	574人	常勤准看護師数	0人	0人	0人	医療クラーク	48人	51人	52人	看護クラーク	26人	28人	30人	IV		
	H24	H25	H26																																			
常勤医師数	149人	152人	161人																																			
常勤歯科医師数	3人	3人	3人																																			
常勤看護師数	510人	542人	574人																																			
常勤准看護師数	0人	0人	0人																																			
医療クラーク	48人	51人	52人																																			
看護クラーク	26人	28人	30人																																			
61	・仕事と生活をともに充実したものとするため、職員の実情に応じた柔軟な勤務形態の採用、時間外勤務時間の縮減、年次有給の取得促進、代休の取得や	III	III	III	III	<p>・仕事と生活をともに充実したものとするため、1箇月単位の変形労働時間制の利点を活かし、時間外勤務時間の縮減、年次有給休暇の取得促進、代休の</p>	<p>・勤務実態に合わせ、4週単位から1月単位の変形労働時間制に変更している。また、医師やコメディカルも変形労働時間制による勤務とし、時間外勤務</p>	III																														

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
	週休日の振替の徹底、育児等を支援するための特別休暇の創設等、適切な労働時間の管理のもと職員の家庭環境への配慮に努める。					取得や週休日の振替の徹底等、適切な労働時間の管理のもと職員の家庭環境に配慮する。	時間の縮減に努めている。			
62	・病院職員の健康管理のため、定期健康診断の受診に努めるとともに、職員の勤務状況による健康相談の実施等メンタルヘルスにも配慮した職員の健康管理対策の充実に努める。	III	III	III	III	・病院職員の健康管理のため、地方独立行政法人化前と同程度以上の健診(定期健康診断及び人間ドック)や任意検査等(各種抗体検査や予防接種等)を実施するとともに、職員の勤務状況による健康相談の実施等メンタルヘルスにも配慮した職員の健康管理対策の充実に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の健康管理対策の充実に努めた。</li> </ul> <健康診断> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方独立行政法人化前と同様の一般定期健康診断に加え、非常勤職員に対しては、協会けんぽの生活習慣病予防検診を活用、人間ドックを希望する常勤職員に対しては、共済組合の助成を受け、人間ドックを実施した。</li> <li>・有害な業務に従事する職員に対しても、引き続き特殊健康診断を実施した。平成25年度からは、VDT作業従事者に対する健診を追加した。</li> </ul> <任意検査等(各種抗体検査、予防接種等)> <ul style="list-style-type: none"> <li>・例年に引き続き、B型肝炎検査及び小児ウイルス検査を実施し平成25年度からは、小児ウイルス検査を5年おきに実施することとした。その結果、抗体が陰性で予防接種を希望する職員に対しB型肝炎ワクチン及び小児ウイルスワクチンの接種を実施した。</li> <li>・また、希望する職員に対してはインフルエンザワクチンの接種を実施した。</li> </ul> <メンタルヘルス> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『岐阜県総合医療センターにおける心の健康づくり計画』に則り、メンタルヘルス対策の推進を図った。</li> <li>・院内に職員が相談しやすい相談窓口(さわやか健康相談)を設置するとともに専任の臨床心理士を雇用し、内部の相談窓口の充実に努めた。</li> <li>・外部の相談窓口としては、「心の健康相談」事業を黒田クリニック及び県精神保健福祉センターで実施した。</li> </ul>	III		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																				
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																			
63	・医師住宅、看護師寮などの福利厚生施設を充実したり、24時間保育の実施に向け、夜間保育を整備するなど病院の施設・設備を整備することで、ゆとりある職場環境を創造し、職員が安全かつ安心して勤務できる勤務環境づくりに努める。	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	・医師住宅、看護師寮などの福利厚生施設の整備や、24時間保育の充実に向け、夜間保育ができる環境を整備するなど病院の施設・設備の整備について検討し、ゆとりある職場環境を創造し、職員が安全かつ安心して勤務できる勤務環境づくりに取り組む。	・医師住宅の浄化槽保守点検、清掃等適切な管理に努めた。 ・平成24年2月1日から24時間保育の受入を開始している。 ・さらなる利便性の向上、業務の効率化を図るため、外部のノウハウを活用できる保育業務委託を平成28年度に実施し、準備を進めることとした。	Ⅲ																					
64	・職員が高い意欲を持ち、能力を発揮できる病院を目指し、学会等へ参加する機会の確保と、病院内における研修会、講演会等の開催に努める。	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	・職員が高い意欲を持ち、能力を発揮できる病院を目指し、学会等への参加を支援し、病院内における研修会、講演会等の開催回数を増やす。	・職員が高い意欲を持ち、能力を発揮できる病院を目指し、独法化後、法人全体として「職員教育研修体系」を策定し、これに基づき全職種を対象とした「平成26年度新規採用者職員研修」を計画した。 ・病院機能評価における重要と定義される分野についての研修会を法人全体で下記のとおり実施した。	Ⅲ																					
						<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>部門/回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療安全について</td> <td>全体11回、中央リハビリテーション部1回</td> </tr> <tr> <td>感染防止について</td> <td>全体11回、中央リハビリテーション部1回</td> </tr> <tr> <td>接遇研修について</td> <td>全体2回、看護部1回</td> </tr> <tr> <td>個人情報について</td> <td>全体1回</td> </tr> <tr> <td>情報セキュリティについて</td> <td>全体1回</td> </tr> <tr> <td>母乳育児支援について</td> <td>全体1回</td> </tr> <tr> <td>緩和ケアについて</td> <td>全体3回、看護部5回</td> </tr> <tr> <td>児童虐待予防について</td> <td>全体2回</td> </tr> </tbody> </table>		内容	部門/回数	医療安全について	全体11回、中央リハビリテーション部1回	感染防止について	全体11回、中央リハビリテーション部1回	接遇研修について	全体2回、看護部1回	個人情報について	全体1回	情報セキュリティについて	全体1回	母乳育児支援について	全体1回	緩和ケアについて	全体3回、看護部5回	児童虐待予防について	全体2回				
内容	部門/回数																												
医療安全について	全体11回、中央リハビリテーション部1回																												
感染防止について	全体11回、中央リハビリテーション部1回																												
接遇研修について	全体2回、看護部1回																												
個人情報について	全体1回																												
情報セキュリティについて	全体1回																												
母乳育児支援について	全体1回																												
緩和ケアについて	全体3回、看護部5回																												
児童虐待予防について	全体2回																												

8-2 県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項

中期目標	人事交流など、県及び県の設立した他の地方独立行政法人との連携を推進すること。
------	--

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																																							
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																							
65	医師、看護師やコメディカルなどの医療従事者の人事交流など、県及び県が設立した他の地方独立行政法人との連携を推進する。	III	III	III	III	<p>医師、看護師やコメディカルなどの医療従事者の人事交流など、岐阜県及び岐阜県が設立した他の地方独立行政法人との連携を推進する。</p> <p>職員の他法人への出向状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>准看護師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>他法人職員の受入状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>2(1)</td> <td>2(1)</td> <td>0(1)</td> </tr> <tr> <td>准看護師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3(1)</td> <td>3(1)</td> <td>1(1)</td> </tr> </tbody> </table> <p>看護師欄にある（ ）は、助産師数</p>		H24	H25	H26	医師	—	—	—	歯科医師	—	—	—	看護師	3	3	—	准看護師	—	—	—	コメディカル	2	3	2	合計	5	6	2		H24	H25	H26	医師	—	—	—	歯科医師	—	—	—	看護師	2(1)	2(1)	0(1)	准看護師	—	—	—	コメディカル	1	1	1	合計	3(1)	3(1)	1(1)	III		
	H24	H25	H26																																																														
医師	—	—	—																																																														
歯科医師	—	—	—																																																														
看護師	3	3	—																																																														
准看護師	—	—	—																																																														
コメディカル	2	3	2																																																														
合計	5	6	2																																																														
	H24	H25	H26																																																														
医師	—	—	—																																																														
歯科医師	—	—	—																																																														
看護師	2(1)	2(1)	0(1)																																																														
准看護師	—	—	—																																																														
コメディカル	1	1	1																																																														
合計	3(1)	3(1)	1(1)																																																														

8-3 医療機器・施設整備に関する事項

中期目標 医療機器・施設整備については、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展など総合的に勘案して計画的に実施すること。

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H26年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																		
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																		
66	<p>(1) 中期目標の期間における医療機器・施設整備に関する総投資額については、次のとおり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>予定額(単位:百万円)</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器等整備</td> <td>5,554</td> <td>設立団体からの長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 医療機器・施設整備に当たっては、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展などを総合的に判断し、高度先進医療機器(高速X線CT装置(MDCT)、MRI等)の整備、超音波室の増設等、着実に実施する。</p>	施設及び設備の内容	予定額(単位:百万円)	財源	病院施設、医療機器等整備	5,554	設立団体からの長期借入金等	III	III	III	III	<p>(1) 平成26年度における医療機器・施設整備に関する総投資額については、次のとおり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>予定額(単位:百万円)</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器等整備</td> <td>993</td> <td>設立団体からの長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 医療機器・施設整備に当たっては、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展などを総合的に判断し、高度先進医療機器(高速X線CT装置(MDCT)、MRI等)の整備、超音波室の増設等を検討する。</p>	施設及び設備の内容	予定額(単位:百万円)	財源	病院施設、医療機器等整備	993	設立団体からの長期借入金等	<p>(1) 平成26年度における医療機器・施設整備に関する総投資額については、次のとおり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>投資額(単位:百万円)</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器等整備</td> <td>992</td> <td>設立団体からの長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table> <p>医療機器については、計画どおりの整備を行っているが、器具备品類については、適切な整備を行った。</p> <p>(2) 医療機器・施設整備に当たっては、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展などを総合的に判断し、手術件数の増加に伴う医療機器の増設、検査件数の増加に伴う検査機器の更新、内視鏡検査業務の効率的な運用サポートを目的とした機器の更新を行い多種多様の医療に対応する環境を整えた。</p>	施設及び設備の内容	投資額(単位:百万円)	財源	病院施設、医療機器等整備	992	設立団体からの長期借入金等	III		
施設及び設備の内容	予定額(単位:百万円)	財源																										
病院施設、医療機器等整備	5,554	設立団体からの長期借入金等																										
施設及び設備の内容	予定額(単位:百万円)	財源																										
病院施設、医療機器等整備	993	設立団体からの長期借入金等																										
施設及び設備の内容	投資額(単位:百万円)	財源																										
病院施設、医療機器等整備	992	設立団体からの長期借入金等																										

8-4 法人が負担する債務の償還に関する事項

中期目標 法人は、岐阜県に対し、地方独立行政法人法第66条第1項に規定する地方債のうち、法人成立の日までに償還されていないものに相当する額の債務を負担すること。また、その債務の処理を確実に行うこと。

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H26年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																						
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																																																					
67	<p>法人が岐阜県に対し負担する債務の償還を確実にやっていく。</p> <p>(単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>中期目標期間償還額</th> <th>次期以降償還額</th> <th>総債務償還額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>移行前地方債償還債務</td> <td>10,826</td> <td>9,088</td> <td>19,914</td> </tr> <tr> <td>長期借入金償還額</td> <td>0</td> <td>7,434</td> <td>7,434</td> </tr> </tbody> </table>	区分	中期目標期間償還額	次期以降償還額	総債務償還額	移行前地方債償還債務	10,826	9,088	19,914	長期借入金償還額	0	7,434	7,434	III	III	III	III	<p>法人が岐阜県に対し負担する債務の償還を確実にやっていく。</p> <p>・法人が岐阜県に対し負担する債務の償還を確実に実施した。</p> <p>債務の償還状況（合計）</p> <p>(単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22年</td> <td>1,419</td> <td>1,419</td> </tr> <tr> <td>23年</td> <td>5,366</td> <td>5,366</td> </tr> <tr> <td>24年</td> <td>805</td> <td>805</td> </tr> <tr> <td>25年</td> <td>2,577</td> <td>2,577</td> </tr> <tr> <td>26年</td> <td>659</td> <td>659</td> </tr> <tr> <td>中期計画期間計</td> <td>10,826</td> <td>10,826</td> </tr> </tbody> </table> <p>(内訳)</p> <p>移行前地方債償還債務 (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22年</td> <td>1,419</td> <td>1,419</td> </tr> <tr> <td>23年</td> <td>5,366</td> <td>5,366</td> </tr> <tr> <td>24年</td> <td>805</td> <td>805</td> </tr> <tr> <td>25年</td> <td>2,577</td> <td>2,577</td> </tr> <tr> <td>26年</td> <td>659</td> <td>659</td> </tr> <tr> <td>中期計画期間計</td> <td>10,826</td> <td>10,826</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績	計画	22年	1,419	1,419	23年	5,366	5,366	24年	805	805	25年	2,577	2,577	26年	659	659	中期計画期間計	10,826	10,826	年度	実績	計画	22年	1,419	1,419	23年	5,366	5,366	24年	805	805	25年	2,577	2,577	26年	659	659	中期計画期間計	10,826	10,826	III		
区分	中期目標期間償還額	次期以降償還額	総債務償還額																																																												
移行前地方債償還債務	10,826	9,088	19,914																																																												
長期借入金償還額	0	7,434	7,434																																																												
年度	実績	計画																																																													
22年	1,419	1,419																																																													
23年	5,366	5,366																																																													
24年	805	805																																																													
25年	2,577	2,577																																																													
26年	659	659																																																													
中期計画期間計	10,826	10,826																																																													
年度	実績	計画																																																													
22年	1,419	1,419																																																													
23年	5,366	5,366																																																													
24年	805	805																																																													
25年	2,577	2,577																																																													
26年	659	659																																																													
中期計画期間計	10,826	10,826																																																													

8-5 中期目標の期間を超える債務負担

項目 No.	中期計画					過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
						H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説 明、 特筆すべき事項
—	(単位：百万円)					—	—	—	—		—	—		
	区 分	契約期間	中期目標期 間事業費	次期以降 事業費	総事業費									
	新棟整 備事業	平成25年 度 ～ 平成27年 度	1,281	854	2,135									